

# シラバス（授業計画）

（ 夜 間 部 ）

2 0 2 1



名古屋文化学園保育専門学校

# 目 次

## 【夜間部 1 年生】

自然科学概論	1
日本国憲法	2
情報機器演習	3
体育講義	4
野外活動	5
こどもと健康	6
こどもと人間関係	7
こどもと環境	8
こどもと言葉	9
こどもと表現	10
保育指導法総論	11
健康指導法	12
人間関係指導法	13
環境指導法	14
教育原理	15
教職概論	16
教育心理学	17
教育方法論	18
教育実習 I	19
教育実習事前事後指導 I	20
音楽基礎	21
ピアノ実技 I	22
ピアノ実技 II	23
基礎造形	24

## 【夜間部 2 年生】

自然科学概論	25
日本国憲法	26
体育講義	27
野外活動	28
体育	29
音楽 II (器楽)	30
音楽 II (声楽)	31
表現 (音楽) 指導法	32
表現 (造形) 指導法 II	33
幼児の特別支援教育	34

教育課程総論	35
教育相談	36
教育実習 II	37
教育実習事前事後指導 II	38
教職実践演習	39
社会的養護 I	40
子ども家庭支援の心理学	41
子どもの保健	42
乳児保育 I	43
子どもの健康と安全	44
社会的養護 II	45
保育実習 I (施設)	46
保育実習指導 I (施設)	47

## 【夜間部 3 年生】

音楽 II (器楽)	49
体育 II	50
体育 II	51
表現 (音楽) 指導法 II	52
保育原理	53
保育原理 II	54
子ども家庭福祉	55
社会福祉	56
子ども家庭支援論	57
子ども家庭支援の心理学 II	58
子どもの食と栄養	59
乳児保育 II	60
障がい児保育	61
児童文化	62
子育て支援	63
保育実習 I (保育所)	64
保育実習指導 I (保育所)	65
保育実習 II	66
保育実習指導 II	67
保育実践演習	68

保 育 科

夜 間 部 1 年 生



シラバス(授業計画)

部・学年	夜間部1年	学期		半期		授業形態		講義		単位数	2単位						
科目名	自然科学概論				担当教員	浅井智子		幼稚園教諭・保育士として実務経験有									
全体目標	自然科学の視点を通して、身の回りの自然物から宇宙まで、世界にあふれる様々な事象に対して、興味関心を持つ豊かな感性と、探求心の伴った行動力を養う																
一般目標	・実践現場を想定した講義や実習を通して、「自然」と「子ども」の関係性について学び、身近な自然物への興味関心を自ら深め、幼児教育&保育現場で活かす方法を身に着ける																
到達目標	・自然とは何か、子どもとは何か、なぜ子どもに自然体験活動が必要かを学び、保育・幼児教育現場で活かせるようになる ・身近な自然物に触れる面白さを知り、なぜ？不思議？といった探求心を培う ・具体的な自然と子どもをつなげる技術、方法、知識を季節ごとに学び、保育・幼児教育現場で活かせるようになる																
授業のながれ	回数	[ 授 業 内 容 ]				課外学習											
	①	オリエンテーション ・シラバス、評定の仕方など説明				事前学習	教科書や参考図書・配布資料を読み質問事項を考える					事後学習	講義内容の現場での活かし方を考え、自らの学びを評価				
	②	子どもになぜ「自然」が必要か ・脳科学からみた子どもの育ちの在り方・森のようちえんとは				事前学習	教科書や参考図書・配布資料を読み質問事項を考える					事後学習	講義内容の現場での活かし方を考え、自らの学びを評価				
	③	春の野草料理・リスクマネジメント				事前学習	教科書や参考図書・配布資料を読み質問事項を考える					事後学習	講義内容の現場での活かし方を考え、自らの学びを評価				
	④	春の草花での遊びいろいろ(草木染など)				事前学習	教科書や参考図書・配布資料を読み質問事項を考える					事後学習	講義内容の現場での活かし方を考え、自らの学びを評価				
	⑤	火の扱い方とあそび方実習/リスクマネジメント				事前学習	教科書や参考図書・配布資料を読み質問事項を考える					事後学習	講義内容の現場での活かし方を考え、自らの学びを評価				
	⑥	春の野外実習				事前学習	教科書や参考図書・配布資料を読み質問事項を考える					事後学習	講義内容の現場での活かし方を考え、自らの学びを評価				
	⑦	春の野外実習の振り返りとまとめ				事前学習	教科書や参考図書・配布資料を読み質問事項を考える					事後学習	講義内容の現場での活かし方を考え、自らの学びを評価				
	⑧	羊毛あそび ・モノの成り立ちを知る意味				事前学習	教科書や参考図書・配布資料を読み質問事項を考える					事後学習	講義内容の現場での活かし方を考え、自らの学びを評価				
	⑨	ミツロウあそび ・蜂の生態を知り、蜂から恵みを受け取る				事前学習	教科書や参考図書・配布資料を読み質問事項を考える					事後学習	講義内容の現場での活かし方を考え、自らの学びを評価				
	⑩	木と遊ぶ/ナイフワーク/リスクマネジメント				事前学習	教科書や参考図書・配布資料を読み質問事項を考える					事後学習	講義内容の現場での活かし方を考え、自らの学びを評価				
	⑪	土と遊ぶ ・岩・石・砂・粘土の違いを感じながら、遊ぶ				事前学習	教科書や参考図書・配布資料を読み質問事項を考える					事後学習	講義内容の現場での活かし方を考え、自らの学びを評価				
	⑫	にじみ絵&染め紙あそび ・色と光と色のまじりあうプロセスを感じる				事前学習	教科書や参考図書・配布資料を読み質問事項を考える					事後学習	講義内容の現場での活かし方を考え、自らの学びを評価				
	⑬	夏の野外実習				事前学習	教科書や参考図書・配布資料を読み質問事項を考える					事後学習	講義内容の現場での活かし方を考え、自らの学びを評価				
	⑭	夏の野外実習の振り返りとまとめ				事前学習	教科書や参考図書・配布資料を読み質問事項を考える					事後学習	講義内容の現場での活かし方を考え、自らの学びを評価				
	⑮	試験・まとめ				事前学習	教科書や参考図書・配布資料を読み質問事項を考える					事後学習	講義内容の現場での活かし方を考え、自らの学びを評価				
学習上の留意点	・季節によって旬の教材を取り入れていくので、講義や実習内容は臨機応変に変更。LINEグループなどで情報共有予定。 ・毎回、教科書や参考図書を読んだ質問タイムを設けるので、主体的に質問を用意ください ・第1回目に授業計画を聴いたのち、自身の到達目標を決めてもらいます。それに対してどこまで到達できたか 毎回授業後に自ら評価し、最終日に総合的に評価してもらいます。																
成績評価の方法	定期試験 50% 平常点(授業態度・授業参加状況) 50%				教科書	■お母ちゃん革命 ／出版・自然育児 森のわらべ多治見園 ／製作・ポプラ社											
					参考資料	■北欧の森のようちえん 自然が子どもを育む ／出版・イザラ書房 ■センス・オブ・ワンダー ／出版・新潮社											

## シラバス(授業計画)

部・学年	夜間部1年	学期	半期	授業形態	講義	単位数	2単位
科目名	日本国憲法			担当教員	松井 幸三郎		
全体目標	①日本国憲法の基本的な成り立ちが理解できること。②憲法の基本的理念が理解できること。③法的思考を養うこと。④公務員として心得るべき憲法を把握すること。						
一般目標	大日本帝国憲法とのつながりを考える過程で、現行憲法の立ち位置を把握する。その後、憲法の外観を理解する。各条文では基本的人権の尊重、国民の権利と義務、公務員の憲法尊重・擁護義務について特に留意する。理解の手助けとして、逐次判例を参照する。また、身近な話題として、9条問題・憲法改正論議も取り上げる。授業後半には公務員試験に実際に出題された問題を題材として演習を行うので、これらの問題が解けるようになることを目標とする。						
到達目標	各自治体において出題される個別試験の、憲法に関連する問題が難なく解けるようになること。また、そのレベルで日本国憲法を理解すること。						
授業のながれ	回数	[ 授 業 内 容 ]			課外学習		
	①	ガイダンス・日本国憲法の誕生			事前学習	テキストの該当ページを読んでおく。	
					事後学習	講義内容の復習。	
	②	天皇・戦争の放棄			事前学習	テキストの該当ページを読んでおく。	
					事後学習	講義内容の復習。	
	③	国民の権利と義務(基本的人権の概要)			事前学習	テキストの該当ページを読んでおく。	
					事後学習	講義内容の復習。	
	④	国民の権利と義務(自由権・社会権・公共の福祉)			事前学習	テキストの該当ページを読んでおく。	
					事後学習	講義内容の復習。	
	⑤	国民の権利と義務(参政権・請願権・納税の義務)			事前学習	テキストの該当ページを読んでおく。	
					事後学習	講義内容の復習。	
	⑥	国会			事前学習	テキストの該当ページを読んでおく。	
					事後学習	講義内容の復習。	
	⑦	内閣			事前学習	テキストの該当ページを読んでおく。	
					事後学習	講義内容の復習。	
⑧	司法			事前学習	テキストの該当ページを読んでおく。		
				事後学習	講義内容の復習。		
⑨	財政			事前学習	テキストの該当ページを読んでおく。		
				事後学習	講義内容の復習。		
⑩	地方自治			事前学習	テキストの該当ページを読んでおく。		
				事後学習	講義内容の復習。		
⑪	憲法改正			事前学習	テキストの該当ページを読んでおく。		
				事後学習	講義内容の復習。		
⑫	最高法規			事前学習	テキストの該当ページを読んでおく。		
				事後学習	講義内容の復習。		
⑬	公務員試験問題演習(基本的人権)			事前学習	テキストの該当ページを読んでおく。		
				事後学習	講義内容の復習。		
⑭	公務員試験問題演習(立法・行政・司法)			事前学習	テキストの該当ページを読んでおく。		
				事後学習	講義内容の復習。		
⑮	試験、まとめ			事前学習	期末テスト範囲の勉強をする。		
				事後学習	講義全体を通しての復習。		
学習上の留意点	われわれの日々の暮らしや将来の生活に関わってくる事項については、身近な例を挙げ、理解を深める。具体的には9条、13条、14条、15条、25条、93条、95条など。						
成績評価の方法	授業参加状況や受講態度50%			教科書	「図解による憲法のしくみ第2版」(自由国民社)神田将著		
	筆記試験50%				参考資料	適宜プリントを配布	

シラバス(授業計画)

部・学年	夜間部1年	学期	半期	授業形態	演習	単位数	2単位
科目名	情報機器演習			担当教員	高瀬 慎二		
全体目標	情報技術 (ICT) を活用した保育を展開できる保育者となることを目標とする。						
一般目標	インターネットリテラシーなどの情報リテラシーを学ぶ。 情報機器への理解を深め、機器の利用方法を学ぶ。						
到達目標	情報機器の基礎的な知識や操作方法、情報機器を用いて何ができるのかを学ぶ。 文章や図表の作成、表計算、プレゼンテーション資料の作成、インターネット上の情報の検索や収集・整理を通して、考えを表現する手段を習得する。						
授業のながれ	回数	[ 授業内容 ]			課外学習		
	① 受講ガイダンス 情報機器、アプリケーションの説明 Windowsの基本操作と情報倫理	事前学習	事後学習	教科書の該当部分の通し読み 授業の資料・教科書の復習			
	② 文書作成① 基本操作の確認	事前学習	事後学習	教科書の該当部分の通し読み 授業の資料・教科書の復習			
	③ 文書作成② 図表の挿入と編集	事前学習	事後学習	教科書の該当部分の通し読み 授業の資料・教科書の復習			
	④ 文書作成③ フォトレタッチとテンプレートの活用	事前学習	事後学習	教科書の該当部分の通し読み 授業の資料・教科書の復習			
	⑤ 文書作成④ 園だよりの作成	事前学習	事後学習	教科書の該当部分の通し読み 授業の資料・教科書の復習			
	⑥ プレゼンテーション① 基本操作とスライドの作成	事前学習	事後学習	教科書の該当部分の通し読み 授業の資料・教科書の復習			
	⑦ プレゼンテーション② スライドの動作・効果	事前学習	事後学習	教科書の該当部分の通し読み 授業の資料・教科書の復習			
	⑧ プレゼンテーション③ スライドの動作の設定	事前学習	事後学習	教科書の該当部分の通し読み 授業の資料・教科書の復習			
	⑨ プレゼンテーション④ 保育活動支援のためのICT	事前学習	事後学習	教科書の該当部分の通し読み 授業の資料・教科書の復習			
	⑩ プレゼンテーション⑤ 園紹介の作成	事前学習	事後学習	教科書の該当部分の通し読み 授業の資料・教科書の復習			
	⑪ 表計算① 基本操作と書式設定	事前学習	事後学習	教科書の該当部分の通し読み 授業の資料・教科書の復習			
	⑫ 表計算② 計算式と関数の利用	事前学習	事後学習	教科書の該当部分の通し読み 授業の資料・教科書の復習			
	⑬ 表計算③ 表の集計と並べ替え、グラフの作成	事前学習	事後学習	教科書の該当部分の通し読み 授業の資料・教科書の復習			
	⑭ 表計算④ ささまざまなグラフの作成	事前学習	事後学習	教科書の該当部分の通し読み 授業の資料・教科書の復習			
	⑮ まとめ 最終試験(用語の理解と課題)	事前学習	事後学習	教科書の該当部分の通し読み 授業の資料・教科書の復習			
学習上の留意点	課題提出が毎回あるため、欠席しないこと。 パソコンの操作に自信のない場合は教科書や各回のレジュメを参考に予習、復習を行うこと。 不明な点は教員に積極的に質問すること。						
成績評価の方法	授業参加状況…20% 課題の提出状況…30% 最終試験…50%			教科書	保育者のためのパソコン講座 —Windows10/8.1/7対応版 萌文書林		
				参考資料			

## シラバス(授業計画)

部・学年	夜間部1年	学期	半期	授業形態	講義	単位数	1単位
科目名	体育講義			担当教員	山内 隆治	幼児体操教室講師として 実務経験有	
全体目標	からだの仕組みを知り、より効果的にトレーニングできる知識を学ぶ。						
一般目標	幼児体育における知識、及び器械体操の補助法を学ぶ。						
到達目標	幼児体育種目を体験することにより、現場で対応できる知識を習得する。						
授 業 の な が れ	回数	[ 授 業 内 容 ]			課外学習		
	①	バルーン、組体操 (1人体操・2人組)			事前学習	バルーンの動き確認	
					事後学習	組体操種目の習得	
	②	組体操 (3人組・6人組・全体)			事前学習	組体操種目確認	
					事後学習	組体操種目の習得	
	③	集団ゲーム (ジャンケンゲーム・鬼ごっこ)			事前学習	集団ゲームの内容確認	
					事後学習	ゲーム種目の習得	
	④	講義 (バルーン表現方法、組体操図解)			事前学習	バルーンの動き確認	
					事後学習	組体操種目の習得	
	⑤	ドッジボール (ノーマルドッジ)			事前学習	ドッジボールのルール確認	
					事後学習	ドッジボールの動き取得	
	⑥	ドッジビー (スローイング・ゲーム)			事前学習	ドッジビーのルール確認	
					事後学習	スローイングの習得	
	⑦	講義 (運動発達、体力の分類、成就率)			事前学習	運動発達の仕組みを確認	
					事後学習	体力の分類の構図を把握	
⑧	縄跳び (大縄)			事前学習	大縄種目の確認		
				事後学習	縄に入るタイミングの習得		
⑨	講義 (器械体操補助法図解、運動神経について)			事前学習	マット・鉄棒の補助法確認		
				事後学習	マット・鉄棒の補助法把握		
⑩	器械体操補助法 (マット、鉄棒)			事前学習	マット・鉄棒の補助法確認		
				事後学習	マット・鉄棒の補助法把握		
⑪	器械体操補助法 (実技テスト)			事前学習	マット・鉄棒の補助法再確認		
				事後学習	マット・鉄棒の補助法習得		
⑫	ポートボール (ゲーム)			事前学習	ポートボールのルール確認		
				事後学習	ゲーム内容の確認		
⑬	講義 (幼児体育カリキュラム・器械体操の段階指導)			事前学習	器械体操の段階指導法確認		
				事後学習	カリキュラム内容の把握		
⑭	講義 (リーグ戦・トーナメント表作成)			事前学習	リーグ戦・トーナメント表作成方法確認		
				事後学習	学校体育の領域確認		
⑮	定期試験まとめ			事前学習	試験範囲の確認		
				事後学習	評価内容の把握		
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運動の出来る服装で出席すること。</li> <li>・体育館シューズを用意すること。</li> <li>・装飾品は、はずして出席すること。</li> </ul>						
成績評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実技 (50点)</li> <li>・定期試験 (50点)</li> <li>・平常点(授業態度、授業参加状況)</li> </ul>			教科書			
				参考資料	プリント教材(運動発達仕組み) プリント教材(器械体操の段階指導法) プリント教材(幼児体育カリキュラム) プリント教材(リーグ戦表・トーナメント表の作成方法)		



シラバス(授業計画)

部・学年	夜間部1年	学期		集中		授業形態		演習		単位数	1単位
科目名	野外活動			担当教員	森本 浩司			幼稚園教諭・保育士として実務経験有			
全体目標	幼児が自然と遊ぶことで育つ感性を、自らの体験を通して学ぶ。また、保育者としてそれぞれの体験を効果的に幼児に支援する具体的方法を学ぶ。 自己のコミュニケーション方法を仲間との共同生活、自然を通じた活動から考え直す。										
一般目標	ありのままの自然(水、光、暑さ、涼しさ等)を体験する楽しさや苦しさ、達成感を味わう。 食事、朗読、クラフトなど自然を利用することで得られる感謝の念や工夫の楽しさを知る。 活動を通じ協力することの具体的な意味を理解する。										
到達目標	自然活動を通して自己の体力や気持ちをコントロールする必要性を学ぶ。 集団生活を通して一人では生きていけないことを自覚する。 幼児の具体的な活動方法と援助技術を学ぶ。										
授業のながれ	回数	[ 授業内容 ]					課外学習				
	①	映像や教科書、しおりを通して活動環境、意義、方法を学び準備する。					事前学習	事前配布プリント			
							事後学習	オリエンテーション内容の理解			
	②	テント設営を通じ自然の中で寝泊まりする準備と実際の生活を比較し、予測との差異、自己の心の変化を知る。					事前学習	事前配布プリントとオリエンテーション			
							事後学習	実践内容の理解			
	③	飯盒炊飯を通じ火の扱い、大切さを知る。協力することで得られる食の楽しさややりがいを感じる。					事前学習	事前配布プリントとオリエンテーション			
							事後学習	実践内容の理解			
	④	グループで懐中電灯と目印(集魚ライト)を頼りに暗闇を歩くことで夜の自然、協力と仲間の大切さを知る。					事前学習	事前配布プリントとオリエンテーション			
							事後学習	実践内容の理解			
	⑤	朝の体操で楽しく動くことで得られる爽快感と心と身体を目覚めさせる方法を学ぶ。(幼児指導法)					事前学習	事前配布プリントとオリエンテーション			
							事後学習	実践内容の理解			
	⑥	山中をカードやコマ図を利用し楽しみながら歩くことを通じ、自然、達成感、協力を学ぶ。(幼児指導法)					事前学習	事前配布プリントとオリエンテーション			
							事後学習	実践内容の理解			
	⑦	自然物を使った制作(クラフト)を通じ工夫することの楽しさ、創意工夫のすばらしさを知る。(幼児指導法)					事前学習	事前配布プリントとオリエンテーション			
							事後学習	実践内容の理解			
⑧	キャンプファイヤーを通じ明りの大切さ、仲間、有限な自然を利用することで生かされ人間を学ぶ。(幼児指導法)					事前学習	事前配布プリントとオリエンテーション				
						事後学習	実践内容の理解				
⑨	野外ゲームを通じ活動環境と幼児の遊び方、危険、導き方を学ぶ。(幼児指導法)					事前学習	事前配布プリントとオリエンテーション				
						事後学習	実践内容の理解				
⑩	最終日のカレー炊飯で初日、2日目の学びを生かして活動することを意識して行う。					事前学習	事前配布プリントとオリエンテーション				
						事後学習	実践内容の理解				
⑪	振り返りレポート作成					事前学習	実践の振り返り				
						事後学習	自己評価				
⑫						事前学習					
						事後学習					
⑬						事前学習					
						事後学習					
⑭						事前学習					
						事後学習					
⑮						事前学習					
						事後学習					
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事前に教科書の指定されたページ、配布されたプリントを熟読しておく。オリエンテーションに必ず参加する。</li> <li>・集団生活の規律を厳守する。</li> <li>・慣れない生活に備え自己の健康管理に留意する。</li> <li>・自然を理解するように努め、積極的に活動に参加する。</li> </ul>										
成績評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業参加状況や受講態度。(70%)</li> <li>・事後レポート作成内容。(25%)</li> <li>・活動(事前事後)への取り組み姿勢。(5%)</li> </ul>					教科書	園外保育・山のくらし				
						参考資料	事前配布プリント				

## シラバス(授業計画)

部・学年	夜間部1年	学期		半期		授業形態		演習		単位数	1単位
科目名	こどもと健康				担当教員	河村 哲昌		保育士として 実務経験有			
全体目標	領域「健康」の指導に関する幼児期の身体の発育、及びそれに伴う運動機能の発達などの専門的事項についての知識を身に付ける。										
一般目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼児期の健康課題と健康の発達の意味を理解する。</li> <li>・幼児期の運動発達の特徴と意義を理解する。</li> </ul>										
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康の定義と乳幼児期の健康の意義を説明できる。</li> <li>・乳幼児期の体の発達の特徴を説明できる</li> <li>・乳幼児期において多様な動きを獲得することの意義を理解している。</li> </ul>										
授業のながれ	回数	[ 授業内容 ]				課外学習					
	①	オリエンテーション 1. 健康とは？ (1)健康の定義 (2)健康の捉え方				事前学習	教科書P1～8を熟読し、“健康”とは何か考える				
						事後学習	授業内容を振り返る				
	②	1. 乳幼児の身体発育 (1)発育・発達とは？ (2)生理的早産説 (3)“子宮外胎児期”の意味				事前学習	教科書P39～44を熟読し、「発育」「発達」とは何か考える				
						事後学習	授業内容を振り返る				
	③	2. 乳幼児の身体計測及び発育状態 (1)身体計測 (2)乳幼児の発育栄養状態をみる方法				事前学習	教科書P39～44を熟読し、身体計測の方法を調べる				
						事後学習	授業内容を振り返る				
	④	3. 乳幼児の器官の発育 (1)骨格系の発育 (2)骨の働き (3)頭蓋、脊柱について				事前学習	人間の骨格の種類について調べる				
						事後学習	授業内容を振り返る				
⑤	(4)歯について 4. 乳幼児の筋肉の発育 (1)筋肉の発育 (2)筋肉の種類				事前学習	虫歯のプロセスについて調べる					
					事後学習	授業内容を振り返る					
⑥	(3)筋肉の働き (4)ミルキングアクション作用				事前学習	筋肉の働きについて調べる					
					事後学習	授業内容を振り返る					
⑦	5. 乳幼児の運動機能の発達 (1)運動の発生 (2)運動のメカニズム				事前学習	運動のメカニズムについて調べる					
					事後学習	授業内容を振り返る					
⑧	試験、まとめ				事前学習	これまでの学びをまとめる					
					事後学習	学びの応用のついて考える					
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 授業は必ず筆記用具を準備して臨む。</li> <li>* わからないことは、そのままにせず積極的に質問する。</li> <li>* 必要に応じて資料配布する。当日欠席した者は必ず取りに来る。</li> </ul>										
成績評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期試験 80%</li> <li>・提出物 20%</li> </ul>				教科書	シードブック 保育内容 健康 第3版 (建帛社)					
					参考資料	「幼稚園教育要領」「幼稚園教育要領解説」 「保育所保育指針」「保育所保育指針解説」 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」					

シラバス(授業計画)

部・学年	夜間部1年	学期		半期		授業形態	演習	単位数	1単位
科目名	こどもと人間関係			担当教員	北川 順子			幼稚園教諭として 実務経験有	
全体目標	子どもが身近な人に関わる意義、そして重要性について理解する。								
一般目標	子どもの心身の発達と身近な人的環境との関係性について理解を深める。								
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもが身近な人に関わる重要性について説明することができる。</li> <li>子どもを取り巻く環境の変化とその課題について、人間関係の視点から自らの考えを発言や文章によって示すことができる。</li> </ul>								
授業のながれ	回数	[ 授 業 内 容 ]				課外学習			
	① オリエンテーション	I 子どもを取り巻く環境の変化の超少子時代と教育				事前学習	現代の幼児教育の課題について調査しておく。		
						事後学習	授業内容の振り返り		
	② II 領域「人間関係」とは「ねらい」及び「内容」					事前学習	幼稚園教育要領 保育の内容について熟読しておく。		
						事後学習	授業内容の振り返り		
	③ III 環境を通して行う教育とは					事前学習	領域「人間関係」について特に重要な点について考えておく。		
						事後学習	授業内容の振り返り		
	④ IV 「あそび」の中での学びの重要性					事前学習	子どもにとって人間関係の視点から「あそび」とは何かを考えておく。		
						事後学習	授業内容の振り返り		
	⑤ V 子どもの発達と身近な人的環境とのかかわり	・人間関係のはじまり ・家庭における人間関係				事前学習	自分自身の幼い頃の家庭生活を振り返っておく。		
					事後学習	授業内容の振り返り			
⑥ 子どもの発達と身近な人的環境とのかかわり	・園における人間関係				事前学習	自分自身の園生活を振り返っておく。			
					事後学習	授業内容の振り返り			
⑦ 子どもの発達と身近な人的環境とのかかわり	・社会的ルールの理解				事前学習	自分自身を振り返り社会的ルールの重要性について考えておく。			
					事後学習	授業内容の振り返り			
⑧ 試験及びまとめ					事前学習	授業内容全体の理解を深めておく。			
					事後学習	授業内容全体を振り返り、自分自身の考えをまとめる。			
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業は必ず筆記用具を準備して臨む。</li> <li>わからないことはそのままにせず積極的に質問する。</li> <li>必要に応じて資料を配布する。当日欠席した者は必ず取りに来る。</li> </ul>								
成績評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>定期試験 70%</li> <li>授業参加状況や受講態度 30%</li> </ul>				教科書	・「新・保育実践を支える 人間関係」成田朋子編 福村出版			
					参考資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領及び解説書</li> <li>必要に応じて適宜配布する。</li> </ul>			

シラバス(授業計画)

部・学年	夜間部1年	学期	半期	授業形態	演習		単位数	1単位
科目名	こどもと環境			担当教員	河村 哲昌		保育士として 実務経験有	
全体目標	幼児を取り巻く環境や、幼児と環境との関わりについての専門的事項における感性を養い、知識・技能を身に付ける。							
一般目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼児を取り巻く環境と、幼児の発達にとっての意義を理解する。</li> <li>・幼児期の思考・科学的概念の発達を理解する。</li> </ul>							
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼児を取り巻く環境の諸側面(物的環境、人的環境、社会的環境、自然環境等)と、幼児の発達におけるそれらの重要性について説明できる。</li> <li>・乳幼児の認知的発達の特徴と道筋を説明できる。</li> <li>・乳幼児の物理的、数量・図形との関わり的事象に対する興味・関心、理解の発達を説明できる。</li> </ul>							
授業のながれ	回数	[ 授 業 内 容 ]			課外学習			
	①	オリエンテーション 1. 環境とは? (1)環境とは (2)幼児にとって「身近な環境」とは			事前学習	教科書P1～3を熟読し、“環境”とは何か考える		
					事後学習	授業内容を振り返る		
	②	2. 子どもの育ちを支える人的環境 (1)乳児期 DVD赤ちゃんが笑わない			事前学習	教科書P32～34を熟読し、乳児期の環境への関わりについて考える		
					事後学習	授業内容を振り返る		
	③	(2)幼児期			事前学習	教科書P34～40を熟読し、幼児期の環境への関わりについて考える		
					事後学習	授業内容を振り返る		
	④	3. 子どもの認知発達 (1)感受性の発達			事前学習	感受性とは何か考える		
					事後学習	授業内容を振り返る		
⑤	(2)思考の発達 ①子どもの思考と行動 ②ひとり遊びの意味 ③言葉と思考の関係			事前学習	子どもの思考について考える			
				事後学習	授業内容を振り返る			
⑥	④予想と予測 (3)体験の重要性 ①言葉と体験 ②繰り返しの意味			事前学習	様々な環境に関わることの意味について考える			
				事後学習	授業内容を振り返る			
⑦	(4)イメージの発達 ①模倣とイメージ ②ごっこイメージ			事前学習	イメージとは何かを考える			
				事後学習	授業内容を振り返る			
⑧	試験、まとめ			事前学習	これまでの学びをまとめる			
				事後学習	学びの応用のついて考える			
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> <li>*授業は必ず筆記用具を準備して臨む。</li> <li>*わからないことは、そのままにせず積極的に質問する。</li> <li>*必要に応じて資料配布する。当日欠席した者は必ず取りに来る。</li> </ul>							
成績評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期試験 80%</li> <li>・提出物 20%</li> </ul>			教科書	シートブック 保育内容 環境 第3版 (建帛社)			
				参考資料	「幼稚園教育要領」「幼稚園教育要領解説」 「保育所保育指針」「保育所保育指針解説」 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」			

シラバス(授業計画)

部・学年	夜間部1年	学期	半期	授業形態	演習	単位数	1単位
科目名	こどもと言葉			担当教員	和田 直子	幼稚園教諭として実務経験有	
全体目標	領域「言葉」の指導の基盤となる、幼児が豊かな言葉や表現を身に付け、想像する楽しさを広げるために必要な専門的事項に関する知識を身に付ける。						
一般目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人間にとって言葉の意義や機能を理解する。</li> <li>・乳幼児の言葉の発達の過程について理解する。</li> <li>・言葉に対する感覚を豊かにする保育実践について理解する。</li> </ul>						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・領域「言葉」のねらい及び内容について、発達の過程を踏まえたうえで説明することができる。</li> <li>・豊かな言葉を育む言葉遊び</li> <li>・児童文化財等の意義や必要性が説明できる。</li> </ul>						
授業のながれ	回数	[ 授業内容 ]			課外学習		
	①	言葉とは何か			事前学習	シラバスを読む。	
					事後学習	配付資料読み返す。	
	②	「領域 言葉」のねらい及び内容			事前学習	領域「言葉」のねらい及び内容を読む。	
					事後学習	配付資料を読み返す。	
	③	言葉の発達①乳児期から3歳児の前期ごろまで			事前学習	教育・保育要領の乳児期及び満1歳以上満3歳未満児の基本的事項を読む。	
					事後学習	配付資料を読み返す。	
	④	言葉の発達②3歳児後半から修学前まで			事前学習	要領、教育・保育要領の満3歳以上の園児の基本的事項を読む。	
					事後学習	配付資料を読み返す。	
⑤	保育の中の言葉(話すことと聞くこと、集団の中で使う言葉)			事前学習	美しい言葉(話し言葉、書き言葉)を見付ける。		
				事後学習	配付資料を読み返す。		
⑥	言葉に対する感覚を豊かにする実践(言葉遊びなど)			事前学習	言葉遊びを見付ける。		
				事後学習	配付資料を読み返す。		
⑦	豊かな言葉を育む児童文化財(絵本・物語・紙芝居など)			事前学習	絵本及び紙芝居を探す。		
				事後学習	授業で取り上げた絵本・児童書及び紙芝居を読む。		
⑧	まとめ、課題、試験			事前学習	総復習		
				事後学習	試験内容について振り返り		
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼稚園教育要領解説、幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説を読む。</li> <li>・事前学習及び事後学習に主体的に取り組む。</li> <li>・積極的に授業に参加する。</li> </ul>						
成績評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期試験 70%</li> <li>・課題等提出物 30%</li> </ul>			教科書	「幼稚園教育要領解説」(文部科学省)「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」(内閣府)		
				参考資料	「幼稚園教育要領」 「保育所保育指針」「保育所保育指針解説」 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」		

シラバス(授業計画)

部・学年	夜間部1年	学期	半期	授業形態	演習	単位数	1単位
科目名	こどもと表現			担当教員	永井弘人、田島宗忠、 桐生敬子、高田結加	特別支援学校教諭、幼稚園教諭として実務経験あり	
全体目標	領域「表現」の指導に関する、幼児の表現の姿やその発達及びそれを促す要因、幼児の感性や創造性を豊かにする様々な表現遊びや環境の構成などの専門的事項についての知識・技能、表現力を身に付ける。						
一般目標	幼児の表現の姿や、その発達を支援する。 身体・造形・音楽表現などの様々な表現の基礎的な知識・技能を学ぶことを通し、幼児の表現を支えるための感性を豊かにする。						
到達目標	幼児の遊びや生活における領域「表現」の位置付けについて説明できる。 様々な表現を感じる・みる・聴く・楽しむことを通してイメージを豊かにすることができる。 様々な表現活動の基礎的な知識技能に加え、ICTを活用した表現方法や表現活動を取り入れて、幼児の表現活動に展開させることができる。						
授業のながれ	回数	[ 授業内容 ]			課外学習		
	①	幼児期の表現の特性やそれを受け止めることの重要性について (担当:永井、田島、桐生、高田)			事前学習	シラバス確認、領域「表現」のポイントまとめ	
					事後学習	ワークシート完成、領域「表現」の理解	
	②	音楽表現の理解(担当:桐生、高田) ・幼児の音楽表現におけるねらいや活動内容について理解する			事前学習	幼児の音楽表現について要領等を読む	
					事後学習	ねらいや活動内容を理解する	
	③	豊かな歌唱表現(担当:高田) ・季節や行事の歌から歌唱表現を学ぶ			事前学習	季節や行事の歌を譜読みしておく	
					事後学習	歌唱表現について理解を深める	
	④	楽器と音の表現(担当:桐生) ・簡易な楽器を使った身近な音の表現を学ぶ			事前学習	簡易楽器の音や種類を整理しておく	
					事後学習	身近な音の表現について理解を深める	
	⑤	音楽遊び(担当:桐生、高田) ・音や声の重なり合いを体験する			事前学習	歌唱と器楽表現を整理しておく	
					事後学習	アンサンブルについて理解を深める	
	⑥	遊びと創造性(担当:田島) ・遊びから生まれる表現とは			事前学習	幼児期に好んでいた「遊び」を整理する	
					事後学習	授業内容を幼児・保育者の視点でまとめる	
	⑦	表現する楽しさについて(担当:田島) ・自分の感情、思いを表してみよう			事前学習	自身の経験から表現する楽しさを考える	
					事後学習	幼児の楽しさの表現について理解を深める	
⑧	ごっこ遊び(担当:田島) ・遊びの理論と幼児の表現1			事前学習	自分が経験したごっこ遊びについて整理する		
				事後学習	幼児の表現する楽しさについて理解を深める		
⑨	模倣遊び(担当:田島) ・遊びの理論と幼児の表現2			事前学習	自分が経験した模倣遊びについて整理する		
				事後学習	幼児の表現する楽しさについて理解を深める		
⑩	幼児の遊びと描画能力の発達について (担当:永井) ・行動として表れる成熟と描画の変容 ・内面の変化の理解			事前学習	描画能力のポイントを整理しておく		
				事後学習	幼児の遊びと描画能力について理解を深める		
⑪	「表現」における教材例一染め紙・滲み絵一 (担当:永井) ・紙の構造と染め・滲みの変化			事前学習	「表現」における教材例について整理しておく		
				事後学習	作品鑑賞等での幼児との応答を構想する		
⑫	「表現」教材としてのICT機器 (担当:永井) 幼児と現代アート(バーチャル美術館)			事前学習	ICT機器の活用による造形活動の例を考える		
				事後学習	光や映像による造形活動について理解する		
⑬	文化資源(美術館等)を活用した「表現」(担当:永井) 幼児の鑑賞教育と表現行為の関係			事前学習	先行事例に目を通しておく		
				事後学習	鑑賞教育の可能性やアイデアをまとめる		
⑭	「表現」の分野ごとに基礎理論と実践の要点を振り返る。 (担当:永井、田島、桐生、高田)			事前学習	各分野の概要について不明な点をまとめる		
				事後学習	これまでに学んだことや課題を確認する		
⑮	領域「表現」についてのまとめ及び試験 (担当:永井、田島、桐生、高田)			事前学習	これまでに学んだことや課題をまとめる		
				事後学習	領域表現の理論的背景及び実践を理解する		
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎理論に関する事前学習としての調べ学習をしたうえで授業に臨むこと</li> <li>・「表現」のねらいを指導場面にて具体的に説明できること</li> <li>・事前準備を入念に行った上で、積極的に事例検討やグループ討議を行なうこと</li> <li>・課題や授業内での取り組みはしっかりと自分の考えを述べられるようにすること</li> </ul>						
成績評価の方法	授業参加・課題取り組み	20%			教科書	幼稚園教育要領(平成29年3月告示 文部科学省)／幼保連携型認定こども園教育・保育要領(平成29年3月告示 内閣府・文部科学省・厚生労働省)／保育所保育指針(平成29年3月告示 厚生労働省)／幼児のうたとあそび(株式会社みらい)	
	グループ討議	15%					
	課題	15%					
	試験	50%					
資料考	幼稚園教育要領解説／幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説／保育所保育指針解説						

シラバス(授業計画)

部・学年	夜間部1年	学期		半期		授業形態		演習		単位数	2単位	
科目名	保育指導法総論				担当教員	榎田 英代						
全体目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実際の指導場面を想定して保育を構想する方法を身に付ける。</li> <li>・具体的な幼児の姿と関連づけながら遊びの中でどのような経験をしているかについて学び、5領域のねらい及び内容とのつながりを確認し、遊びを通して育つことを理解する。</li> </ul>											
一般目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育内容各論の内容について、子どもの生活・遊びの中で総合的にとらえる視点をもつことができるようにする。</li> <li>・指導計画の考え方を理解し、発達を見通した指導計画の作成ができる。</li> <li>・保育者の役割と援助等、保育者の専門性を理解する。</li> </ul>											
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育の多様な展開について具体的に理解する。</li> <li>・幼児期の教育における見方・考え方と、遊びを通しての総合的な指導の意義と教師の役割を理解し説明できる。</li> </ul>											
授業のながれ	回数	[ 授 業 内 容 ]				課外学習						
	①	ガイダンス	子どもを取り巻く社会環境の変化と保育内容			事前学習	保育の道を選んだ理由を考える					
					事後学習	リアクションペーパーの記入						
	②	保育所・幼稚園・認定こども園の役割				事前学習	配布プリントを下読みする。					
					事後学習	リアクションペーパーの記入						
	③	保育所・幼稚園・認定こども園の保育内容				事前学習	教科書の該当箇所を読む。					
					事後学習	リアクションペーパーの記入						
	④	保育内容を展開するプロセス				事前学習	教科書の該当箇所を読む。					
					事後学習	リアクションペーパーの記入						
	⑤	乳児期の保育内容とその展開				事前学習	教科書の該当箇所を読む。					
					事後学習	リアクションペーパーの記入						
	⑥	満1歳～満3歳未満の保育内容とその展開				事前学習	教科書の該当箇所を読む。					
					事後学習	リアクションペーパーの記入						
	⑦	満3歳以上の保育内容とその展開				事前学習	教科書の該当箇所を読む。					
					事後学習	リアクションペーパーの記入						
⑧	就学前教育と初等教育を接続する保育内容				事前学習	教科書の該当箇所を読む。						
				事後学習	リアクションペーパーの記入							
⑨	異年齢児の保育内容				事前学習	教科書の該当箇所を読む。						
				事後学習	リアクションペーパーの記入							
⑩	子育て支援を創造する保育内容				事前学習	配布プリントを下読みする。						
				事後学習	リアクションペーパーの記入							
⑪	地域に開かれた保育所・幼稚園等を想像する保育内容				事前学習	教科書の該当箇所を読む。						
				事後学習	リアクションペーパーの記入							
⑫	日本における保育内容の変遷				事前学習	配布プリントを下読みする。						
				事後学習	リアクションペーパーの記入							
⑬	諸外国の保育所・幼稚園の保育内容				事前学習	配布プリントを下読みする。						
				事後学習	リアクションペーパーの記入							
⑭	これからの保育内容の課題				事前学習	配布プリントを下読みする。						
				事後学習	リアクションペーパーの記入							
⑮	試験・まとめ				事前学習	これまでの学びの確認。						
				事後学習	まとめの内容を把握する。							
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・準備学習をして、積極的に授業に臨んでください。</li> <li>・事前に連絡する準備物(教材や資料)を忘れないようにしましょう。</li> </ul>											
成績評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・試験(レポート) 60%</li> <li>・提出物 10%</li> <li>・授業参加状況や受講態度 30%</li> </ul>				教科書	<ul style="list-style-type: none"> <li>・業務を創造する演習・保育内容総論 (株)みらい</li> <li>・保育所保育指針解説 (厚生労働省)</li> <li>・幼稚園教育要領解説 (文部科学省)</li> <li>・幼保連携型認定こども園教育保育要領解説 (内閣府)</li> </ul>						
	成績評価の方法					参考資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>必要に応じて適宜配布します。</li> <li>幼稚園教育要領・保育所保育指針</li> <li>幼保連携型認定こども園教育保育要領</li> </ul>					

シラバス(授業計画)

部・学年	夜間部1年	学期	半期	授業形態	演習	単位数	1単位
科目名	健康指導法			担当教員	河村 哲昌	保育士として実務経験有	
全体目標	領域「健康」に示されたねらい及び内容について、関連する専門領域と含め理解し、幼児の発達に即して、主体的・対話的に学び、実際の保育場面を想定し、保育を構想する方法を身につける。						
一般目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼稚園教育要領に示された幼稚園教育の基本を踏まえ、領域「健康」のねらい及び内容を理解する。</li> <li>・幼児の発達や学びの過程を理解し、領域「健康」に関わる具体的な指導場面を想定した保育を構成する方法を身につける。</li> </ul>						
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 幼稚園教育要領における幼稚園教育の基本、領域「健康」のねらい及び内容並びに全体構造を理解している。</li> <li>3. 領域「健康」の特性に応じた現代的課題や保育実践の動向を知り、保育を改善する視点を身につけ、その向上に取り組めるようになる。</li> <li>2. 領域「健康」に示されたねらい及び内容を踏まえ、幼児が経験し身につけていく内容と指導上の留意点を理解している。</li> </ol>						
授 業 の な が れ	回数	[ 授 業 内 容 ]			課外学習		
	①	オリエンテーション 1. 保育と領域「健康」(1)保育とは？(2)「幼稚園教育要領」及び「保育所保育指針」等における保育の目標	事前学習 事後学習	「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」等を熟読する教科書P6～12を熟読し、「保育」とは何か考える 授業内容を振り返る			
	②	(3)幼児期の教育の特性 (4)領域「健康」の「ねらい」と「内容」 (5)領域「健康」と他領域との関係	事前学習 事後学習	「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」等を熟読する 授業内容を振り返る			
	③	(5)総合的な指導とは？ (6)乳児保育と領域「健康」	事前学習 事後学習	教科書P12～15を熟読し、5領域の関係性について考える 授業内容を振り返る			
	④	2. 健康に関わる現代の子どもの課題 (1)我が国における夜更かしの子どもの実態 DVD危ない！子どもの睡眠	事前学習 事後学習	教科書P16～27を熟読し、健康に関わる現代の子どもの課題について考える 授業内容を振り返る			
	⑤	(2)我が国におけるこれまでの取り組み (3)生活リズムの重要性と必要性	事前学習 事後学習	教科書P25～27を熟読し、「生活リズム」とは何か？について考える 授業内容を振り返る			
	⑥	(4)生活リズムの確立のために (5)生活リズムの乱れが幼い子どもに及ぼす影響とその対策	事前学習 事後学習	教科書P28～38を熟読し、健康に関わる現代の子どもの課題について考える 授業内容を振り返る			
	⑦	(4)生活リズムの確立のために (5)生活リズムの乱れが幼い子どもに及ぼす影響とその対策	事前学習 事後学習	教科書P28～38を熟読し、健康に関わる現代の子どもの課題について考える 授業内容を振り返る			
	⑧	3. 乳幼児の運動能力の発達と園生活 (1)粗大運動の発達 ①這う ②歩く	事前学習 事後学習	教科書P45～51を熟読し、人間のあかちゃんができるようになるまでの過程を考える 授業内容を振り返る			
	⑨	③走る ④跳ぶ ⑤投げる ⑥蹴る	事前学習 事後学習	教科書P52～60を熟読し、様々な運動機能の発達について考える 授業内容を振り返る			
	⑩	(2)微細運動の発達 ①手の運動パターン ②手と腕の運動の発達	事前学習 事後学習	教科書P52～60を熟読し、様々な運動機能の発達について考える 授業内容を振り返る			
	⑪	4. 乳幼児の運動遊び (1)乳幼児期の運動あそび ①子どもの遊びと発達 ②乳児の運動あそび	事前学習 事後学習	教科書P82～95を熟読し、自分の幼かったころを振り返り、運動あそびの意味を考える 授業内容を振り返る			
	⑫	③幼児の運動あそび (3)運動あそびの効果 (4)運動あそびの留意点	事前学習 事後学習	教科書P82～95を熟読し、運動あそびの重要性について考える 授業内容を振り返る			
	⑬	5. 乳幼児の心の発達と園生活 は？ (2)情緒の発達 (3)社会性の発達	事前学習 事後学習	教科書P61～81を熟読し、心の発達について考える 授業内容を振り返る	(1)心と		
	⑭	(4)知的能力の発達 (5)パーソナリティーの発達 (6)心の発達と保育者の援助	事前学習 事後学習	教科書P61～81を熟読し、心の発達について考える 授業内容を振り返る			
⑮	試験、まとめ	事前学習 事後学習	これまでの学びをまとめる 学びの応用のついて考える				
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 授業は必ず筆記用具を準備して臨む。</li> <li>* わからないことは、そのままにせず積極的に質問する。</li> <li>* 必要に応じて資料配布する。当日欠席した者は必ず取りに来る。</li> </ul>						
成績評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期試験 80%</li> <li>・提出物 20%</li> </ul>			教科書	シードブック 保育内容 健康 第3版 (達帛社)		
				参考資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>「幼稚園教育要領」「幼稚園教育要領解説」</li> <li>「保育所保育指針」「保育所保育指針解説」</li> <li>「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」</li> <li>「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」</li> </ul>		



## シラバス(授業計画)

部・学年	夜間部1年	学期	半期	授業形態	演習	単位数	1単位
科目名	人間関係指導法			担当教員	北川 順子	幼稚園教諭として 実務経験有	
全体目標	教育要領、保育指針、教育・保育要領に示された領域「人間関係」のねらい及び内容について、乳幼児の姿と保育実践を関連させて理解を深める。その上で乳幼児の発達にふさわしい保育を学び、具体的な実践の方法を身につける。						
一般目標	1. 領域「人間関係」のねらい及び内容を理解している。 2. 乳幼児の自立心を育て、人と関わる力を養うために必要な指導上の留意点を理解している。 3. 発達理解を深め、必要な援助と留意点を理解している。						
到達目標	1. 領域「人間関係」を広い視野から学ぶことにより、現代課題や保育実践の動向を知り、保育の改善、内容の向上に取り込むことができる。 2. 領域「人間関係」の特性及び幼児の体験との関連を考慮した情報機器及び教材の活用方法を理解し、保育構想に活用できるようになる。						
授 業 の な が れ	回数	[ 授 業 内 容 ]			課外学習		
	①	保育内容『人間関係』 人と人との関係			事前学習	要領、指針、教育保育要領を読んでおく	
					事後学習	授業の振り返りをする	
	②	保育の基本と人間関係 ねらい及び内容と具体的な姿			事前学習	要領、指針、教育保育要領を読んでおく	
					事後学習	授業の振り返りをする	
	③	乳児期の人との関わり・親子関係 家庭を中心とした様々な人間関係・乳児期の発達の姿			事前学習	教科書の該当箇所を予習する	
					事後学習	授業の振り返りをする	
	④	乳児期の人との関わりと保育 保育事例の研究と模擬保育			事前学習	教科書の該当箇所を予習する	
					事後学習	授業の振り返りをする	
	⑤	3歳児の人との関わりと保育 保育事例の研究と模擬保育			事前学習	教科書の該当箇所を予習する	
					事後学習	授業の振り返りをする	
	⑥	4歳児の人との関わりと保育 保育事例の研究と模擬保育			事前学習	教科書の該当箇所を予習する	
					事後学習	授業の振り返りをする	
	⑦	5歳児の人との関わりと保育 保育事例の研究と模擬保育			事前学習	教科書の該当箇所を予習する	
					事後学習	授業の振り返りをする	
⑧	子どもの遊びと人間関係 個と集団がつながる環境構成と保育援助			事前学習	教科書の該当箇所を予習する		
				事後学習	授業の振り返りをする		
⑨	個性的な子どもと人間関係 保育事例の研究と模擬保育			事前学習	個性的な子どもについて調べる		
				事後学習	授業の振り返りをする		
⑩	人間関係を育む保育を考える グループワーク			事前学習	教科書の該当箇所を予習する		
				事後学習	授業の振り返りをする		
⑪	保護者と保育者の人間関係 保護者の気持ちを受け止め、寄り添うとは			事前学習	自分の身近な保護者関係を調べる		
				事後学習	授業の振り返りをする		
⑫	保育者同士の人間関係 子どもの育ちを支える保育者同士の関係とは			事前学習	自分の身近な保育者関係を調べる		
				事後学習	授業の振り返りをする		
⑬	領域「人間関係」から見た小学校との連携 小学校との連携の課題を考える			事前学習	自分の小学校生活を振り返っておく		
				事後学習	授業の振り返りをする		
⑭	地域社会で育む子どもの人間関係 園と地域との関わり、役割とは			事前学習	自分の地域社会について調べる		
				事後学習	授業の振り返りをする		
⑮	筆記試験、まとめ			事前学習	授業内容全体の理解を深めておく		
				事後学習	講評の内容を把握する		
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実習だけでなく、進んで子どもたちと触れあう機会を設け、その姿を通して学んだことの確認をするように努める。</li> <li>・日頃より身近な大人の関係、地域関係を通して、人と関わる力と子どもの育ちを考えられるようにする。</li> <li>・教科書だけでなく、意欲的に保育実践に関する文献、実践事例を読むことや、社会情勢のニュースを知ることにも努める。</li> </ul>						
成績評価の方法	定期試験 70% 授業参加状況や受講態度 30%			教科書	・「新・保育実践を支える 人間関係」成田朋子編 福村出版		
				参考資料	・幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領及び各解説書 ・必要に応じて適宜配布する。		

## シラバス(授業計画)

部・学年	夜間部1年	学期	半期	授業形態	演習	単位数	1単位
科目名	環境指導法			担当教員	河村 哲昌	保育士として 実務経験有	
全体目標	領域「環境」に示されたねらい及び内容について、関連する専門領域と含め理解し、幼児の発達に即して、主体的・対話的で深い学びが実現する過程を踏まえて、保育を構想する方法を身につける。						
一般目標	・幼稚園教育要領等に示された幼稚園教育の基本を踏まえ、領域「環境」のねらい及び内容を理解する。 ・幼児の発達や学びの過程を理解し、領域「環境」に関わる具体的な指導場面を想定した保育を構成する方法を身につける。						
到達目標	1. 幼児期の教育の特性について説明することができる。 2. 領域「環境健康」の特性及び幼児の体験との関連を考慮した情報機器及び教材の活用法を理解し、保育構想に活用すること 3. 領域「環境」の視点から、現代社会における子どもの育ちに関する課題を説明することができる。						
授業 の な が れ	回数	[ 授 業 内 容 ]			課外学習		
	①	オリエンテーション	1. 領域「環境」とは？	(1) 環境とは？ (2) 幼児にとって「身近な環境」とは？	事前学習 事後学習	教科書P1～3を熟読し、環境とは何か考える 授業内容を振り返る	
	②	2. 保育と領域「環境」	(1) 保育とは (2) 「幼稚園教育要領」等における保育の目標	事前学習 事後学習	教科書P3～6を熟読し、保育とは何か考える 授業内容を振り返る		
	③	(3) 幼児期の教育の特性	(4) 領域「環境」の「ねらい」と「内容」	事前学習 事後学習	「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」等を熟読する 授業内容を振り返る		
	④	3. 子どもの育ちに関わる現代の社会環境とその課題	(1) 超少子化時代の実態	事前学習 事後学習	教科書P14～31を熟読し、現代社会の課題について考える 授業内容を振り返る		
	⑤	(2) 少子化の要因		事前学習 事後学習	教科書P14～31を熟読する 授業内容を振り返る		
	⑥	(3) 幼児教育と早期教育	DVD ママ 私をどう育てたいのですか？	事前学習 事後学習	早期教育とは何か調べる 授業内容を振り返る		
	⑦	(4) 幼児教育における課題		事前学習 事後学習	現代における幼児教育の課題について考える 授業内容を振り返る		
	⑧	4. 領域「環境」と身近な情報機器と教材	(1) 身近な情報の活用 (2) 身近な情報を活用した教材作り①ねらい及び内容	事前学習 事後学習	情報機器を活用した保育教材を調べる 授業内容を振り返る		
	⑨	(3) 身近な情報を活用した教材作り②指導計画の作成		事前学習 事後学習	ねらいに向けて保育教材の内容を考える 授業内容を振り返る		
	⑩	(4) 身近な情報を活用した教材作り②指導計画の検討 (5) 身近な情報を活用した教材作り①実践に向けての準備		事前学習 事後学習	情報機器を活用した保育教材を調べる 授業内容を振り返る		
	⑪	(5) 身近な情報を活用した教材による保育実践	①2歳児	事前学習 事後学習	ねらいに向けて保育教材の内容を考える 授業内容を振り返る		
	⑫	(5) 身近な情報を活用した教材による保育実践	②3歳児	事前学習 事後学習	保育教材を活用した保育をイメージする 授業内容を振り返る		
	⑬	(5) 身近な情報を活用した教材による保育実践	③4・5歳児	事前学習 事後学習	保育教材を活用した保育をイメージする 授業内容を振り返る		
	⑭	(6) 身近な情報を活用した教材による保育の評価及び課題		事前学習 事後学習	保育実践を振り返る 授業内容を振り返る		
⑮	試験、まとめ		事前学習 事後学習	これまでの学びをまとめる 学びの応用のついて考える			
学習上の留意点	*授業は必ず筆記用具を準備して臨む。 *わからないことは、そのままにせず積極的に質問する。 *必要に応じて資料配布する。当日欠席した者は必ず取りに来る。						
成績評価の方法	・定期試験 80% ・提出物 20%			教科書	シードブック 保育内容 環境 第3版 建帛社		
				参考資料	「幼稚園教育要領」(平成29年3月告示 文部科学省) 「保育所保育指針」(平成29年3月告示 厚生労働省) 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」(平成29年3月告示 内閣府・文部科学省・厚生労働省) 各解説書		



シラバス(授業計画)

部・学年	夜間部1年	学期	半期	授業形態	講義	単位数	2単位
科目名	教職概論			担当教員	須田 昂宏		
全体目標	教職(教師)という仕事、保育者という仕事を多角的に理解する。						
一般目標	教師・保育者の意義と役割、仕事内容と専門性を理解するとともに、現代の教育状況についても理解する。						
到達目標	1. 教師・保育者の意義と役割を理解する。 2. 教師・保育者としての仕事内容を理解し、求められる専門性(資質・能力)を理解する。 3. 現代の教育状況を理解し、必要な態度を身につける。						
授業のながれ	回数	[ 授業内容 ]			課外学習		
	①	オリエンテーション	事前学習	事後学習	本授業に期待することを考えてくる	リアクションペーパーを書いてくる	
	②	教師・保育者の意義と役割	事前学習	事後学習	事前配布プリントを読んでくる	リアクションペーパーを書いてくる	
	③	教師・保育者の仕事内容	事前学習	事後学習	事前配布プリントを読んでくる	リアクションペーパーを書いてくる	
	④	教師・保育者の専門性(1) 求められる資質と能力	事前学習	事後学習	事前配布プリントを読んでくる	リアクションペーパーを書いてくる	
	⑤	教師・保育者の専門性(2) 資格との関係から	事前学習	事後学習	事前配布プリントを読んでくる	リアクションペーパーを書いてくる	
	⑥	教師・保育者の専門性(3) シラバスづくり	事前学習	事後学習	事前配布プリントを読んでくる	リアクションペーパーを書いてくる	
	⑦	教師・保育者の専門性(4) 教育技術と反省的実践家・チーム学校	事前学習	事後学習	事前配布プリントを読んでくる	リアクションペーパーを書いてくる	
	⑧	教師・保育者の現状(1) 教員免許状更新講習	事前学習	事後学習	事前配布プリントを読んでくる	リアクションペーパーを書いてくる	
	⑨	教師・保育者の現状(2) 教師・保育者の現状と課題	事前学習	事後学習	事前配布プリントを読んでくる	リアクションペーパーを書いてくる	
	⑩	教育の現状(1) 教育とカリキュラム	事前学習	事後学習	事前配布プリントを読んでくる	リアクションペーパーを書いてくる	
	⑪	教育の現状(2) 教育と評価	事前学習	事後学習	事前配布プリントを読んでくる	リアクションペーパーを書いてくる	
	⑫	教育の現状(3) 教育とアクティブラーニング	事前学習	事後学習	事前配布プリントを読んでくる	リアクションペーパーを書いてくる	
	⑬	課題の発表	事前学習	事後学習	発表の準備をしてくる	リアクションペーパーを書いてくる	
	⑭	教職概論のまとめ	事前学習	事後学習	事前配布プリントを読んでくる	リアクションペーパーを書いてくる	
⑮	試験・講評	事前学習	事後学習	試験対策をやってくる	試験の振り返りをする		
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> <li>「授業のながれ」の順番は変更することがある。</li> <li>本授業は講義であるが、「聴く」活動のみならず、「書く」、「話し合う」、「発表する」などの活動を非常に多く含む。成績評価が平常点重視なことからもわかるように、特に授業中は能動的・積極的な参加が求められる。</li> </ul>						
成績評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>試験 50%</li> <li>授業参加状況 50%</li> </ul>			教科書			
				参考資料	前田 廣裕『まんがで知る教師の学び—これからの学校教育を担うために』(くら社、2016年) 高橋 真志『これからの保育者論—日々の実践に宿る専門性』(明文書林、2017年) 『幼稚園教育要領』(平成29年3月告示 文部科学省)『幼稚園教育要領解説』 『保育所保育指針』(平成29年3月告示 厚生労働省)『保育所保育指針解説』 『幼保連携型認定こども園教育・保育要領』(平成29年3月告示 内閣府・文部科学省・厚生労働省)『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説』		

## シラバス(授業計画)

部・学年	夜間部1年	学期	半期	授業形態	講義	単位数	2単位
科目名	教育心理学			担当教員	菅田 達也		
全体目標	子どもたちの学習について焦点をあて、他者がどのように支えていけばいいのかについて考えることを目的とする。また、子どもへの理解を深めるため、生涯発達の見点の重要性を理解し、子どもが人との関わりや学びを通して発達することを学ぶ。教育心理学で取り上げられている「学び」について知識を得ることで、子どもの発達や学習に関する理解を深め、保育(教育)実践に対する基本的態度を養うことをねらいとする。						
一般目標	(1)対象となる幼児の心身の発達過程及びその特徴を理解する。 (2)幼児、児童の学習に関する基礎的知識を理解する。 (3)発達を踏まえた学習を支える指導について基礎的な考え方を理解する。						
到達目標	①発達に関する代表的理論を踏まえ、発達の概念及び教育における発達理解の意義を理解している。 ②学習の形態や概念及びその過程を説明する代表的理論の基礎を理解している。 ③動機づけ・集団づくり・学習評価の在り方について、発達の特徴と関連付けて理解している。 ④発達に応じた、学習活動を支える指導の基礎となる考え方を理解している。						
授業のながれ	回数	[ 授 業 内 容 ]			課外学習		
	①	オリエンテーション			事前学習	シラバスを読む	
					事後学習	授業ノートの復習	
	②	保育と教育心理学			事前学習	前回の資料を読む	
					事後学習	教科書・授業ノートの復習	
	③	発達と教育			事前学習	前回までの資料を読む	
					事後学習	教科書・授業ノートの復習	
	④	行動の理解—生得的行動と習得的行動—			事前学習	前回までの資料を読む	
					事後学習	教科書・授業ノートの復習	
	⑤	学習のタイプ			事前学習	前回までの資料を読む	
					事後学習	教科書・授業ノートの復習	
	⑥	レスポナント条件づけ			事前学習	前回までの資料を読む	
					事後学習	教科書・授業ノートの復習	
	⑦	オペラント条件づけ			事前学習	前回までの資料を読む	
					事後学習	教科書・授業ノートの復習	
⑧	強化と消去			事前学習	前回までの資料を読む		
				事後学習	教科書・授業ノートの復習		
⑨	強化の理論 / 中間の振り返り			事前学習	前回までの資料を読む		
				事後学習	教科書・授業ノートの復習		
⑩	認知学習と社会的学習			事前学習	前回までの資料を読む		
				事後学習	教科書・授業ノートの復習		
⑪	記憶について			事前学習	前回までの資料を読む		
				事後学習	教科書・授業ノートの復習		
⑫	動機づけとは			事前学習	前回までの資料を読む		
				事後学習	教科書・授業ノートの復習		
⑬	個人差の理解(適応・不適応とは)			事前学習	前回までの資料を読む		
				事後学習	教科書・授業ノートの復習		
⑭	学習の支援について			事前学習	前回までの資料を読む		
				事後学習	教科書・授業ノートの復習		
⑮	学びの振り返り・まとめ・試験(定期試験)			事前学習	前回までの資料を読む		
				事後学習	学びの振り返りをする		
学習上の留意点	受講するに当たって、ノートを用意すること。口頭による説明が中心となるので、講義内容をノートにまとめる必要がある。また、板書以外のことがらについてもノートに記述することを心がけること。						
成績評価の方法	定期試験	80%		教科書	「教育心理学—保育者をめざす人へ—」 石井正子・松尾直博(編) 樹村房		
	平常点(受講態度・授業参加状況)	20%			参考資料	配布プリント	

シラバス(授業計画)

部・学年	夜間部1年	学期	半期	授業形態	講義	講義	単位数	2単位
科目名	教育方法論			担当教員	松葉 百香		幼稚園教諭・保育士として 実務経験有	
全体目標	保育を展開するための方法と技術を学ぶ 教材や情報機器を活用して、具体的な保育方法について学ぶ 子どもに適した児童文化財を選び実践する							
一般目標	情報機器等を活用しながら練習を重ねることで、保育技術を高める 「子どもの遊び」に対する理解を深め、適切な保育方法を学ぶ 実際に計画し、実践をする中で工夫したり改善したりする。							
到達目標	保育を展開するための基本的なことを身につける 子どもを理解し、子どもたちに合った保育内容を計画して実践することができる 保育者として様々な保育方法を身につけて実践力を培う							
授業 の な が れ	回数	[ 授 業 内 容 ]			課外学習			
	①	幼稚園・保育園・認定こども園とは DVD「児童文化財を用いた保育実技」歌遊び			事前学習	幼児期に園で行った活動を思い出しておく		
					事後学習	習った遊び歌の復習をする。		
	②	様々な保育方法を学ぶ (1)絵本 絵本の選び方・種類・読み方			事前学習	子どもたちに読みたい絵本を選んでくる		
					事後学習	子どもたちに読むように声に出して絵本を読む		
	③	様々な保育方法を学ぶ (2)手遊び ねらい・発展方法・遊び方のポイント等			事前学習	P.79～81の「手遊び」の所を読んでおく		
					事後学習	習った手遊びを復習してできるようにしておく		
	④	教材研究 (1)ペープサート「ふうせん」「さかな」 教材研究 (2)ペーパーシアター			事前学習	P.101～103「ペープサート」の所を読んでおく		
					事後学習	ペープサートで発表できるように練習する		
	⑤	教材研究 (3)パネルシアター DVD「はじめの一步」 実際に動かして演じる			事前学習	P.117～119/パネルシアターの所を読んでおく		
					事後学習	パネルシアターを仕上げて練習する。		
	⑥	子ども理解 (1)折り紙 記録の作成(1)活動ポイント記入用紙への記入			事前学習	P.169～188を読み、折りたい折り紙を考える		
					事後学習	「活動ポイント用紙」を記入する。		
	⑦	子ども理解 (2)集団遊び・リズム遊び・伝承遊び 記録の作成(2)「子どもの活動」			事前学習	自分が遊んだ遊びの内容等を発表する		
					事後学習	「子どもの活動」についての記録を完成させる		
⑧	記録の作成(3)一日の流れ グループワーク「子どもの活動」			事前学習	「一日の活動」には何があるのか調べておく			
				事後学習	「実習記録」に子どもの活動を記入する			
⑨	記録の作成(3)教師の援助・配慮 グループワーク 「教師の援助・配慮」から教師の意図に気づく			事前学習	「教師の援助・配慮」の「いいな」を見つける			
				事後学習	一日の流れから「教師の援助・配慮」を記入			
⑩	記録の作成(4)環境構成 環境から育つこと 一日の記録を仕上げる			事前学習	5領域「環境」を中心に幼稚園教育要領を読む			
				事後学習	「環境」を書き入れて「記録」を仕上げる			
⑪	記録の作成(5)「幼稚園教育要領」から考える 「三つの柱」「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」			事前学習	「幼稚園教育要領」をP.5～7を読んでくる			
				事後学習	具体的な遊びの中から10の姿をとらえる			
⑫	子どもの遊び(1)遊びこむとは 遊びから育つもの DVD「主体的な遊びで育つ子ども」 グループワーク			事前学習	幼児期に夢中になった遊びが発表できるように			
				事後学習	子どもの遊ぶ姿の観察記録を記入する			
⑬	子どもの遊び(2) 導入→発展→まとめ			事前学習	30分程度の遊びを「活動記入用紙」に記入			
				事後学習	「導入→展開→まとめ」の流れで記録を記入			
⑭	保育方法の発表と振り返り PDCAサイクル			事前学習	自分の記入した記録をしっかり把握しておく			
				事後学習	取り組みを振り返り次の計画・実践につなげる			
⑮	試験とまとめ			事前学習	様々な保育方法や評価方法を理解する			
				事後学習	自信をもって実践できるように練習を続ける			
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> <li>積極的に授業に参加すること。</li> <li>日頃から子どもや幼児教育に関心を持ち、保育者を目指すものとして自覚をもって学ぶこと。</li> <li>「幼稚園教育要領」や「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」や「保育所保育指針」をよく見て学ぶこと。</li> <li>提出物は、丁寧に記述し、必ず見直したうえで期限内に提出すること。</li> </ul>							
成績 評価 の 方 法	定期試験50% 課題10% 授業参加状況30% (授業内での取り組み・グループワーク・レポート等) 発表10% 以上を総合的に評価する				教科書	『保育実技』久富陽子(編著) 萌文書林 『実習における遊びの援助と展開』久富陽子(編著) 萌文書林『教育・保育実習テキスト』 『幼稚園教育要領』幼稚園教育要領解説』 『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説』 『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説』		
	参考資料	イラストで読む！幼稚園教育要領保育所保育指針幼保連携型認定こども園教育・保育要領はわかりBOOK 無藤隆 編 学陽書房						

シラバス(授業計画)

部・学年	夜間部1年	学期		集中		授業形態		実習		単位数	2単位
科目名	教育実習 I				担当教員	松葉 百香		幼稚園教諭・保育士として実務経験有			
全体目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>意識的に学び子ども理解を深める。</li> <li>幼稚園の役割や保育者の職務を知る。</li> <li>教材研究・ピアノの練習等、事前準備をすることの大切さに気付き、積極的に実践する。</li> </ul>										
一般目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>幼稚園の行事を知り、「ねらい」をしっかりと理解した上で、準備・行事での保育の補助・片付けを体験する。</li> </ul>										
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>実習での自分の反省点や課題を見つけて今後の保育につながるようにする。</li> <li>PDCAサイクルに当てはめて、実習内容や記録をしっかりと振り返る。</li> </ul>										
授業のながれ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実習の期間 後期11月の末から2週間実施。</li> <li>・実習の内容 観察実習・参加実習を中心に行う。 朝の会、帰りの会、給食等の部分実習やピアノ伴奏等については積極的に随時行う。 指導計画を作成しない参加(部分)実習に加え、指導実習を行うこともある。(実習園の指示に従う)</li> <li>・事前訪問 実習開始の約3週間前までに実施。 実習園の概要および実習方針や実習クラスの子どもの様子を知る。 実習に臨む上で必要なことや準備することについて学ぶ。</li> <li>・実習園訪問指導 実習担当教員を中心に本校教員が実習期間中に実習園を訪問する。教員と園長・実習担当教諭等との面談終了後、実習生は現地で本校教員の指導を受ける。</li> <li>・事後訪問 実習終了後すみやかに実施。(実習園の指示に従う) 最終日の実習記録や振り返り等を記載し、実習園に原則持参するが、諸事情で困難な場合は郵送などの手段を用いる。</li> </ul>										
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・規則正しい生活を送り、心身ともに健康に留意する。</li> <li>・社会人としてのマナーを守り、保育者としての心構えを持つ。</li> <li>・実習園と学校に必要な応じて「報告・連絡・相談」をする。</li> <li>・実習園で知り得た個人情報等の守秘義務を遵守する。</li> <li>・教材研究・ピアノ等の事前準備を行ったうえで能動的に実習に臨むこと。</li> <li>・事後訪問終了後、速やかに「実習記録」や指示された書類を提出すること。</li> </ul> <p>注：本校が定める「実習履修基準」により履修の可否を判断する。 実習に臨む姿勢や未提出課題等のより事前準備が整わない場合は、実習を見送ることがある。</p>										
成績評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実習前や実習後に指示された課題や提出すべき書類等、実習前後の内容や取り組みについて評価する</li> <li>・実習園の評価を基にオリエンテーション、事前準備、実習記録や提出書類等、実習園訪問指導時の状況や実習後を含む実習の取り組みを総合的に勘案して評価する</li> <li>・最終的には教育実習 I・II および教育実習事前事後指導の授業を合わせて評価する</li> </ul>	<b>教科書</b> 『教育・保育実習テキスト』 『幼稚園教育要領』 『幼稚園教育要領解説』 『幼保連携型認定こども園教育保育要領』 『幼保連携型認定こども園教育保育要領解説』 『実習における遊びの援助と展開』久富陽子(編著) 南文書林 『保育実践』久富陽子(編著) 南文書林	<b>参考資料</b> 実習関係書類 イラストで読む！幼稚園教育要領保育所保育指針幼保連携型認定こども園教育・保育要領はわかりBOOK 無藤隆 編 学陽書房								

シラバス(授業計画)

部・学年	夜間部1年	学期	半期	授業形態	実習	単位数	0.5単位
科目名	教育実習事前事後指導 I			担当教員	松葉 百香	幼稚園教諭・保育士として実務経験有	
全体目標	幼稚園・幼保連携型認定こども園について理解する 実習に必要な基礎的事項を具体的に理解する 情報機器や教材を活用して実践力を身につけられるようにする						
一般目標	教育実習の意義、目的、方法を理解する 実習を行う上での必要な知識や技術を学ぶ 実習で実践に繋がるような事前準備や練習を行い実践力を高める						
到達目標	子ども理解、保育方法、内容等と実習での実践的な経験が結びつき理解を深める 保育者として必要な専門知識を身につける 実習の計画、実践、評価、修正(PDCAサイクル)について理解して、次へつなげる						
授業のながれ	回数	[ 授業内容 ]			課外学習		
	①	教育実習 I の概要(実習の意義・目的・方法) DVD「続・保育者を目指すあなたへ」 手遊び			事前学習	テキスト「第1章実習とは何か」を読んでおく	
					事後学習	「幼稚園教育要領」の総則を読んで理解する	
	②	実習方法について(見学・参加・観察)実習の内容を知る 実習の取り組み姿勢・積極性について考える			事前学習	教科書「第5章実習の内容」を読んでおく	
					事後学習	どのような保育者になりたいのかまとめておく	
	③	子どもの活動(1)行事について 年間行事・ねらい・内容 DVD「主体的な遊びで育つ子ども」 工作			事前学習	年間の行事について調べておく	
					事後学習	実習に行く時期の行事やねらいについて理解する	
	④	実習に向けて(1) 教育実習 I のねらい DVD「幼稚園の一日」 幼稚園教育要領(1) 5領域・10の姿・育みたい資質能力 等			事前学習	遊びから育つものについて考える	
					事後学習	「幼稚園教育要領」のP.14~21を読み、理解する	
	⑤	事前訪問について(1)記録の作成(個人票・誓約書 等) 事前訪問の意義・電話の掛け方・持ち物 手遊び			事前学習	子どもたちの前で披露できるものを準備する	
					事後学習	実習で学びたいことを明確にしておく	
	⑥	事前訪問について(2)実習書類の準備と確認 実習の心構え(実習目標・実習課題) 工作			事前学習	事前訪問時の質問内容等について考えておく	
					事後学習	実習で学びたいことを明確にしておく	
	⑦	実習に向けて(2)一日の流れ・毎日の記録 実習に臨む姿勢 教育実習 I の目的やねらい 保育者の意図			事前学習	「教育・保育実習マニュアル」を読んでおく	
					事後学習	「一日の実習記録」と「心構え」を作成する	
⑧	実習に向けて(3)指導計画「工作・集団遊び」 指導計画の記入の仕方 活動の「ねらい」をしっかり考える			事前学習	「指導実習」で行う活動を調べておく		
				事後学習	一日の流れに沿って記録用紙に記入する		
⑨	実習に向けて(5)園児観察記録 DVD「遊びこそ豊かな学び」子どもの姿をしっかり観察する			事前学習	記入方法でわからないことを明確にしておく		
				事後学習	「指導計画」と「園児観察記録」を仕上げる		
⑩	実習直前指導 実習最終確認・注意事項 記録・準備・お礼状・事後訪問 等			事前学習	子どもたちに読みたい絵本や手遊びの練習		
				事後学習	実習の事後準備を進める		
⑪	事後指導(1)事後訪問・お礼状・実習を終えて 経験交流・事後訪問			事前学習	次の実習に向けて自分の課題を明確にする		
				事後学習	「教育実習を終えて」を記入する		
⑫	事後指導(2)振り返りに基づく自己評価 経験交流・振り返ったことを記入する			事前学習	提出すべき書類を整えて見直す		
				事後学習	経験交流をすることで、より学びを深める		
⑬	事後指導(3)実習課題の明確化 PDCAサイクル 幼稚園教育要領(2)から実習を振り返る			事前学習	自分の学んだことや課題を明確にしておく		
				事後学習	「保育者として必要なことはなにか」まとめる		
⑭	幼稚園教育要領(3)幼稚園教育要領から振り返る 「資質・能力」の3つの柱 幼児期の終わりまでに育ってほしい姿			事前学習	幼稚園教育要領を読んでおく		
				事後学習	実際の場面と結びつけて考えられるようにする		
⑮	試験・まとめ			事前学習	教育実習や習ってきたことの理解を深める		
				事後学習	今後の実習への課題を見つけて振りかえる		
学習上の留意点	授業には積極的に取り組み、事前準備や習ったことを復習して理解を深める努力をすること 子どもや幼児教育に関心を持ち、保育者を目指すものとして自覚を持って学ぶこと 日頃から「幼稚園教育要領」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」を見ること 提出物は丁寧に記述し、見直したうえで必ず期限内に提出すること						
成績評価の方法	定期試験50%	教科書	『教育・保育実習マニュアル』 『幼稚園教育要領』『幼稚園教育要領解説』 『幼保連携型認定こども園教育・保育要領』 『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説』 『実習における遊びの援助と展開』久富陽子(編著) 萌文書林 『保育実技』久富陽子(編著) 萌文書林				
	課題20%		参考資料	イラストで読む! 幼稚園教育要領保育所保育指針幼保連携型認定こども園教育・保育要領はわかりBOOK 無藤隆 編 学陽書房			
	授業参加状況30%						
	(授業内での取り組み・グループワーク・レポート等)						
	以上を総合的に評価する						



シラバス(授業計画)

部・学年	夜間部1年	学期		半期		授業形態		演習		単位数	1単位	
科目名	音楽基礎				担当教員	荻原 洋子		ピアノ教室講師として実務経験有				
全体目標	幼児の感性や創造性を豊かにする音楽表現に関する資質・能力を身に付ける。											
一般目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 幼児音楽を理解して表現するために必要な音楽理論の基礎を身に付ける。</li> <li>・ 幼児音楽を理解して表現するために必要な読譜力を身に付ける。</li> <li>・ 幼児音楽を理解して表現するための基本的な演奏法の知識を身に付ける。</li> </ul>											
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 基本的な音楽符号、記号、きまり等を理解している。</li> <li>・ 基本的な楽譜を読んだり書いたりすることができる。</li> <li>・ 伴奏付け等に必要な基本的な演奏法を理解している。</li> </ul>											
授業のながれ	回数	[ 授業内容 ]					課外学習					
	①	音符と休符、五線と加線、音部記号、五線と鍵盤の位置関係の理解 【練習問題(プリント①、②)】					事前学習	教科書(ステップ①、②)下読み				
							事後学習	学習したことの確認				
	②	音名、全音と半音、変化記号、異名同音、タイとスラー 【練習問題(プリント③、④)】					事前学習	教科書(ステップ③、⑤)下読み				
							事後学習	プリント①、②の確認				
	③	縦線と小節、拍子の理解、弱起と強起 【練習問題(プリント⑤、⑥)】					事前学習	教科書(ステップ④)下読み				
							事後学習	プリント③、④の確認				
	④	速度と強弱に関する記号と標語 【練習問題(プリント⑦、⑧)】					事前学習	教科書(ステップ⑩)下読み				
							事後学習	プリント⑤、⑥の確認				
	⑤	これまでの復習とまとめ 曲想に関する標語 【理解度を確認する小テスト①】					事前学習	教科書(ステップ①～⑤、⑩)				
							事後学習	プリント⑦、⑧の確認				
	⑥	小テストの講評、奏法に関する標語と記号、省略記号 【練習問題(プリント⑨、⑩)】					事前学習	教科書(ステップ⑩)下読み				
							事後学習	小テスト①の確認				
	⑦	装飾音と装飾記号、音階(長音階) 【練習問題(プリント⑪、⑫)】					事前学習	教科書(ステップ⑥、⑪)下読み				
							事後学習	プリント⑨、⑩の確認				
⑧	音階(長音階、短音階) 【練習問題(プリント⑬、⑭)】					事前学習	教科書(ステップ⑥、⑨)下読み					
						事後学習	プリント⑪、⑫の確認					
⑨	音階と調まとめ 【練習問題(プリント⑮、⑯)】					事前学習	教科書(ステップ⑥、⑨)下読み					
						事後学習	プリント⑬、⑭の確認					
⑩	これまでの復習とまとめ 音程(全音階的音程) 【理解度を確認する小テスト②】					事前学習	教科書(ステップ⑥、⑨、⑪)					
						事後学習	プリント⑮、⑯の確認					
⑪	小テストの講評、音程(半音階的音程) 【練習問題(プリント⑰、⑱)】					事前学習	教科書(ステップ⑧)下読み					
						事後学習	小テスト②の確認					
⑫	音程まとめ、コードネームの基礎(英語の音名と基本形) 【練習問題(プリント⑲、⑳)】					事前学習	教科書(ステップ⑧)下読み					
						事後学習	プリント⑰、⑱の確認					
⑬	コードネームの応用(転回形とセブンスコード) 【練習問題(プリント㉑、㉒)】					事前学習	配付した資料の下読み					
						事後学習	プリント⑲、⑳の確認					
⑭	コードネームの復習とまとめ(連結と伴奏付け) これまでの学習の振り返り					事前学習	伴奏付けの練習					
						事後学習	プリント㉑、㉒の確認					
⑮	試験、講評					事前学習	これまでの学習のまとめ					
						事後学習	講評の内容の確認					
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 授業で学習したことを実技レッスンに生かせるよう、標語、記号など見落とさないよう丁寧な譜読みを習慣にする。</li> <li>・ 毎時間行うプリントは次週に返却するので、間違いがあれば確認し、正しく理解すること。</li> </ul>											
成績評価の方法	小テスト①	25%	教科書	「楽典の基礎 楽譜が読めるステップ12」								
	小テスト②	25%		甲斐 彰 著 音楽之友社								
	定期試験	50%	参考資料									

シラバス(授業計画)

部・学年	夜間部1年	学期	半期	授業形態	演習	単位数	1単位
科目名	ピアノ実技 I			担当教員	桐生・高田・近藤 狩野・笠木	ピアノ教室講師として 実務経験有	
全体目標	幼児の感性や創造性を豊かにする音楽表現の専門的事項における、鍵盤楽器演奏の知識と基礎技術力を身につける。						
一般目標	音楽指導上必要である、鍵盤楽器の基本的な奏法を習得し、幼児の発達や幼児音楽を理解して演奏する。						
到達目標	音楽上の規則を理解し、読譜力や鍵盤楽器の基本的な演奏技術を身につけ、向上させる。						
授業 の な が れ	回数	[ 授 業 内 容 ]			課外学習		
	①	カリキュラム説明・楽器の取り扱い方・表現領域の理解・習熟度別鍵盤楽器の指導			事前学習 事後学習	シラバスの確認・器楽学習歴調査 説明内容の把握	
	②	習熟度別鍵盤楽器の指導 プリント教材1、バイエルむすんでひらいて・78など			事前学習 事後学習	曲の譜読み・練習 指摘箇所の確認	
	③	習熟度別鍵盤楽器の指導 プリント教材2、バイエルCdur・80など			事前学習 事後学習	曲の譜読み・練習 指摘箇所の確認	
	④	習熟度別鍵盤楽器の指導 プリント教材3、バイエル52・81など			事前学習 事後学習	曲の譜読み・練習 指摘箇所の確認	
	⑤	習熟度別鍵盤楽器の指導 プリント教材4～6、バイエル66・82など			事前学習 事後学習	曲の譜読み・練習 指摘箇所の確認	
	⑥	習熟度別鍵盤楽器の指導 プリント教材7～9、バイエルGdur・84など			事前学習 事後学習	曲の譜読み・練習 指摘箇所の確認	
	⑦	習熟度別鍵盤楽器の指導 プリント教材10～12、バイエル68・69・88など			事前学習 事後学習	曲の譜読み・練習 指摘箇所の確認	
	⑧	習熟度別鍵盤楽器の指導 プリント教材13～15、バイエル70・71・子守歌など			事前学習 事後学習	曲の譜読み・練習 指摘箇所の確認	
	⑨	習熟度別鍵盤楽器の指導 プリント教材16～18、バイエル67・90など			事前学習 事後学習	曲の譜読み・練習 指摘箇所の確認	
	⑩	習熟度別鍵盤楽器の指導 プリント教材19～21、バイエル76・91など			事前学習 事後学習	曲の譜読み・練習 指摘箇所の確認	
	⑪	習熟度別鍵盤楽器の指導 プリント教材22・23、バイエDdur・93など			事前学習 事後学習	曲の譜読み・練習 指摘箇所の確認	
	⑫	習熟度別鍵盤楽器の指導 プリント教材24・25、バイエルAdur・96など			事前学習 事後学習	曲の譜読み・練習 指摘箇所の確認	
	⑬	習熟度別鍵盤楽器の指導 バイエル48・Edur・97など			事前学習 事後学習	曲の譜読み・練習 試験曲の把握	
	⑭	試験曲レッスン・リハーサル・試験の諸注意			事前学習 事後学習	試験曲の練習 指摘箇所の練習	
⑮	前期定期試験・講評・まとめ			事前学習 事後学習	試験曲の練習 講評内容の把握		
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教員の助言したポイントに気をつけ、家や学校でもわずかな時間を大切に、毎日練習すること。</li> <li>・手の形、姿勢に気をつけること。</li> <li>・読譜に慣れるため、楽譜に階名を記入しないこと。</li> </ul>						
成績 評価 の 方法	定期試験 80% (課題合格レベル、試験演奏発表)			教科書	「バイエルピアノ教則本」音楽之友社 適宜プリント教材を使用		
	平常点 20% (授業参加状況・受講態度、合格曲の難易度と曲数) 以上を総合的に評価する				参考資料	「幼稚園教育要領」「幼稚園教育要領解説」 「保育所保育指針」「保育所保育指針解説」 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」	

シラバス(授業計画)

部・学年	夜間部1年	学期	半期	授業形態	演習	単位数	1単位
科目名	ピアノ実技Ⅱ			担当教員	桐生・高田・近藤 狩野・笠木	ピアノ教室講師として 実務経験有	
全体目標	幼児の感性や創造性を豊かにする音楽表現の専門的事項における、鍵盤楽器演奏の知識と基礎技術力を身につける。						
一般目標	音楽指導上必要である、鍵盤楽器の基本的な奏法を習得し、幼児の発達や幼児音楽を理解して演奏する。						
到達目標	1.教育実習に向けて幼児の一日の生活の流れを知り、生活のうたの伴奏法を習得する。 2.幼児の歩く速さを理解し、行進曲の演奏法を習得する。						
授業のながれ	回数	[ 授 業 内 容 ]			課外学習		
	①	カリキュラム説明・幼稚園における生活のうたの位置づけ・習熟度別鍵盤楽器の指導			事前学習 事後学習	曲の譜読み・練習 説明内容の把握	
	②	習熟度別鍵盤楽器の指導 生活のうた おはようなど			事前学習 事後学習	曲の譜読み・練習 指摘箇所の確認	
	③	習熟度別鍵盤楽器の指導 生活のうた おべんとうなど			事前学習 事後学習	曲の譜読み・練習 指摘箇所の確認	
	④	習熟度別鍵盤楽器の指導 生活のうた おかえりのうたなど			事前学習 事後学習	曲の譜読み・練習 指摘箇所の確認	
	⑤	習熟度別鍵盤楽器の指導 生活のうた おはよりのうたなど			事前学習 事後学習	曲の譜読み・練習 指摘箇所の確認	
	⑥	習熟度別鍵盤楽器の指導 生活のうた さよならのうたなど			事前学習 事後学習	曲の譜読み・練習 試験曲の把握	
	⑦	試験曲レッスン・リハーサル・試験の諸注意			事前学習 事後学習	試験曲の練習 指摘箇所の確認	
	⑧	後期中間試験・講評・習熟度別鍵盤楽器の指導			事前学習 事後学習	試験曲の練習 講評内容の把握	
	⑨	習熟度別鍵盤楽器の指導 実習課題曲 生活のうた 子守歌など			事前学習 事後学習	曲の譜読み・練習 指摘箇所の確認	
	⑩	習熟度別鍵盤楽器の指導 実習課題曲 冬のうた 赤鼻のトナカイなど			事前学習 事後学習	曲の譜読み・練習 指摘箇所の確認	
	⑪	習熟度別鍵盤楽器の指導 行進曲 うつくしいながれなど			事前学習 事後学習	曲の譜読み・練習 指摘箇所の確認	
	⑫	習熟度別鍵盤楽器の指導 行進曲 ジャバマーチなど			事前学習 事後学習	曲の譜読み・練習 指摘箇所の確認	
	⑬	習熟度別鍵盤楽器の指導 行進曲 ロチェスターマーチなど			事前学習 事後学習	曲の譜読み・練習 試験曲の把握	
	⑭	試験曲レッスン・リハーサル・試験の諸注意			事前学習 事後学習	試験曲の練習 指摘箇所の確認	
	⑮	後期定期試験・講評・まとめ			事前学習 事後学習	試験曲の練習 講評内容の把握	
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教員の助言したポイントに気をつけ、家や学校でもわずかな時間を大切に、毎日練習すること。</li> <li>・手の形、姿勢に気をつけること。</li> <li>・読譜に慣れるため、楽譜に階名を記入しないこと。</li> </ul>						
成績評価の方法	定期試験 80% (課題合格レベル、試験演奏発表) 平常点 20% (授業参加状況・受講態度、合格曲の難易度と曲数) 以上を総合的に評価する			教科書	「幼児のうたとあそび」株式会社みらい 適宜プリント教材を使用		
				参考資料	「幼稚園教育要領」「幼稚園教育要領解説」 「保育所保育指針」「保育所保育指針解説」 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」		

## シラバス(授業計画)

部・学年	夜間部1年	学期	半期	授業形態	演習	単位数	1単位
科目名	基礎造形			担当教員	桑原 恒和	芸術系教員として実務経験有	
全体目標	各学生が基礎的な造形・絵画表現についての基礎知識を実際に制作を通して又、各指導を基に得る事を目標とする。						
一般目標	各学生が集中して制作を行う事により、楽しみながら自発的に各自の工夫を加えながら発展させて行く事を学ぶ。						
到達目標	各学生が身近な素材を基に、指導する上で効果的な制作活動を行なえる様、体験を通して知識を得る事を目標とする。						
授業のながれ	回数	[ 授 業 内 容 ]			課外学習		
	①	自分の体から(1)手を描く			事前学習	各部分の向きや厚みを意識する。	
					事後学習	指摘箇所の確認	
	②	自分の体から(2)耳を描く			事前学習	不思議な形を描く	
					事後学習	指摘箇所の確認	
	③	自分の体から(3)頭部を描く			事前学習	左右非対称を意識する	
					事後学習	指摘箇所の確認	
	④	音楽による想像画(1)イメージを描く			事前学習	頭に浮かんだものを描く	
					事後学習	指摘箇所の確認	
	⑤	音楽による想像画(2)仕上げる			事前学習	説得力を持つ様、細部を仕上げる	
					事後学習	指摘箇所の確認	
	⑥	個別指導、採点、公表、お面作りの下絵制作			事前学習	どんなお面を作るか考える	
					事後学習	指摘箇所の確認	
	⑦	紙粘土によるお面制作(1)面芯の準備と土台作り			事前学習	全体の大きさやボリュームを考える	
					事後学習	指摘箇所の確認	
⑧	紙粘土によるお面制作(2)バランスを考え、盛る			事前学習	立体感を意識しての制作		
				事後学習	指摘箇所の確認		
⑨	紙粘土によるお面制作(3)各部分の制作			事前学習	細部を工夫する		
				事後学習	指摘箇所の確認		
⑩	紙粘土によるお面制作(4)修正			事前学習	丁寧にひび割れた所を修正する		
				事後学習	指摘箇所の確認		
⑪	紙粘土によるお面制作(5)着色			事前学習	色の組み合わせに注意する		
				事後学習	指摘箇所の確認		
⑫	紙粘土によるお面制作(6)仕上げ			事前学習	違う素材との組み合わせを考える		
				事後学習	指摘箇所の確認		
⑬	画面に楽器全体を閉じ込める(1)ギター			事前学習	膨らませる、曲げるのデフォルメ		
				事後学習	指摘箇所の確認		
⑭	画面に楽器全体を閉じ込める(2)サクソフォン			事前学習	引き延ばす、丸めるのデフォルメ		
				事後学習	指摘箇所の確認		
⑮	試験、まとめ			事前学習	登校時に形の面白いものを見つけ、モデルとする		
				事後学習	指摘箇所の確認		
学習上の留意点	美術が出来ない、苦手という思い込みやコンプレックスを乗り越え、自分は他人とどう違い、どんな個性を持っているのかを認識し、各制作を通して自信を付けて行く事が大事です。						
成績評価の方法	通常の各課題			70%	教科書	無し、必要に応じて資料を配布します。	
	定期試験			20%		参考資料	「絵画制作・造形」東京書籍
	授業参加状況や受講態度(提出期限の厳守、画材、材料を忘れない事も含む)			10%			「幼稚園教育要領」、「保育所保育指針」、「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」及び各解説書

保 育 科

夜 間 部 2 年 生



シラバス(授業計画)

部・学年	夜間部2年	学期		半期		授業形態		講義		単位数	2単位		
科目名	自然科学概論				担当教員	浅井智子		幼稚園教諭・保育士として実務経験有					
全体目標	自然科学の視点を通して、身の回りの自然物から宇宙まで、世界にあふれる様々な事象に対して、興味関心を持つ豊かな感性と、探求心の伴った行動力を養う												
一般目標	・実践現場を想定した講義や実習を通して、「自然」と「子ども」の関係性について学び、身近な自然物への興味関心を自ら深め、幼児教育&保育現場で活かす方法を身に着ける												
到達目標	・自然とは何か、子どもとは何か、なぜ子どもに自然体験活動が必要かを学び、保育・幼児教育現場で活かせるようになる ・身近な自然物に触れる面白さを知り、なぜ？不思議？といった探求心を培う ・具体的な自然と子どもをつなげる技術、方法、知識を季節ごとに学び、保育・幼児教育現場で活かせるようになる												
授業のながれ	回数	[ 授業内容 ]				課外学習							
	①	オリエンテーション ・シラバス、評定の仕方など説明				事前学習	教科書や参考図書・配布資料を読み質問事項を考える					事後学習	講義内容の現場での活かし方を考え、自らの学びを評価
	②	子どもになぜ「自然」が必要か ・脳科学からみた子どもの育ちの在り方・森のようちえんとは				事前学習	教科書や参考図書・配布資料を読み質問事項を考える					事後学習	講義内容の現場での活かし方を考え、自らの学びを評価
	③	春の野草料理・リスクマネジメント				事前学習	教科書や参考図書・配布資料を読み質問事項を考える					事後学習	講義内容の現場での活かし方を考え、自らの学びを評価
	④	春の草花での遊びいろいろ(草木染など)				事前学習	教科書や参考図書・配布資料を読み質問事項を考える					事後学習	講義内容の現場での活かし方を考え、自らの学びを評価
	⑤	火の扱い方とあそび方実習/リスクマネジメント				事前学習	教科書や参考図書・配布資料を読み質問事項を考える					事後学習	講義内容の現場での活かし方を考え、自らの学びを評価
	⑥	春の野外実習				事前学習	教科書や参考図書・配布資料を読み質問事項を考える					事後学習	講義内容の現場での活かし方を考え、自らの学びを評価
	⑦	春の野外実習の振り返りとまとめ				事前学習	教科書や参考図書・配布資料を読み質問事項を考える					事後学習	講義内容の現場での活かし方を考え、自らの学びを評価
	⑧	羊毛あそび ・モノの成り立ちを知る意味				事前学習	教科書や参考図書・配布資料を読み質問事項を考える					事後学習	講義内容の現場での活かし方を考え、自らの学びを評価
	⑨	ミツロウあそび ・蜂の生態を知り、蜂から恵みを受け取る				事前学習	教科書や参考図書・配布資料を読み質問事項を考える					事後学習	講義内容の現場での活かし方を考え、自らの学びを評価
	⑩	木と遊ぶ/ナイフワーク/リスクマネジメント				事前学習	教科書や参考図書・配布資料を読み質問事項を考える					事後学習	講義内容の現場での活かし方を考え、自らの学びを評価
	⑪	土と遊ぶ ・岩・石・砂・粘土の違いを感じながら、遊ぶ				事前学習	教科書や参考図書・配布資料を読み質問事項を考える					事後学習	講義内容の現場での活かし方を考え、自らの学びを評価
	⑫	にじみ絵&染め紙あそび ・色と光と色のまじりあうプロセスを感じる				事前学習	教科書や参考図書・配布資料を読み質問事項を考える					事後学習	講義内容の現場での活かし方を考え、自らの学びを評価
	⑬	夏の野外実習				事前学習	教科書や参考図書・配布資料を読み質問事項を考える					事後学習	講義内容の現場での活かし方を考え、自らの学びを評価
	⑭	夏の野外実習の振り返りとまとめ				事前学習	教科書や参考図書・配布資料を読み質問事項を考える					事後学習	講義内容の現場での活かし方を考え、自らの学びを評価
	⑮	試験・まとめ				事前学習	教科書や参考図書・配布資料を読み質問事項を考える					事後学習	講義内容の現場での活かし方を考え、自らの学びを評価
学習上の留意点	・季節によって旬の教材を取り入れていくので、講義や実習内容は臨機応変に変更。LINEグループなどで情報共有予定。 ・毎回、教科書や参考図書を読んだ質問タイムを設けるので、主体的に質問を用意ください ・第1回目に授業計画を聴いたのち、自身の到達目標を決めてもらいます。それに対してどこまで到達できたか 毎回授業後に自ら評価し、最終日に総合的に評価してもらいます。												
成績評価の方法	定期試験 50% 平常点(授業態度・授業参加状況) 50%				教科書	■お母ちゃん革命 ／出版・自然育児 森のわらべ多治見園 ／製作・ポプラ社							
					参考資料	■北欧の森のようちえん 自然が子どもを育む ／出版・イザラ書房 ■センス・オブ・ワンダー ／出版・新潮社							

## シラバス(授業計画)

部・学年	夜間部2年	学期		半期		授業形態		講義		単位数	2単位
科目名	日本国憲法				担当教員	松井 幸三郎					
全体目標	①日本国憲法の基本的な成り立ちが理解できること。②憲法の基本的理念が理解できること。③法的思考を養うこと。④公務員として心得るべき憲法の思想を把握すること。										
一般目標	大日本帝国憲法とのつながりを考える過程で、現行憲法の立ち位置を把握する。その後に、憲法の外観を理解する。各条文では基本的人権の尊重、国民の権利と義務、公務員の憲法尊重・擁護義務について特に留意する。理解の手助けとして、逐次判例を参照する。また、身近な話題として、9条問題・憲法改正論議も取り上げる。授業後半には公務員試験に実際に出題された問題を題材として演習を行うので、これらの問題が解けるようになることを目標とする。										
到達目標	各自治体において出題される個別試験の、憲法に関連する問題が難なく解けるようになること。また、そのレベルで日本国憲法を理解すること。										
授業のながれ	回数	[ 授 業 内 容 ]				課外学習					
	①	ガイダンス・日本国憲法の誕生				事前学習	テキストの該当ページを読んでおく。				
						事後学習	講義内容の復習。				
	②	天皇・戦争の放棄				事前学習	テキストの該当ページを読んでおく。				
						事後学習	講義内容の復習。				
	③	国民の権利と義務(基本的人権の概要)				事前学習	テキストの該当ページを読んでおく。				
						事後学習	講義内容の復習。				
	④	国民の権利と義務(自由権・社会権・公共の福祉)				事前学習	テキストの該当ページを読んでおく。				
						事後学習	講義内容の復習。				
	⑤	国民の権利と義務(参政権・請願権・納税の義務)				事前学習	テキストの該当ページを読んでおく。				
						事後学習	講義内容の復習。				
	⑥	国会				事前学習	テキストの該当ページを読んでおく。				
						事後学習	講義内容の復習。				
	⑦	内閣				事前学習	テキストの該当ページを読んでおく。				
						事後学習	講義内容の復習。				
⑧	司法				事前学習	テキストの該当ページを読んでおく。					
					事後学習	講義内容の復習。					
⑨	財政				事前学習	テキストの該当ページを読んでおく。					
					事後学習	講義内容の復習。					
⑩	地方自治				事前学習	テキストの該当ページを読んでおく。					
					事後学習	講義内容の復習。					
⑪	憲法改正				事前学習	テキストの該当ページを読んでおく。					
					事後学習	講義内容の復習。					
⑫	最高法規				事前学習	テキストの該当ページを読んでおく。					
					事後学習	講義内容の復習。					
⑬	公務員試験問題演習(基本的人権)				事前学習	テキストの該当ページを読んでおく。					
					事後学習	講義内容の復習。					
⑭	公務員試験問題演習(立法・行政・司法)				事前学習	テキストの該当ページを読んでおく。					
					事後学習	講義内容の復習。					
⑮	試験、まとめ				事前学習	期末テスト範囲の勉強をする。					
					事後学習	講義全体を通しての復習。					
学習上の留意点	われわれの日々の暮らしや将来の生活に関わってくる事項については、身近な例を挙げ、理解を深める。具体的には9条、13条、14条、15条、25条、93条、95条など。										
成績評価の方法	授業参加状況や受講態度50%				教科書	「図解による憲法のしくみ第2版」(自由国民社)神田将著					
	筆記試験50%					参考資料	適宜プリントを配布				



## シラバス(授業計画)

部・学年	夜間部2年	学期	半期	授業形態	講義	単位数	1単位
科目名	体育講義			担当教員	山内 隆治	幼児体操教室講師として 実務経験有	
全体目標	からだの仕組みを知り、より効果的にトレーニングできる知識を学ぶ。						
一般目標	幼児体育における知識、及び器械体操の補助法を学ぶ。						
到達目標	幼児体育種目を体験することにより、現場で対応できる知識を習得する。						
授 業 の な が れ	回数	[ 授 業 内 容 ]			課外学習		
	①	バルーン、組体操 (1人体操・2人組)			事前学習	バルーンの動き確認	
					事後学習	組体操種目の習得	
	②	組体操 (3人組・6人組・全体)			事前学習	組体操種目確認	
					事後学習	組体操種目の習得	
	③	集団ゲーム (ジャンケンゲーム・鬼ごっこ)			事前学習	集団ゲームの内容確認	
					事後学習	ゲーム種目の習得	
	④	講義 (バルーン表現方法、組体操図解)			事前学習	バルーンの動き確認	
					事後学習	組体操種目の習得	
	⑤	ドッジボール (ノーマルドッジ)			事前学習	ドッジボールのルール確認	
					事後学習	ドッジボールの動き取得	
	⑥	ドッジビー (スローイング・ゲーム)			事前学習	ドッジビーのルール確認	
					事後学習	スローイングの習得	
	⑦	講義 (運動発達、体力の分類、成就率)			事前学習	運動発達の仕組みを確認	
					事後学習	体力の分類の構図を把握	
⑧	縄跳び (大縄)			事前学習	大縄種目の確認		
				事後学習	縄に入るタイミングの習得		
⑨	講義 (器械体操補助法図解、運動神経について)			事前学習	マット・鉄棒の補助法確認		
				事後学習	マット・鉄棒の補助法把握		
⑩	器械体操補助法 (マット、鉄棒)			事前学習	マット・鉄棒の補助法確認		
				事後学習	マット・鉄棒の補助法把握		
⑪	器械体操補助法 (実技テスト)			事前学習	マット・鉄棒の補助法再確認		
				事後学習	マット・鉄棒の補助法習得		
⑫	ポートボール (ゲーム)			事前学習	ポートボールのルール確認		
				事後学習	ゲーム内容の確認		
⑬	講義 (幼児体育カリキュラム・器械体操の段階指導)			事前学習	器械体操の段階指導法確認		
				事後学習	カリキュラム内容の把握		
⑭	講義 (リーグ戦・トーナメント表作成)			事前学習	リーグ戦・トーナメント表作成方法確認		
				事後学習	学校体育の領域確認		
⑮	定期試験まとめ			事前学習	試験範囲の確認		
				事後学習	評価内容の把握		
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運動の出来る服装で出席すること。</li> <li>・体育館シューズを用意すること。</li> <li>・装飾品は、はずして出席すること。</li> </ul>						
成績評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実技 (50点)</li> <li>・定期試験 (50点)</li> <li>・平常点(授業態度、授業参加状況)</li> </ul>			教科書			
				参考資料	プリント教材(運動発達仕組み) プリント教材(器械体操の段階指導法) プリント教材(幼児体育カリキュラム) プリント教材(リーグ戦表・トーナメント表の作成方法)		

シラバス(授業計画)

部・学年	夜間部2年	学期	集中	授業形態	演習	単位数	1単位
科目名	野外活動			担当教員	森本 浩司		幼稚園教諭・保育士として実務経験有
全体目標	幼児が自然と遊ぶことで育つ感性を、自らの体験を通して学ぶ。また、保育者としてそれぞれの体験を効果的に幼児に支援する具体的方法を学ぶ。 自己のコミュニケーション方法を仲間との共同生活、自然を通じた活動から考え直す。						
一般目標	ありのままの自然(水、光、暑さ、涼しさ等)を体験する楽しさや苦しさ、達成感を味わう。 食事、朗読、クラフトなど自然を利用することで得られる感謝の念や工夫の楽しさを知る。 活動を通じ協力することの具体的な意味を理解する。						
到達目標	自然活動を通して自己の体力や気持ちをコントロールする必要性を学ぶ。 集団生活を通して一人では生きていけないことを自覚する。 幼児の具体的活動方法と援助技術を学ぶ。						
授業のながれ	回数	[ 授業内容 ]			課外学習		
	①	映像や教科書、しおりを通して活動環境、意義、方法を学び準備する。			事前学習	事前配布プリント	
					事後学習	オリエンテーション内容の理解	
	②	テント設営を通じ自然の中で寝泊まりする準備と実際の生活を比較し、予測との差異、自己の心の変化を知る。			事前学習	事前配布プリントとオリエンテーション	
					事後学習	実践内容の理解	
	③	飯盒炊飯を通じ火の扱い、大切さを知る。協力することで得られる食の楽しさややりがいを感じる。			事前学習	事前配布プリントとオリエンテーション	
					事後学習	実践内容の理解	
	④	グループで懐中電灯と目印(集魚ライト)を頼りに暗闇を歩くことで夜の自然、協力と仲間の大切さを知る。			事前学習	事前配布プリントとオリエンテーション	
					事後学習	実践内容の理解	
	⑤	朝の体操で楽しく動くことで得られる爽快感と心と身体を目覚めさせる方法を学ぶ。(幼児指導法)			事前学習	事前配布プリントとオリエンテーション	
					事後学習	実践内容の理解	
	⑥	山中をカードやコマ図を利用し楽しみながら歩くことを通じ、自然、達成感、協力を学ぶ。(幼児指導法)			事前学習	事前配布プリントとオリエンテーション	
					事後学習	実践内容の理解	
	⑦	自然物を使った制作(クラフト)を通じ工夫することの楽しさ、創意工夫のすばらしさを知る。(幼児指導法)			事前学習	事前配布プリントとオリエンテーション	
					事後学習	実践内容の理解	
⑧	キャンプファイヤーを通じ明りの大切さ、仲間、有限な自然を利用することでを生かされ人間を学ぶ。(幼児指導法)			事前学習	事前配布プリントとオリエンテーション		
				事後学習	実践内容の理解		
⑨	野外ゲームを通じ活動環境と幼児の遊び方、危険、導き方を学ぶ。(幼児指導法)			事前学習	事前配布プリントとオリエンテーション		
				事後学習	実践内容の理解		
⑩	最終日のカレー炊飯で初日、2日目の学びを生かして活動することを意識して行う。			事前学習	事前配布プリントとオリエンテーション		
				事後学習	実践内容の理解		
⑪	振り返りレポート作成			事前学習	実践の振り返り		
				事後学習	自己評価		
⑫				事前学習			
				事後学習			
⑬				事前学習			
				事後学習			
⑭				事前学習			
				事後学習			
⑮				事前学習			
				事後学習			
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事前に教科書の指定されたページ、配布されたプリントを熟読しておく。オリエンテーションに必ず参加する。</li> <li>・集団生活の規律を厳守する。</li> <li>・慣れない生活に備え自己の健康管理に留意する。</li> <li>・自然を理解するように努め、積極的に活動に参加する。</li> </ul>						
成績評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業参加状況や受講態度。(70%)</li> <li>・事後レポート作成内容。(25%)</li> <li>・活動(事前事後)への取り組み姿勢。(5%)</li> </ul>			教科書	園外保育・山のくらし		
				参考資料	事前配布プリント		

## シラバス(授業計画)

部・学年	夜間部2年	学期		半期		授業形態		演習		単位数	2単位
科目名	体育				担当教員	浦田 一			幼稚園教諭として実務経験有		
全体目標	幼児期における「あそび」についての教育的価値を理解する。										
一般目標	保育で行う「集団遊び」を通じ、遊びの楽しさと発達の具体性を学ぶ。										
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・上手く出来なくても、明るく遊びを楽しみ、意欲的に取り組める力を身につける。</li> <li>・様々な遊びに含まれる、心身の発達を理解する。</li> <li>・仲間と協力しあう力を身につける。</li> </ul>										
授業のながれ	回数	[ 授 業 内 容 ]				課外学習					
	①	オリエンテーション				事前学習	シラバスの考察				
						事後学習	事例の検討				
	②	遊びを通じたコミュニケーション① (遊びのバリエーション)				事前学習	プリント学習				
						事後学習	実践内容のまとめ				
	③	遊びを通じたコミュニケーション② (保育者の援助と役割)				事前学習	プリント学習				
						事後学習	実践内容のまとめ				
	④	子どもの遊びを考える① (集団ゲームとは)				事前学習	教科書10～13pを下読み				
						事後学習	講義内容の確認				
	⑤	子どもの遊びを考える② (園での遊びを中心に)				事前学習	プリント学習				
						事後学習	講義内容の確認				
	⑥	集団ゲーム① (言葉や指示を楽しむゲーム)				事前学習	教科書26～39pを下読み				
						事後学習	実践内容のまとめ				
	⑦	集団ゲーム② (逃げる、捕まえるを楽しむゲーム)				事前学習	教科書40～52pを下読み				
						事後学習	実践内容のまとめ				
⑧	集団ゲーム③ (技を競ったり、走ったりを楽しむゲーム)				事前学習	教科書53～69pを下読み					
					事後学習	実践内容のまとめ					
⑨	集団ゲーム④ (物を隠したり、当てたりを楽しむゲーム)				事前学習	教科書70～78pを下読み					
					事後学習	実践内容のまとめ					
⑩	伝承遊びから学ぶ				事前学習	プリント学習					
					事後学習	実践内容のまとめ					
⑪	手遊び・指遊び・じゃんけん遊び (発達段階の違い)				事前学習	プリント学習					
					事後学習	実践内容のまとめ					
⑫	指導計画の作成 (発表順、グループ決め)				事前学習	事前配布資料下読み					
					事後学習	計画内容の検討					
⑬	実践研究発表① (1グループ目の発表)				事前学習	計画内容の確認					
					事後学習	実践内容のまとめ					
⑭	実践研究発表② (2グループ目の発表)				事前学習	計画内容の確認					
					事後学習	実践内容のまとめ					
⑮	試験・講評				事前学習	試験内容の確認					
					事後学習	講評内容の確認					
学習上の留意点	<p>以下の点に留意して、授業に臨んでください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニケーション活動に積極的に参加してください。</li> <li>・幼児教育者としてコミュニケーションの大切さを、意識してください。</li> </ul> <p>*授業は実技を中心に行う為、運動着・運動靴を着用ください。</p>										
成績評価の方法	定期試験	50%	教科書	「続・幼児が熱中するゲーム5歳児編」							
	授業参加状況	30%		参考資料	「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」 「保育所保育指針」「幼稚園教育要領」各解説書 「幼児期における 運動発達と運動遊びの指導」 配布プリント						
	授業態度	20%									

## シラバス(授業計画)

部・学年	夜間部2年	学期	通年	授業形態	演習	単位数	2単位
科目名	音楽Ⅱ(器楽)			担当教員	桐生敬子・近藤茂之		
全体目標	幼児の感性や創造性を豊かにする音楽表現の専門的事項における、鍵盤楽器演奏の知識・技術と表現力を身につける。						
一般目標	1年生で履修した音楽(器楽)の演奏技術から、さらに高い技能を習得し、幼児の発達過程や音楽を理解し、より音楽的な演奏力・表現力の向上を目標とする。						
到達目標	1.各曲の適切な伴奏法(幼児の感性や表現する力、創造性を育む伴奏)を常に考察し、習得する。 2.レパートリーを一曲でも多くし、表現豊かに曲を弾きとおす伴奏法を習得する。 3.いろいろな曲の演習を通して、教材の活用法や演奏技術を習得する。						
授業のながれ	回数	[ 授業内容 ]			課外学習		
	①	カリキュラム説明・器楽記録票と曲目リストの配布			事前/事後	曲の譜読み・練習/説明内容の把握	
	②	歌の伴奏法と効果的練習方法の説明と個人指導			事前/事後	曲の譜読み・練習/指摘箇所の確認	
	③	個人指導(生活のうた おはよのうたなど)			事前/事後	曲の譜読み・練習/指摘箇所の確認	
	④	個人指導(生活のうた おべんとうなど)			事前/事後	曲の譜読み・練習/指摘箇所の確認	
	⑤	個人指導(生活のうた おかえりのうたなど)			事前/事後	曲の譜読み・練習/指摘箇所の確認	
	⑥	個人指導(春のうた せんせいとおともだちなど)			事前/事後	曲の譜読み・練習/指摘箇所の確認	
	⑦	個人指導(曲の速さについて チューリップなど)			事前/事後	曲の譜読み・練習/指摘箇所の確認	
	⑧	個人指導(前奏の大切さ ちょうちょうなど)			事前/事後	曲の譜読み・練習/指摘箇所の確認	
	⑨	個人指導(姿勢・手首の見直し ぶんぶんぶんなど)			事前/事後	曲の譜読み・練習/指摘箇所の確認	
	⑩	個人指導(指使いの重要性 めだかのがっこうなど)			事前/事後	曲の譜読み・練習/指摘箇所の確認	
	⑪	個人指導(フレージング 音楽の呼吸 うみなど)			事前/事後	曲の譜読み・練習/指摘箇所の確認	
	⑫	個人指導(夏のうた ありさんのおはなし など)			事前/事後	曲の譜読み・練習/指摘箇所の確認	
	⑬	個人指導(旋律と伴奏のバランス たなばたさまなど)			事前/事後	曲の譜読み・練習/指摘箇所の確認	
	⑭	試験曲の個人レッスン・器楽記録票の提出			事前/事後	器楽記録票の点検/試験曲の練習	
	⑮	前期定期試験・講評			事前/事後	試験曲の練習/講評の内容の把握	
	⑯	カリキュラム説明・器楽記録票配布			事前/事後	曲の譜読み・練習/説明内容の把握	
	⑰	個人指導(表情豊かな演奏 タヤげこやけなど)			事前/事後	曲の譜読み・練習/指摘箇所の確認	
	⑱	個人指導(秋のうた まつぼっくりなど)			事前/事後	曲の譜読み・練習/指摘箇所の確認	
	⑲	個人指導(ダンパーペダル ちいさいあきみつけたなど)			事前/事後	曲の譜読み・練習/指摘箇所の確認	
	⑳	個人指導(コード伴奏 むすんでひらいてなど)			事前/事後	曲の譜読み・練習/指摘箇所の確認	
	㉑	個人指導(わらべうた あんたがたどこさなど)			事前/事後	曲の譜読み・練習/指摘箇所の確認	
	㉒	個人指導(いろいろな伴奏 コンコンクシヤンのうたなど)			事前/事後	曲の譜読み・練習/指摘箇所の確認	
	㉓	個人指導(教育実習に向けて 生活のうたなど)			事前/事後	曲の譜読み・練習/指摘箇所の確認	
	㉔	個人指導(冬のうた ゆきなど)			事前/事後	曲の譜読み・練習/指摘箇所の確認	
	㉕	個人指導(英語のうた キラキラ星など)			事前/事後	曲の譜読み・練習/指摘箇所の確認	
	㉖	個人指導(みんなのうた いぬのおまわりさんなど)			事前/事後	曲の譜読み・練習/指摘箇所の確認	
	㉗	個人指導(卒園のうた 思い出のアルバムなど)			事前/事後	曲の譜読み・練習/指摘箇所の確認	
	㉘	個人指導(卒園のうた 修了のうたなど)			事前/事後	曲の譜読み・練習/指摘箇所の確認	
	㉙	試験曲の個人レッスン・器楽記録票の提出			事前/事後	器楽記録票の点検/試験曲の練習	
㉚	後期定期試験・講評			事前/事後	試験曲の練習/講評の内容の把握		
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教員の助言したポイントに気をつけ、家や学校でもわずかな時間を大切に、毎日練習すること。</li> <li>・各自選択曲をしっかり練習した上で授業に臨むこと。</li> <li>・幼児のことを常に意識した導入をイメージし、表情豊かな弾き歌いで曲を弾き通すこと。</li> </ul>						
成績評価の方法	定期試験 80% (課題合格レベル・試験演奏発表)			教科書	「幼児のうたとあそび」株式会社みらい		
	平常点 20% (授業参加状況・受講態度・弾き歌い発表) ※器楽記録票の提出必須 以上を総合的に評価する				参考資料	「幼稚園教育要領」「幼稚園教育要領解説」 「保育所保育指針」「保育所保育指針解説」 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」	

シラバス(授業計画)

部・学年	夜間部2年	学期	通年	授業形態	演習	単位数	2単位
科目名	音楽Ⅱ(声楽)			担当教員	高田 結加	中学校教員(音楽)として実務経験有	
全体目標	幼児教育実践の場において要求される歌唱技能の向上を目標とする。						
一般目標	幼児に楽しい音楽を伝えられるように歌唱指導のあり方を考察し、発表活動をする。						
到達目標	多くの歌唱経験をとおして、表情豊かな歌唱力を習得する。						
授 業 の な が れ	回数	[ 授 業 内 容 ]			課外学習		
	①	前期授業計画説明			事前/事後 音楽歴調査/内容把握		
	②	みんなの歌「世界中のこどもたちが」など			事前/事後 読譜・練習/習得確認		
	③	みんなの歌「にじ」など			事前/事後 読譜・練習/習得確認		
	④	わらべ歌「あんたがたどこさ」など			事前/事後 読譜・練習/習得確認		
	⑤	外国の歌「ロンドン橋がおちる」など			事前/事後 読譜・練習/習得確認		
	⑥	歌を歌う上で必要な音楽理論			事前/事後 練習問題の実践/習得確認		
	⑦	伴奏付け「足ふみタンタン」など			事前/事後 復習/習得確認		
	⑧	伴奏付け「大きな栗の木の下で」など			事前/事後 復習/習得確認		
	⑨	音楽鑑賞 音楽劇について			事前/事後 配布プリントを読む/習得確認		
	⑩	音楽鑑賞 オペラ			事前/事後 読譜・練習/習得確認		
	⑪	音楽鑑賞 ミュージカル			事前/事後 読譜・練習/指摘箇所の確認		
	⑫	音楽鑑賞 ミュージカル			事前/事後 読譜・練習/習得確認		
	⑬	音楽鑑賞 保育現場での活用 実技試験説明			事前/事後 総復習/試験内容の把握		
	⑭	実技試験曲 練習			事前/事後 試験曲練習/指摘箇所の確認		
	⑮	実技試験、講評			事前/事後 試験曲練習/講評内容の把握		
	⑯	後期授業計画説明、発声練習			事前/事後 声のトレーニング/内容把握		
	⑰	春の歌「春が来た、春の小川」など			事前/事後 読譜・練習/習得確認		
	⑱	春の歌「おかあさん、かめの遠足、めだかの学校」など			事前/事後 読譜・練習/習得確認		
	⑲	夏の歌「あめふりくまのこ、かたつむり」など			事前/事後 読譜・練習/習得確認		
	⑲	夏の歌「ありさんのおはなし、おつかいありさん」など			事前/事後 読譜・練習/習得確認		
	⑲	秋の歌「ちいさい秋みつけた、山の音楽家」など			事前/事後 読譜・練習/習得確認		
	⑲	秋の歌「どんぐりころころ、とんぼのめがね」など			事前/事後 読譜・練習/習得確認		
	⑲	冬の歌「たき火、雪」など			事前/事後 読譜・練習/習得確認		
	⑲	実習のための生活のうた、園の課題曲練習			事前/事後 読譜・練習/習得確認		
	⑲	冬の歌 楽器演奏「赤鼻のトナカイ」など			事前/事後 読譜・練習/習得確認		
	⑲	合奏「クリスマスソング」など			事前/事後 読譜・練習/習得確認		
	⑲	後期の歌 復習			事前/事後 読譜・練習/習得確認		
	⑲	実技試験曲 説明			事前/事後 総復習/試験内容の把握		
	⑲	実技試験曲 練習			事前/事後 試験曲練習/指摘箇所の確認		
⑲	実技試験、講評			事前/事後 試験曲練習/講評内容の把握			
学習上の留意点	幼児と共に楽しく歌えるように、多くの曲を正しく読譜し、早く暗譜する。 人の前に立ち、堂々と歌えるよう努力する。						
成績評価の方法	前期実技試験 70%	教科書	「幼児のうたとあそび」 適宜プリント教材を使用				
	鑑賞レポート 20%		参考資料	「幼稚園教育要領」、「保育所保育指針」、 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」 及び各解説書			
	授業参加状況、受講態度 10%						
	後期実技試験 80%						
	授業参加状況、受講態度 20%						

## シラバス(授業計画)

部・学年	夜間部2年	学期	半期	授業形態	演習	単位数	1単位
科目名	表現(音楽)指導法			担当教員	森川 尚美		
全体目標	音楽を身体で表現する為の基礎的な動きの習得 踊る事の楽しさを感じる						
一般目標	幼児の発達に応じた指導ができるようにする						
到達目標	1 リズム体操を通して美しい身体の動きを身につける 2 発達に応じた指導法を学ぶ						
授業 の な が れ	回数	[ 授 業 内 容 ]			課外学習		
	①	オリエンテーション・リズム運動の体得			事前学習	シラバス確認	
					事後学習	内容確認	
	②	リズム運動の体得・基本ステップ・柔軟・バレエ			事前学習	前回実技復習	
					事後学習	内容確認	
	③	リズム運動の体得・基本ステップ・柔軟・バレエ・作品(指導法)前半を覚える			事前学習	前回実技復習	
					事後学習	内容確認	
	④	リズム運動の体得・基本ステップ・柔軟・バレエ・作品(指導法)前半の復習			事前学習	前回実技復習	
					事後学習	内容確認	
	⑤	リズム運動の体得・基本ステップ・柔軟・バレエ・作品(指導法)後半を覚える			事前学習	前回実技復習	
					事後学習	内容確認	
	⑥	リズム運動の体得・基本ステップ・柔軟・バレエ・作品(指導法)踊りこなす			事前学習	前回実技復習	
					事後学習	内容確認	
	⑦	作品の確認			事前学習	前回実技復習	
					事後学習	内容確認	
⑧	中間作品発表			事前学習	作品復習		
				事後学習	内容確認		
⑨	グループワーク 間奏の振付を覚える			事前学習	前回実技復習		
				事後学習	作品振付確認		
⑩	グループワーク 振付を考える			事前学習	振付を考える		
				事後学習	作品振付確認		
⑪	グループワーク 振付を伝える(前半)			事前学習	振付の指導案を考える		
				事後学習	作品振付確認		
⑫	グループワーク 振付を伝える(後半)			事前学習	振付の指導案を考える		
				事後学習	作品振付確認		
⑬	グループワーク 踊りこなす			事前学習	振付復習		
				事後学習	作品振付確認		
⑭	試験作品練習			事前学習	統合的に復習		
				事後学習	試験内容確認		
⑮	試験・まとめ			事前学習	試験練習		
				事後学習	授業全体を振り返る		
学習上の留意点	運動服(中学校の体操服に準ずる・フード付き不可・スカートタイプ不可)、靴下(着用する)運動靴、タオル、水分(水、お茶、又は、スポーツドリンク)、A4レポート用紙(各自で準備)、筆記用具 肩にかかる髪は結ぶ 健康管理に注意し、授業に参加する 指導者として模範が示せる実技を習得する						
成績評価の方法	定期試験 60%			教科書	特に指定しない		
	中間作品発表 20%						
	授業参加状況(レポート提出含む) 10%			参考資料	「幼稚園教育要領」「幼稚園教育要領解説」 「保育所保育指針」「保育所保育指針解説」 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」		
	授業態度(服装髪型含む) 10%						

シラバス(授業計画)

部・学年	夜間部2年	学期		半期		授業形態		演習		単位数	1単位			
科目名	表現(造形)指導法Ⅱ				担当教員	中島 法晃		幼児絵画教室講師として実務経験有						
全体目標	領域「表現」は、「感じたことや考えたことを自分なりに表現することを通して、豊かな感性や表現する力を養い、創造性を豊かにすることを目指すものである。幼児教育において育みたい資質や能力を理解し、幼稚園教育要領に示された領域「表現」の狙い及び内容について背景となる専門領域と関連させて理解を深め、幼児の発達に即して主体的・対話的で深い学びが実現する過程をふまえて具体的な指導場面を想定して保育を構想する方法を身につける。													
一般目標	幼児の発達や学びの過程を理解し、領域「表現(造形)」に関わる具体的な指導場面を想定した保育を構想する方法を身につける。													
到達目標	1) 幼児の発達の過程やそれに伴い成長していく絵や造形について理解している。 2) 領域「表現」の特性に応じて、様々な保育場面を想定した指導案を作成することができる。 3) 領域「表現」に関わる幼児が経験し身につけていく内容の関連性及び小学校の強化とのつながりを理解している。													
授業のながれ	回数	[ 授 業 内 容 ]					課外学習							
	①	オリエンテーション、道具類の説明、子どもの作品鑑賞					事前学習	初回時にスケッチブック、のり、はさみを持参				事後学習	道具の用意	
	②	様々な技法の説明					事前学習	初回に説明したすべての道具を持参				事後学習	資料に目を通し内容を把握する	
	③	新聞紙で洋服づくり/廃材制作指導法					事前学習	新聞紙2日分を持参				事後学習	広告紙や包装紙を保管しておく	
	④	フィンガーペイント指導法					事前学習	汚れても良い服、絵の具セット持参				事後学習	指の形からどのような模様のスタンプができるかを探す	
	⑤	デカルコマニー指導法					事前学習	絵の具セット、クレヨン持参				事後学習	身の回りで見立てについての復習	
	⑥	スクラッチ指導法					事前学習	絵の具セット、クレヨン持参				事後学習	身の回りにある削る道具を探し報告する	
	⑦	大空に絵を描こう！/幼児の空間把握指導法					事前学習	絵の具セット、クレヨン持参				事後学習	いろんな景色に絵を当てはめて鑑賞	
	⑧	パチック法指導法					事前学習	絵の具セット、クレヨン持参				事後学習	3原色で30色の色を作る	
	⑨	小麦粉粘土指導法					事前学習	汚れても良い服、小麦粉500gを持参				事後学習	家庭にある道具を使って制作	
	⑩	見立て絵指導法					事前学習	公園や自然がある場所にてかけ落ち葉を拾う				事後学習	余った素材で応用し制作	
	⑪	行灯作り指導法					事前学習	あんどん、ちょうちん、ねぶたなどのリサーチ				事後学習	家庭に飾って撮影する	
	⑫	教材開発Ⅰ					事前学習	年齢、発達に応じた題材を計画する				事後学習	作成した指導案をもとに試作	
	⑬	教材開発Ⅱ 学習した技法を用いて指導案を作成する					事前学習	参考作品および素材を持参				事後学習	次の内容確認	
	⑭	教材開発Ⅲ 模擬授業の反省及びグループディスカッション					事前学習	参考作品および素材を持参				事後学習	模擬授業の反省レポート	
⑮	試験、まとめ					事前学習	これまでの内容の復習				事後学習	講評のフィードバック		
学習上の留意点	全課題提出を目標とし、授業に臨む姿勢を大切にする。 日常から美術館やギャラリーなどに出かける習慣をつけると良い。 個人制作とグループ制作の両方をおこなうため、コミュニケーションを大切にする。													
成績評価の方法	授業参加状況や授業態度(持ち物チェック) 50%					教科書								
	作品、提出物 50%						参考資料	保育をひらく造形表現 簡文書林 「幼稚園教育要領」(平成29年3月告示 文部科学省)「幼稚園教育要領解説」 「保育所保育指針」(平成29年3月告示 厚生労働省)「保育所保育指針解説」 「幼稚園類型認定こども園教育・保育要領」 (平成29年3月告示 内閣府・文部科学省・厚生労働省) 「幼稚園類型認定こども園教育・保育要領解説」						

シラバス(授業計画)

部・学年	夜間部2年	学期	半期	授業形態	演習	単位数	1単位
科目名	幼児の特別支援教育			担当教員	永井 弘人	特別支援学校教諭(美術)として実務経験有	
全体目標	特別の支援を必要とする子どもや教育的ニーズのある子どもの特性および生活上の困難さを理解する。 実習で出会った子どもたちについて検討し考察することで、個別支援計画を作成できるようになる。 他の教員間や関係機関と連携し、協働するために必要な知識や支援方法を理解する。						
一般目標	特別の支援を必要とする子どもの障害の特性及び心身の発達を理解する。 教育課程(全体的な計画)から特別な支援を必要とする子どもに対する支援の方法を理解し計画を作成する。 障害はないが特別な教育的ニーズのある子どもの生活上の困難とその対応を理解する。						
到達目標	インクルーシブ教育システムを含めた特別支援教育に関する制度の理念や仕組みを理解する。 教育課程の枠組みを踏まえ、個別の支援計画及び個別の教育支援計画を作成する意義と方法を理解する。 特別な支援を必要とする子どもの特性や生活上の困難さや組織的な連携の必要性について理解する。						
授業 の な が れ	回数	[ 授 業 内 容 ]			課外学習		
	①	特別支援教育に関する理念や制度 インクルーシブ教育			事前学習	支援を必要とする子のエピソードをまとめる。	
					事後学習	重要事項を確認する。	
	②	特別な支援を必要とする子どもの理解と支援① 発達障害等(知的障害のない発達障害…ADHD等)			事前学習	実習で出会った子のエピソード等を準備する。	
					事後学習	発達障害のある子どもについて理解を深める。	
	③	特別な支援を必要とする子どもの理解と支援② 知的障害及び知的障害を伴う発達障害			事前学習	話し合いの為にエピソードを準備しておく。	
					事後学習	知的障害の有る子どもについて理解を深める。	
	④	特別な支援を必要とする子どもの理解と支援③ 視覚障害・聴覚障害及び盲聾重複障害			事前学習	生活する上での困難さや特性を理解しておく。	
					事後学習	重要事項を確認する。	
	⑤	特別な支援を必要とする子どもの理解と支援④ 肢体不自由・病弱・重度・重複障害等を含む様々な障害			事前学習	特別な支援が必要な幼児について整理する。	
					事後学習	特別な支援を必要とする子どもの理解を深める。	
	⑥	特別な支援を必要とする子どもの理解と支援⑤ 障害はないが教育的ニーズのある子ども(母国語や貧困等)			事前学習	特別な支援が必要な幼児について整理する。	
					事後学習	特別な支援を必要とする子どもの理解を深める。	
	⑦	特別な支援を必要とする子どもの理解と支援⑥ 障害はないが教育的ニーズのある子ども(発達障害といじめ)			事前学習	特別な支援が必要な幼児のエピソードや支援をまとめる。	
					事後学習	特別な支援を必要とする子どもの理解を深める。	
⑧	支援計画の意義と方法① 個別指導計画の理解 事例をもとに個別支援計画の検討			事前学習	どのような個別支援計画があるのか調べる。		
				事後学習	「気になる子」の事例をもとに計画をまとめる。		
⑨	支援計画の意義と方法② 事例をもとに個別の支援方法の検討・作成 グループ発表			事前学習	グループで計画を発表できるよう準備する。		
				事後学習	自分や他のグループの発表内容を振り返る。		
⑩	支援計画の意義と方法③ 個別支援計画の完成 教育課程・全体的な計画			事前学習	計画立案に関する配付資料を読んでおく。		
				事後学習	個別支援計画を作成する。		
⑪	支援計画の意義と方法④ 障害を有する幼児の保育計画について			事前学習	事前配布資料を読んで理解する。		
				事後学習	保育計画についての理解を深める。		
⑫	支援体制の連携① 障害の受容 障害に対する保護者の心理			事前学習	事前配布資料の障害受容について理解する。		
				事後学習	実習で経験したり学んだことを整理する。		
⑬	支援体制の連携② 幼稚園・専門関係機関・家庭との連携と支援体制			事前学習	家庭との連携の必要性について考察する。		
				事後学習	連携する上での課題や必要性について理解する。		
⑭	支援体制の連携③ 幼稚園と小学校・特別支援学校(小学部)との連携 就学に向けて			事前学習	就学に向けた支援方法についてまとめる。		
				事後学習	様々な連携についての理解を深める。		
⑮	試験・講評 幼児の特別支援教育に関する知識の整理			事前学習	今までに学んだことや課題等をまとめる。		
				事後学習	知識を整理するとともに支援方法を理解する。		
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今までの実習で出会った「特別な支援を必要とする子ども」についてのエピソードや支援方法についてまとめておくこと。</li> <li>・事前準備を入念に行った上で、積極的に事例検討やグループ討議を行なうこと。</li> <li>・課題や授業内での取り組みはしっかりと自分の考えを述べられるようにすること。</li> </ul>						
成績評価の方法	授業参加・課題取り組み	20%	教科書	幼稚園教育要領(平成29年3月告示 文部科学省) 幼保連携型認定こども園教育・保育要領(平成29年3月告示 内閣府・文部科学省・厚生労働省) 保育所保育指針(平成29年3月告示 厚生労働省)			
	グループ討議	15%		参考資料	まるっと1年まんがでなるほど気になる子の保育 新・障害のある子どもの保育 伊藤健次 編 保育者のための障害児保育—理解と実践— 尾野明美 はじめての特別支援教育[改訂版] 柘植雅義他		
	課題	15%					
	試験	50%					



シラバス(授業計画)

部・学年	夜間部2年	学期	半期	授業形態	講義	単位数	2単位
科目名	教育課程総論			担当教員	松葉 百香	幼稚園教諭・保育士として実務経験有	
全体目標	様々な教育課程・全体的な計画の意義や内容について理解する これまでの幼児教育の変遷を理解する 幼児教育の制度や内容など「幼児教育のあり方」を学ぶ						
一般目標	教育課程や全体的な計画を考える上で必要なことや計画の大切さについて総合的に学ぶ 部分や一日の「指導計画」を作成・実践して、自己課題を見つける 幼児教育施設に求められることについて学ぶ						
到達目標	「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」を理解する 保育現場で必要とされる計画について作成・実施・振り返りながら次につなげていくことができる 様々な教育課程・全体的な計画の意義や内容について理解してそれを基に計画が作成できるようにする						
授業のながれ	回数	[ 授 業 内 容 ]			課外学習		
	①	歴史(1) 幼稚園教育課程・保育所保育課程の変遷			事前学習	幼稚園教育要領P.3の所を読んでおく	
					事後学習	学んだことを復習しておく	
	②	歴史(2)幼児教育・様々な教育課程等 教育課程・全体的な計画とは(1)幼稚園教育要領			事前学習	幼稚園教育要領P. 8～11を読んでおく	
					事後学習	学んだことを復習しておく	
	③	教育課程・全体的な計画とは(2) 保育所保育指針・幼保連携型認定こども園教育・保育要領			事前学習	保育所保育指針P. 8～10を読んでおく	
					事後学習	子どもの活動を3種類程度考える	
	④	長期指導計画と短期の指導計画を考える上で必要なこと 5領域・幼児期の終わりまでに育ってほしい姿 等			事前学習	教科書の指定された所を読んでまとめる	
					事後学習	3法令共通の内容について復習する	
	⑤	園生活と子ども理解 乳幼児の理解や子どもの育ちをとらえる			事前学習	5領域について見直しておく	
					事後学習	子どもの発達について調べる	
	⑥	「指導計画」とは 環境を通して行う教育・夢中になれる活動とは・遊び			事前学習	決めた年齢の指導計画について調べる	
					事後学習	子どもの活動を30分程度で考える	
	⑦	子どもの姿から「指導計画」を作成する 保育者の意図「心情・意欲・態度」			事前学習	活動記入用紙に記入する	
					事後学習	「保育者の意図」を考えて仕上げる	
⑧	三法令について(1)幼稚園教育要領等 5領域 計画を考える上で必要なこと カリキュラムマネジメント			事前学習	学んだことを復習し発表準備をする		
				事後学習	PDCAサイクルに当てはめて考える		
⑨	指導計画の実践・演習・発表(1) 自己評価 PDCAサイクル「いいね」を見つける			事前学習	展開方法や工夫などについて考える		
				事後学習	更によくなるように、様々な方法を考える		
⑩	指導計画の実践・演習・発表(2) 自己評価 PDCAサイクル「いいね」を見つける			事前学習	子ども理解を深め、教科書や本をまとめる		
				事後学習	子どもに合った活動になるように考える		
⑪	指導計画の実践・演習・発表(3) 自己評価 PDCAサイクル「いいね」を見つける			事前学習	これまでの発表を振り返り、まとめておく		
				事後学習	友だちや自分の発表内容を振り返る		
⑫	指導計画の実践・演習・発表(4) 自己評価 PDCAサイクル「いいね」を見つける			事前学習	これまでの発表を振り返り、まとめておく		
				事後学習	友だちや自分の発表内容を振り返る		
⑬	三法令について(2)幼稚園教育要領等 育みたい資質能力「三つの柱」・小学校との接続			事前学習	小学校との接続について考えてくる		
				事後学習	今後の幼児教育の役割について考える		
⑭	三法令について(3)幼稚園教育要領等 3法令に共通する改訂のポイント等 まとめ			事前学習	大事なポイントをまとめてくる		
				事後学習	歴史的なことから総合的に理解を深める		
⑮	試験・まとめ			事前学習	学んだことを復習する		
				事後学習	自分の課題に気づき、今後につなげる		
学習上の留意点	授業には積極的に取り組み、事前準備や習ったことを復習して理解を深める努力をすること 子どもや幼児教育に関心を持って、保育者を目指すものとして自覚を持って学ぶこと 日頃から「幼稚園教育要領」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」を見るようにすること 提出物は丁寧に記述し、見直したうえで期限内に提出すること						
成績評価の方法	定期試験50%	教科書	『就学前教育の計画を学ぶ』松村和子著 ななみ書房 『実習における遊びの援助と展開』久富陽子編 朝文出版 『保育実技』久富陽子編 南文出版 『幼稚園教育要領』『幼稚園教育要領解説』(平成29年3月告示 文部科学省) 『幼保連携型認定こども園教育・保育要領』『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説』(平成29年3月告示 内閣府・文部科学省・厚生労働省) 『保育所保育指針』『保育所保育指針解説』(平成29年3月告示 厚生労働省)				
	課題20%		資料考	イラストで読む！幼稚園教育要領保育所保育指針幼保連携型認定こども園教育・保育要領はやわかりBOOK 無藤陸 編 学陽書房			
	授業参加状況30%	(授業内での取り組み・グループワーク・レポート等)					
	以上を総合的に評価する						

## シラバス(授業計画)

部・学年	夜間部2年	学期		半期		授業形態		演習		単位数	2単位	
科目名	教育相談				担当教員	菅田 達也						
全体目標	幼児理解を基本として、幼児の発達や学び及びその過程で生じるつまずき、その要因を把握するための原理や対応の方法を考える力を身につける。また、幼児、児童及び生徒の発達の状況に即しつつ、個々の心理的特質や教育的課題を適切に捉え、支援するために必要な基礎的知識(カウンセリングの意義、理論や技法に関する基礎的知識を含む)を身につける。											
一般目標	(1)幼児理解を深め、基礎的態度やその方法を具体的に理解する。 (2)幼稚園における教育相談の意義と理論を理解する。 (3)教育相談を進める際に必要な基礎的知識(カウンセリングに関する基礎的事柄を含む)を理解する。 (4)教育相談の具体的な進め方や組織的な取組みや連携の必要性を理解する。											
到達目標	①発達や学びを捉える原理を踏まえ、幼児教育における教育相談の意義と課題を理解している。②教育相談に関わる心理学の基礎的な理論・概念を理解している。③個と集団の関係を捉える意義や方法を理解し、幼児が示すシグナルに気づき把握する方法を理解している。④保護者の心情と基礎的な対応の方法を理解している。⑤教育相談の組織的な取組みの必要性や専門機関との連携の意義や必要性を理解している。											
授業のながれ	回数	[ 授業内容 ]					課外学習					
	①	オリエンテーションー教育相談の意義ー					事前学習	シラバスを読む				
							事後学習	授業ノートの復習				
	②	教育相談とは何か					事前学習	前回の資料を読む				
							事後学習	授業ノートの復習				
	③	教育相談における基本的な理論・概念ーカウンセリング理論ー					事前学習	前回までの資料を読む				
							事後学習	授業ノートの復習				
	④	教育相談における基本的な理論・概念ー精神分析学ー					事前学習	前回までの資料を読む				
							事後学習	授業ノートの復習				
	⑤	教育相談における基本的な理論・概念ー分析心理学ー					事前学習	前回までの資料を読む				
							事後学習	授業ノートの復習				
	⑥	教育相談における基本的な理論・概念ー認知・行動療法ー					事前学習	前回までの資料を読む				
							事後学習	授業ノートの復習				
	⑦	自己理解と他者理解(幼児理解) イメージ・表現					事前学習	前回までの資料を読む				
							事後学習	授業ノートの復習				
⑧	自己理解と他者理解(学び) 学び					事前学習	前回までの資料を読む					
						事後学習	授業ノートの復習					
⑨	障害についてー総論ー					事前学習	前回までの資料を読む					
						事後学習	授業ノートの復習					
⑩	障害についてー各論 自閉スペクトラム症、SLD、ADHD等ー					事前学習	前回までの資料を読む					
						事後学習	授業ノートの復習					
⑪	アセスメント 観察					事前学習	前回までの資料を読む					
						事後学習	授業ノートの復習					
⑫	アセスメント 記録					事前学習	前回までの資料を読む					
						事後学習	授業ノートの復習					
⑬	教師(保育者)の連携ー					事前学習	前回までの資料を読む					
						事後学習	授業ノートの復習					
⑭	教師(保育者)のメンタルヘルスー自己統合に向けてー					事前学習	前回までの資料を読む					
						事後学習	授業ノートの復習					
⑮	学びの振り返り・まとめ・試験(定期試験)					事前学習	前回までの資料を読む					
						事後学習	学びの振り返りをする					
学習上の留意点	配付資料を手がかりとした講義展開を行う。口頭による説明が中心となるので、板書以外のことがらについてもノート等に記述することを心がけること。											
成績評価の方法	定期試験				70%	教科書	特に指定しない					
	平常点(受講態度)				20%	参考資料	「よくわかる教育相談」ミネルヴァ書房 「発達障害の教育相談ー理解深化への手びき」同成社 「保育士のための発達障害児の見つけかた」同成社 「家庭との連携と子育て支援ーカウンセリングマインドを生かして」ミネルヴァ書房					
	平常点(授業参加状況)				10%							

シラバス(授業計画)

部・学年	夜間部2年	学期		集中		授業形態		実習		単位数	2単位						
科目名	教育実習Ⅱ				担当教員	松葉 百香		幼稚園教諭・保育士として実務経験有									
全体目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育実習Ⅰでの課題を改善し、授業と実習とを関連づけて知識・技術を深める。</li> <li>・指導案作成・教材研究・ピアノの練習等、事前準備をすることの大切さに気付き、積極的に実践する。</li> </ul>																
一般目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育実習事前事後指導や保育内容等の授業で学んだことを反映させて、意欲的に取り組む中で保育の質を高める。</li> <li>・子どもの姿を丁寧に観察したことに基づいて、ねらいを設定し、「指導計画」を作成する。</li> </ul>																
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の反省点や課題を見つけて、今後の保育につながるようにする。</li> <li>・PDCAサイクルに当てはめて、毎日の実習記録や指導計画をしっかりと振り返る。</li> </ul>																
授業の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実習の期間 前期11月末から2週間実施。</li> <li>・実習の内容 実習園の指示に従い、指導計画を作成しない参加(部分)実習に加え、指導実習(一日・半日・部分)を行う。 状況に応じて指導実習は、半日・部分を複数回行うこともある。 朝の会、帰りの会、給食等の部分実習やピアノ伴奏については積極的に随時行う。</li> <li>・事前訪問 実習開始の約3週間前までに実施 実習園の概要および実習方針や実習クラスの子どもの様子を知る。 実習に臨む上で必要なことや準備することについて学ぶ。</li> <li>・実習園訪問指導 実習担当教員を中心に本校教員が実習期間中に実習園を訪問する。教員と園長・実習担当教諭等との面談終了後、実習生は現地で本校教員の指導を受ける。</li> <li>・事後訪問 実習終了後すみやかに実施。(実習園の指示に従う) 最終日の実習記録や振り返り等を記載し、実習園に原則持参するが、諸事情で困難な場合は、郵送などの手段を用いる。</li> </ul>																
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・規則正しい生活を送り、心身ともに健康に留意する。</li> <li>・社会人としてのマナーを守り、保育者としてふさわしい態度で臨む。</li> <li>・実習園と学校に必要なに応じて「報告・連絡・相談」をする。</li> <li>・実習園で知り得た個人情報の守秘義務を遵守すること。</li> <li>・指導案作成・教材研究・保育方法・ピアノ等の事前準備を行ったうえで能動的に実習に臨むこと。</li> <li>・事後訪問終了後、速やかに「実習記録」や指示された書類を提出すること。 注: 本校が定める「実習履修基準」により履修の可否を判断する。 実習に臨む姿勢や未提出課題等の事前準備が整わない場合は、実習を見送ることがある。</li> </ul>																
成績評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実習前や実習後に指示された課題や提出すべき書類等、実習前後の内容や取り組みについて評価する</li> <li>・実習園の評価を基にオリエンテーションや事前準備、実習記録や提出書類等、実習園訪問指導時の状況や実習後を含む実習の取り組みを総合的に勘案して評価する</li> <li>・最終的には教育実習Ⅰ・Ⅱおよび教育実習事前事後指導の授業を合わせて評価する</li> </ul>				教科書	<ul style="list-style-type: none"> <li>『教育・保育実習テキスト』</li> <li>『幼稚園教育要領』幼稚園教育要領解説</li> <li>『幼保連携型認定こども園教育保育要領』</li> <li>『幼保連携型認定こども園教育保育要領解説』</li> <li>『実習における遊びの援助と展開』久富陽子(編著) 萌文書林</li> <li>『保育実技』久富陽子(編著) 萌文書林</li> </ul>							参考資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>『保育実技』久富陽子(編著) 萌文書林</li> <li>イラストで読む! 幼稚園教育要領保育所保育指針幼保連携型認定こども園教育・保育要領はわかりBOOK</li> <li>無藤隆 編 学陽書房</li> </ul>			

シラバス(授業計画)

部・学年	夜間部2年	学期	半期	授業形態	実習	単位数	0.5単位
科目名	教育実習事前事後指導Ⅱ			担当教員	松葉 百香	幼稚園教諭・保育士として実務経験有	
全体目標	「幼稚園教育要領」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」についての理解を深める 情報機器や教材を活用し、実践力を身につけられるようにする 実習の計画、観察、記録の内容や方法について具体的に理解して実践する。						
一般目標	保育者に求められる資質や専門性について学ぶ 実習の計画、実践、評価、修正(PDCAサイクル)の流れで進めて次につなげていく 指導実習に向けて、「指導計画」立案や活動に対しての実践力を身につける						
到達目標	「幼稚園教育要領」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」についての理解を深める 子どもの見方やかかわり方など、様々な角度から考えられるようになる 保育者に求められる資質や専門性について学び、自己課題を明確にする						
授業のながれ	回数	[ 授業内容 ]			課外学習		
	①	教育実習Ⅱに向けての心構えと事前準備 実習記録用紙の書き方・データ化について・個人票・実習の臨み方			事前学習 事後学習	教育実習を終えてを見直し課題を明確にする パソコンで実習記録を作成・練習する。	
	②	「幼稚園教育要領」・「認定こども園教育・保育要領」(1) 3法令共通する改訂のポイント等 まとめ 幼児理解			事前学習 事後学習	幼稚園教育要領P.5～13を読んで理解する 幼稚園教育要領P.5～13を読んで理解する	
	③	子どもが主体の遊び DVD「劇遊び」折り紙 主体的な遊びについて考える・保育者の役割			事前学習 事後学習	子どもの主体性について考える 主体的な遊びについて理解を深める	
	④	「幼稚園教育要領」・「認定こども園教育・保育要領」(2) 幼児理解に基づいた評価の実施			事前学習 事後学習	幼稚園教育要領を読んで線を引きしておく 分からないところに対して質問できるようにする	
	⑤	事前訪問について 実習書類の準備 心構え(実習目標・実習課題)・守秘義務			事前学習 事後学習	事前訪問時の質問内容等について考える 実習で学びたいことを明確にする	
	⑥	事前訪問について・DVD「21世紀型保育実践 協働する保育」 書類・事前訪問内容の確認			事前学習 事後学習	事前訪問で行うことを明確にしておく 書類を整えて、気持ちを整える	
	⑦	記録の記入(1)指導計画 前日までの子どもの姿 子どもの姿から「ねらい」を考えて指導計画を作成する			事前学習 事後学習	「指導実習」で行う活動を調べておく 様々な「工作」について保育雑誌から調べる	
	⑧	記録の記入(2)「教師の援助・配慮」「教師の意図・ねらい」 保育方法(1)「リズム遊び」「工作」「手遊び」			事前学習 事後学習	「指導計画」をある程度仕上げる 作成した「指導計画」の内容を省察する	
	⑨	記録の記入(3)園児観察記録 DVD 記録の書き方の復習 子どもの活動から「園児観察記録」を作成する。			事前学習 事後学習	実習で、特に観察したいことを明確にする 子どもたちに読みたい絵本や手遊びの練習	
	⑩	実習直前指導 最終確認 実習記録・準備・お礼状・事後訪問 保育方法(2)「ペーパーシアター・集団遊び等」手遊びを発表する。			事前学習 事後学習	実習で子どもたちの前で披露できるものを準備 自分の課題や友だちの課題に気づき改善	
	⑪	事後指導(1)事後訪問・お礼状・実習を終えて 事後訪問への臨み方・実習を振り返る・印象に残ったエピソードを記。			事前学習 事後学習	事後訪問に抜けて「実習記録」を整える 実習を終えてを記入する	
	⑫	事後指導(2)振り返りに基づく自己評価 「教育実習を終えて」経験交流 課題を明確にしておく			事前学習 事後学習	経験交流ができるように意見をまとめておく PDCAサイクルをもとに振り返る	
	⑬	事後指導(3)今後の自己課題 保育者の専門性について DVD「幼児とのかかわりを考えるシリーズ」グループワーク			事前学習 事後学習	学んだことを復習しておく 様々な保育観があることを知る	
	⑭	教育実習のまとめ 今後の実習に向けて 今後の課題と改善方法を明確にする・乳幼児の子ども理解			事前学習 事後学習	実習での自分の課題を明確にする 3法令の共通するところやポイントを理解する	
	⑮	試験・まとめ エプロンシアター発表 振り返り			事前学習 事後学習	エプロンシアターの発表準備をする 今後の課題を見つけて練習が学びを深める	
学習上の留意点	授業には積極的に取り組み、事前準備や習ったことを復習して理解を深める努力をすること 子どもや幼児教育に関心を持って、保育者を目指すものとして自覚を持って学ぶこと 日頃から「幼稚園教育要領」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」を見るようにすること 提出物は丁寧に記述し、見直したうえで必ず期限内に提出すること						
成績評価の方法	定期試験50% 課題20% 授業参加状況30% (授業内での取り組み・グループワーク・レポート等)			教科書	「教育・保育実習テキスト」 「保育実践」久富陽子編 萌文出版 「実習における遊びの援助と展開」久富陽子編 萌文出版 「幼稚園教育要領」「幼稚園教育要領解説」 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」		
	以上を総合的に評価する			参考資料	イラストで読む！幼稚園教育要領保育所保育指針幼保連携型認定こども園教育・保育要領はやわかりBOOK 無藤隆 編 学陽書房		

シラバス(授業計画)

部・学年	夜間部2年	学期		半期		授業形態		演習		単位数	2単位
科目名	教職実践演習				担当教員	須田昂宏・伊藤直		幼稚園教諭として実務経験有			
全体目標	教職課程の他の授業科目の履修や教職課程外での様々な活動で学んだことを振り返り、教員としての資質・能力として統合し、全学年を通じた「学びの軌跡の集大成」をする。										
一般目標	講義、模擬保育を通じて、教職課程の学びの集大成をはかる										
到達目標	① 使命感・責任感・豊かな感性を持ち、愛情豊かに子どもに接することができる ② 社会性や対人関係能力を身につけ、子ども・保護者・職員など信頼関係を築くことができる ③ 子どもを理解し、意欲的で活気のあるクラス運営・集団づくりをする力をつける ④ 図画工作、ピアノ伴奏などの保育の表現技術や、保育内容の指導力、計画立案や説明する力をつける										
授業のながれ	回数	[ 授 業 内 容 ]					課外学習				
	① ガイダンス(授業内容の説明)	事前学習	シラバスを確認する				事後学習	授業内容を復習する			
	② 保育者の職務の実践的理解(1)学級運営	事前学習	実習中の学級運営を振り返る				事後学習	授業内容を復習する			
	③ 保育者の職務の実践的理解(2)安全・危機管理	事前学習	実習を振り返る				事後学習	授業内容を復習する			
	④ 模擬保育Aの準備	事前学習	実習で作成した指導案を振り返る				事後学習	授業内容を復習する			
	⑤ 模擬保育A(1)国語に関するもの	事前学習	模擬保育の準備をする				事後学習	授業内容を復習する			
	⑥ 模擬保育A(2)算数に関するもの	事前学習	模擬保育の準備をする				事後学習	授業内容を復習する			
	⑦ 模擬保育A(3)生活に関するもの	事前学習	模擬保育の準備をする				事後学習	授業内容を復習する			
	⑧ 模擬保育A(4)音楽に関するもの	事前学習	模擬保育の準備をする				事後学習	授業内容を復習する			
	⑨ 模擬保育A(5)図画工作に関するもの	事前学習	模擬保育の準備をする				事後学習	授業内容を復習する			
	⑩ 模擬保育A(6)体育に関するもの	事前学習	模擬保育の準備をする				事後学習	授業内容を復習する			
	⑪ 模擬保育Bの準備	事前学習	実習で作成した指導案を振り返る				事後学習	授業内容を復習する			
	⑫ 模擬保育B(1)七夕	事前学習	模擬保育の準備をする				事後学習	授業内容を復習する			
	⑬ 模擬保育B(2)節分	事前学習	模擬保育の準備をする				事後学習	授業内容を復習する			
	⑭ 模擬保育B(3)誕生日会	事前学習	模擬保育の準備をする				事後学習	授業内容を復習する			
	⑮ 総まとめ(自己課題についてまとめ、試験)	事前学習	授業内容を振り返る				事後学習	授業全体を振り返る			
学習上の留意点	・授業(演習)には積極的に取り組むこと。 ・実習での取り組みや気づきは実習中の記録とは別に、各自、振り返ることができるようにしておくこと。 ・進んで意見を述べたり、講評をしたりするように心がけること。										
成績評価の方法	試験 40%	模擬保育での発表 40%	提出物 20%	※履修カルテの提出がない場合はD評価							
	教科書	特に指定しない									
	参考資料	「幼稚園教育要領」「幼稚園教育要領解説」「保育所保育指針」「保育所保育指針解説」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」									

## シラバス(授業計画)

部・学年	夜間部2年	学期	半期	授業形態	講義	単位数	2単位
科目名	社会的養護 I			担当教員	横井 直子	児童養護施設職員として 実務経験有	
全体目標	社会的養護が担う責任と役割を理解し、保育専門職としての質の向上を目指す						
一般目標	社会的養護の現状と課題について学習する。 社会的養護における児童の権利擁護や倫理について学ぶ。						
到達目標	日常生活援助、治療的援助、法制度等について学び、代替的養育で行われる支援の在り方を学ぶ。						
授業 の な が れ	回数	[ 授 業 内 容 ]			課外学習		
	① 現代社会における社会的養護のニーズ	事前学習	事後学習	「家庭」とは何か考える 児童養護問題について調べる			
	② 社会的養護の歴史的変遷と理念と概念	事前学習	事後学習	教科書p18-27 社会的養護の理念を復習する			
	③ 社会的養護における児童の権利擁護と倫理及び責務	事前学習	事後学習	教科書p56-70 子どもの最善の利益についての復習			
	④ 社会的養護に関わる法令・実施体制	事前学習	事後学習	教科書p74-109 児童福祉法総則を読む			
	⑤ 施設養護の特性と実際(養護・治療系施設)	事前学習	事後学習	児童福祉施設の種類を調べる 学習した施設についての復習			
	⑥ 施設養護の特性と実際(障害系施設)	事前学習	事後学習	障害の種類について調べる 学習した施設についての復習			
	⑦ 施設養護の支援体制	事前学習	事後学習	教科書p130-143 自立支援についての復習			
	⑧ 中間学習確認(レポートまたは簡易テスト)	事前学習	事後学習	7回までの内容確認 理解不足の項目の復習			
	⑨ 家庭養護の特性と実際	事前学習	事後学習	里親制度に関わる時事を調べる 里親制度についての復習			
	⑩ 社会的養護と地域・在宅支援	事前学習	事後学習	教科書p194-208 地域の支援施設について調べる			
	⑪ 社会的養護における基礎知識・技術 (組織と運営)	事前学習	事後学習	報・連・相とは何か考える。 記録についての復習			
	⑫ 社会的養護における専門知識 (虐待予防などに関する事項)	事前学習	事後学習	子ども虐待についての時事を調べる 虐待予防について考える			
	⑬ 社会的養護における専門技術 (被虐待対応などに関する事項)	事前学習	事後学習	被虐待児について調べる 虐待対応についての復習			
	⑭ 社会的養護の課題	事前学習	事後学習	13回までの内容を振り返る 社会的養護で保育士に求められている事			
	⑮ 試験とまとめ	事前学習	事後学習	重要事項について説明できるよう整理する。 理解不足箇所の復習			
学習上の留意点	日常生活の中で子どもの福祉に関するニュースや課題などに関心を持って見ておくようにしてください 子どもの人権や権利擁護についても意識を持って臨んでください						
成績 評価 の方法	定期試験 60%	教科書	学ぶ・わかる・みえる シリーズ 保育と現代社会 保育と社会的養護 I				
	中間学習確認 30%		参考資料	大竹智、山田利子 編 みらい			
	受講態度 10%						

シラバス(授業計画)

部・学年	夜間部2年	学期	半期	授業形態	講義	単位数	2単位
科目名	子ども家庭支援の心理学			担当教員	菅田 達也		
全体目標	人間の発達についての理解や視点を深めることを目的とする。心理学的考え方や発達心理学の概要を知るとともに、生涯発達の視点や、人との相互的関わりと発達の関係性を理解する。保育の実践に対する基礎を養うことをねらいとする。						
一般目標	子どもの発達を理解するための、視点を学ぶ。発達観、子ども観、保育観について考え、その関連性について理解する。発達過程についての理解を深める。						
到達目標	1. 保育実践にかかわる心理学の知識を習得する。 2. 子どもの発達にかかわる心理学の基礎を習得し、子どもへの理解を深める。 3. 子どもが人との相互的にかかわりを通して発達していくことを具体的に理解する。 4. 生涯発達の観点から発達のプロセスや初期経験(家庭)の重要性について理解し、保育との関連を考察する。						
授業のながれ	回数	[ 授 業 内 容 ]			課外学習		
	①	オリエンテーション:心理学(発達心理学)とは			事前学習	シラバスを確認する	
					事後学習	授業内容を復習する	
	②	保育と心理学(1)保育と心理学を考える			事前学習	教科書の該当箇所を予習する	
					事後学習	授業内容を復習する	
	③	保育と心理学(2)発達理論			事前学習	教科書の該当箇所を予習する	
					事後学習	授業内容を復習する	
	④	子ども観・発達観・保育観			事前学習	教科書の該当箇所を予習する	
					事後学習	授業内容を復習する	
	⑤	子どもの発達理解(1)…発達と環境			事前学習	教科書の該当箇所を予習する	
					事後学習	授業内容を復習する	
	⑥	子どもの発達理解(2)…感情の発達			事前学習	教科書の該当箇所を予習する	
					事後学習	授業内容を復習する	
	⑦	子どもの発達理解(3)…身体・運動機能の発達			事前学習	教科書の該当箇所を予習する	
					事後学習	授業内容を復習する	
	⑧	子どもの発達理解(4)…知覚・認知の発達			事前学習	教科書の該当箇所を予習する	
				事後学習	授業内容を復習する		
⑨	子どもの発達理解(5)…ことばの発達と社会性			事前学習	教科書の該当箇所を予習する		
				事後学習	授業内容を復習する		
⑩	子どもの発達理解(6)…方法論、生涯発達について			事前学習	教科書の該当箇所を予習する		
				事後学習	授業内容を復習する		
⑪	人との相互的にかかわりと子どもの発達(基本的信頼の獲得)			事前学習	教科書の該当箇所を予習する		
				事後学習	授業内容を復習する		
⑫	人との相互的にかかわりと子どもの発達(他者との関わり)			事前学習	先回の復習をする		
				事後学習	授業内容を復習する		
⑬	子どもと家庭			事前学習	先回の復習をする		
				事後学習	授業内容を復習する		
⑭	家庭支援			事前学習	教科書の該当箇所を予習する		
				事後学習	授業内容を復習する		
⑮	まとめと試験			事前学習	教科書や課題を振り返る		
				事後学習	授業全体を振り返る		
学習上の留意点	受講するに当たって、ノートを用意すること。口頭による説明が中心となるので、講義内容をノートにまとめる必要がある。また、板書以外のことがらについても記述することを心がけること。						
成績評価の方法	平常点(授業参加状況・受講態度など)			20%	教科書	「保育の心理学」 井戸ゆかり(編著) 萌文書林	
	小レポート・提出物(適宜実施)			10%		資料考	配布プリント
	定期試験			70%			

## シラバス(授業計画)

部・学年	夜間部2年	学期	半期	授業形態	講義	単位数	2単位
科目名	子どもの保健			担当教員	菅田 陽子	看護師として実務経験有	
全体目標	子どもの心身の健康増進を図る保健活動の意義を理解する。						
一般目標	子どもの身体的な発育・発達や生理的特徴を知り、健康状態を把握する方法を理解する。						
到達目標	子どもの生理的特徴を理解する力を習得する。 子どもの疾病と予防法、対応についての知識を習得する。 保育における子どもをとりまく他職種間の連携についての知識を習得する。						
授業のながれ	回数	[ 授 業 内 容 ]			課外学習		
	①	オリエンテーション 子どもの健康と保健の意義			事前学習	教p1～14を読む	
					事後学習	配付資料の復習	
	②	子どもの出生と母子保健			事前学習	教p14～20を読む	
					事後学習	配付資料の復習	
	③	子どもの健康に関する現状と課題			事前学習	教p20～28を読む	
					事後学習	配付資料の復習	
	④	子どもの発育・発達と保健			事前学習	教p28～42を読む	
					事後学習	配付資料の復習	
	⑤	身体発育とその評価			事前学習	教p28～42を読む	
					事後学習	配付資料の復習	
	⑥	生理機能の発達(1) …体温、呼吸、循環、免疫			事前学習	教p42～51を読む	
					事後学習	配付資料の復習	
	⑦	生理機能の発達(2) …消化器、腎機能、体温調節、睡眠			事前学習	教p42～51を読む	
					事後学習	配付資料の復習	
⑧	地域における保健活動と子どもの虐待			事前学習	教p51～60を読む		
				事後学習	配付資料の復習		
⑨	子ども健康状態と症状別ケア			事前学習	教p60～65を読む		
				事後学習	配付資料の復習		
⑩	子どもの病気の特徴・感染症の特徴			事前学習	教p65～74を読む		
				事後学習	配付資料の復習		
⑪	予防接種とスケジュール			事前学習	教p74～81を読む		
				事後学習	配付資料の復習		
⑫	子どもの病気(1) …先天異常、アレルギー疾患			事前学習	教p91～119を読む		
				事後学習	配付資料の復習		
⑬	子どもの病気(2) …消化器～感覚器			事前学習	教p91～119を読む		
				事後学習	配付資料の復習		
⑭	組織におけるよりよい連携と家族の支援			事前学習	教p119～139を読む		
				事後学習	配付資料の復習		
⑮	試験とまとめ			事前学習	配布資料の全体復習		
				事後学習	振り返り		
学習上の留意点	配付資料は各自でまとめファイリングしておくこと。 積極的に授業に取り組むこと。						
成績評価の方法	平常点(授業参加状況や受講態度など)	30%	教科書	「子どもの健康と安全 演習ノート」小林美由紀 診断と治療社・「子どもの保健 テキスト」小林美由紀 診断と治療社			
	定期試験	70%		参考資料	「子どもの保健」診断と治療社 「子どもの保健 理論と実際」同文書林 「0歳からのワクチン接種ガイド」日経メディカル開発		



シラバス(授業計画)

部・学年	夜間部2年	学期	半期	授業形態	講義	単位数	2単位
科目名	乳児保育 I			担当教員	木田 千晶		
全体目標	乳児保育の意義と目的及び役割について理解し、今日の乳児保育を取り巻く環境と課題について学ぶことを目標とする。乳児の発達を踏まえた保育内容と、保護者や地域との連携について理解する。						
一般目標	3歳未満児の発達の特徴について理解するとともに、職員間の連携や家庭との連携を想定したうえで、保育者としてどのようにかわればよいかを理解する。						
到達目標	乳児保育の意義や役割について理解する。 3歳未満児の発達過程や生活について理解する。 乳児保育における職員間の連携、保護者や地域関係機関との連携について理解し実践に活かそうとすることができる。						
授業のながれ	回数	[ 授 業 内 容 ]			課外学習		
	①	オリエンテーション 乳児保育とは何か			事前学習	乳児保育とは何か考える	
					事後学習	乳児保育について自分の考えをまとめる	
	②	乳児保育の意義と目的			事前学習	乳児保育の意義や目的について考える	
					事後学習	乳児保育の意義や目的についてまとめる	
	③	0歳児の発達と保育内容			事前学習	0歳児の発達と保育内容について予習	
					事後学習	0歳児の発達と保育内容についてまとめる	
	④	1・2歳児の発達と保育内容			事前学習	1・2歳児の発達と保育内容について考える	
					事後学習	1・2歳児の発達と保育内容をまとめる	
	⑤	乳児や家庭を取り巻く環境と子育て支援			事前学習	乳児や家庭を取り巻く環境について予習	
					事後学習	家庭を取り巻く環境と子育て支援をまとめる	
	⑥	さまざまな施設と乳児保育			事前学習	乳児院等児童福祉施設について予習	
					事後学習	乳児院等における乳児保育についてまとめる	
	⑦	乳児の保育形態とアタッチメント			事前学習	アタッチメント(愛着)について予習	
					事後学習	乳児におけるアタッチメントをまとめる	
⑧	乳児保育の環境構成			事前学習	乳児保育の環境構成について予習		
				事後学習	乳児の環境を通した育ちをまとめる		
⑨	乳児の生活と保育者の関わり			事前学習	乳児の生活について考える		
				事後学習	乳児の生活と保育者の関わりをまとめる		
⑩	乳児の遊びと保育者の関わり① 遊びを通した保育者との関わり			事前学習	乳児の遊びについて考える		
				事後学習	乳児の遊びと保育者の関わりをまとめる		
⑪	乳児の遊びと保育者の関わり② 手作りおもちゃ			事前学習	手作りおもちゃを製作する		
				事後学習	手作りおもちゃについて振り返る		
⑫	乳児保育の指導計画・記録・評価			事前学習	乳児保育の指導計画・記録・評価について予習		
				事後学習	乳児保育の指導計画・記録・評価をまとめる		
⑬	乳児保育における連携 職員間の連携と保護者との連携			事前学習	乳児保育における連携について考える		
				事後学習	乳児保育における連携をまとめる		
⑭	乳児保育及び子育て支援に関する現状と課題			事前学習	乳児保育における課題について考える		
				事後学習	乳児保育に関する現状と課題をまとめる		
⑮	試験・まとめ			事前学習	配布資料や学習内容を見直す		
				事後学習	乳児保育における自己課題を考える		
学習上の留意点	3歳未満児についての理解を深め、乳児保育における保育者の役割について自ら考えるようにする。 事例検討や話し合いの際は積極的に参加すること。						
成績評価の方法	平常点(受講態度)	20%		教科書	『MINERVAはじめて学ぶ保育7 乳児保育』 名須川知子 大方美香 馬場耕一郎 ミネルヴァ書房		
	提出物	20%			参考資料	『保育所保育指針』厚生労働省 『乳児保育 I・II 科学的観察力と優しい心』 古橋紗人子、中谷奈津子 建帛社	
	定期試験	60%					
	以上を総合的に評価する						

## シラバス(授業計画)

部・学年	夜間部2年	学期	半期	授業形態	演習	単位数	1単位
科目名	子どもの健康と安全			担当教員	菅田 陽子	看護師として実務経験有	
全体目標	保健的観点を踏まえた保育環境や援助について理解する力を養う。						
一般目標	保育における衛生管理、事故防止、安全対策について具体的方法を習得する。						
到達目標	子どもの日常生活への援助が具体的に実施できる。 子どもの体調不良等に対する適切な対応ができる知識を習得する。						
授業のながれ	回数	[ 授業内容 ]			課外学習		
	①	子どもの健康と保育環境、および援助			事前学習	教p1~4を見る	
					事後学習	配布資料の復習	
	②	保育の環境整備と保健			事前学習	教p1~11を読む	
					事後学習	配布資料の復習	
	③	衛生管理と事故防止および安全対策			事前学習	教p 12~21を読む	
					事後学習	配布資料の復習	
	④	グループワーク(よりよい保育環境を考える)			事前学習	配布資料の予習	
					事後学習	配布資料の復習	
	⑤	グループワーク(発表)			事前学習	配布資料の予習	
					事後学習	配布資料の復習	
	⑥	子どもの救急法・Web講習			事前学習	教p 46~52を読む	
					事後学習	配布資料の復習	
	⑦	保育に必要な保健的対応			事前学習	教p 36~76を読む	
					事後学習	配布資料の復習	
⑧	身体測定・バイタルサイン・健康観察の方法			事前学習	教p76~87を読む		
				事後学習	配布資料の復習		
⑨	清潔習慣の援助			事前学習	教p 76~87を読む		
				事後学習	配布資料の復習		
⑩	排泄の援助			事前学習	教p 76~87を読む		
				事後学習	配布資料の復習		
⑪	発達の援助			事前学習	教p 76~87を読む		
				事後学習	配布資料の復習		
⑫	沐浴の方法			事前学習	教p 76~87を読む		
				事後学習	配布資料の復習		
⑬	慢性疾患や障害を持つ子どもへの対応			事前学習	教p 87~104を読む		
				事後学習	配布資料の復習		
⑭	保育における保健活動の計画と評価			事前学習	教p 111~125を読む		
				事後学習	配布資料の復習		
⑮	まとめと試験			事前学習	復習をする		
				事後学習	教、配布資料の復習		
学習上の留意点	積極的に演習に取り組むこと。事前、もしくは授業中に伝達する、持ち物を忘れないようにすること。 演習にふさわしい服装・身だしなみで臨むこと。 演習資料は各自でファイリングして整理すること。						
成績評価の方法	平常点(授業参加状況や受講態度など)	20%	教科書	「子どもの健康と安全 演習ノート」 小林美由紀 診断と治療社			
	提出物等	10%		「子どもの保健 テキスト」小林美由紀 診断と治療社			
	定期試験	70%	参考資料	「子どもの保健演習ノート 小林美由紀 診断と治療社 「子どもの保健 理論と実際」 同文書院			

シラバス(授業計画)

部・学年	夜間部2年	学期	半期	授業形態	演習	単位数	1単位
科目名	社会的養護Ⅱ			担当教員	寺井 陽一	児童養護施設職員として 実務経験有	
全体目標	保育士は、保育所以外にも乳児院、児童養護施設、障害児施設などさまざまな施設で必要とされている。そこで働く上で必要な専門性を身につけてほしい。						
一般目標	①施設に対する基礎的な知識を学ぶ。 ②児童養護施設に入所する児童の入所経緯や家族背景の理解を深める。 ③子どもの自立に向けての援助のあり方、親に対するアプローチを通しての支援のあり方を学ぶ。						
到達目標	施設に対する基礎的な理解や職場での人間関係のあり方の理解を深め、社会人に向けての自覚を高めていきたい。						
授業のながれ	回数	[ 授業内容 ]			課外学習		
	① 自己紹介 社会的子育てを考える	事前学習	自己PRを考える	事後学習	(教)P12～27を確認する		
	② 自己紹介 保育所以外で保育士が活躍する現場	事前学習	自己PRを考える	事後学習	(教)P54～63を調べる		
	③ 児童養護施設で生活する子どもたち 児童養護施設のDVDを見る	事前学習	児童養護施設を調べる	事後学習	DVDを見た感想・意見を書く		
	④ 虐待を受けた子どもたち 小規模児童養護施設・ファミリーホームのDVDを見る	事前学習	(教)P28～33を読む	事後学習	DVDを見た感想・意見を書く		
	⑤ 児童養護施設に入所する子どもの入所経緯や家族背景1(ケース1、ケース2) 名古屋市名東区中2男子暴行死事件の検証	事前学習	(教)P33～40を読む	事後学習	中2男子暴行死事件を読んだ感想・意見を書く		
	⑥ 児童養護施設に入所する子どもの入所経緯や家族背景1(ケース3、ケース4) 大阪2幼児放置死事件の検証	事前学習	(教)P41～53を読む	事後学習	2幼児放置死事件を読んだ感想・意見を書く		
	⑦ 職員に求められる援助技術 乳児院のDVDを見る	事前学習	(教)P75～78を読む	事後学習	乳児院のDVDを見た感想・意見を書く		
	⑧ 施設内での子どもへの援助のあり方 アドミッションケアとインケアの基礎理解	事前学習	(教)P94～99を読む	事後学習	(教)P100～107を読む		
	⑨ 子どもの自立に向けての援助のあり方 リービングケアとアフターケアの基礎理解	事前学習	(教)P107～110を読む	事後学習	(教)P110～114を読む		
	⑩ 問題行動への対応 児童養護施設のDVDを見る事例を通して理解を深める(教科書P118～122)	事前学習	問題行動の実際の例を考える	事後学習	問題行動の実際の対応策を考える		
	⑪ 性と生についての取り組み 性の関するQ&A	事前学習	(教)P64～68を読む	事後学習	性に関するQ&Aの復習		
	⑫ 愛着障害について、愛着障害児との治療的な関わり	事前学習	(教)P68～74を読む	事後学習	愛着障害についてまとめる		
	⑬ 施設と地域社会との関わり(ボランティア)活動を通して考える 自立支援計画の作成例を考える	事前学習	(教)P68～74を読む	事後学習	自立支援計画を作成する		
	⑭ 自立支援計画を発表する 施設実習に向けて・・・施設職員とは、職場の人間関係のあり方	事前学習	実習の抱負を箇条書きにする	事後学習	実習の課題をまとめる		
⑮ 試験、まとめ	事前学習	テスト(小論文)を考える	事後学習	総復習			
学習上の留意点	授業は、虐待を受けた子ども達が施設に入所してどんな生活をしていくのか、入所後どのように自立に向けてステップを踏んでいくのかを中心に進めていきます。それに合わせて、職員の援助・支援の在り方や子どもの理解を深めていってほしいと思っています。 *授業中に知り得た児童・家族等に関する情報は、守秘すること						
成績評価の方法	定期試験の結果	60%	教科書	『児童の社会的養護内容』			
	小レポート	20%		神戸賢次・喜多一憲編			
	授業参加状況・授業態度	20%	参考資料				

シラバス(授業計画)

部・学年	夜間部2年	学期		集中		授業形態		実習		単位数	2単位						
科目名	保育実習 I (施設)				担当教員	川上 恭代		児童養護施設職員として実務経験有									
全体目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設での体験的な学びの中で入所児者を理解し、実践的な保育・養育・支援方法を学ぶ。</li> <li>施設の役割や施設保育士の職務や役割について学ぶ。</li> <li>実習を通して自己覚知をすることで、自己課題を明確化し、今後の学びに繋げる。</li> </ul>																
一般目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>入所児者の「生活の場」であることを念頭に、保育実習指導 I (施設)やその他の福祉系科目を中心に学んだ知識や技術を反映させ、積極的に取り組む。</li> </ul>																
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>机上での学びと合わせて、現場での応用力や福祉的な視点を養う。</li> <li>入所児者、施設職員の様子を観察し、一つひとつの支援や援助の意味や意図を考察する。</li> </ul>																
授業のながれ	<ul style="list-style-type: none"> <li><b>実習の期間</b> 後期の定期試験終了後から3月末まで(春休み)の期間に、8泊10日間実施。</li> <li><b>実習の内容</b> 入所児者の生活支援を主とした宿泊実習を行う。 施設により、指導実習(部分)や宿直体験を行うこともある。</li> <li><b>事前訪問</b> 12月中旬から順次開始。 実習施設の概要および方針、周りの環境や実習時に必要な物品等を確認し、実習に備える。 実習施設の入所児者や職員の様子を知り、実習に向けての気持ちを高める。 事前課題が提示された場合、期日までに準備し、取り組む。</li> <li><b>実習施設巡回指導</b> 実習担当教員を中心に本校教員が実習期間中に実習施設を訪問する。 教員と施設の実習担当者が面談した後、実習生は現地で教員の指導を受ける。</li> <li><b>事後訪問</b> 最終日の実習記録や「実習を終えて」等を記載し、原則、実習施設に持参する。 受け取り日や方法については、実習施設の指示に従う。</li> </ul>																
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> <li>規則正しい生活を送り、心身ともに健康に留意する。</li> <li>社会人・実習生としてのマナーを守り、保育者としての心構えを持つ。</li> <li>入所児者の「生活の場」を念頭に実習に取り組む。</li> <li>実習施設と学校へ必要に応じて「報告・連絡・相談」をする。提出物は期限を厳守する。</li> <li>実習施設で知り得た個人情報の守秘義務を遵守する。</li> </ul> <p>注:本校が定める「実習履修基準」により履修の可否を判断する。</p>																
成績評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>実習施設の評価を基に実習記録、巡回指導時の状況、報告会を含む実習の取り組み状況を勘案して評価する</li> <li>最終的には保育実習 I (施設実習・第一回保育所実習)および保育実習指導 I の授業を合わせて評価する</li> </ul>				教科書	<ul style="list-style-type: none"> <li>「教育・保育実習マニュアル」</li> <li>「保育士をめざす人の福祉施設実習 第2版」</li> <li>愛知県保育実習連絡協議会他(編)みらい</li> <li>「朋」愛知県児童福祉施設長会広報委員会(編)</li> </ul>							参考資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>「保育所保育指針」</li> <li>「保育所保育指針解説」</li> </ul>			

## シラバス(授業計画)

部・学年	夜間部2年	学期	半期	授業形態	演習	単位数	1単位	
科目名	保育実習指導 I (施設)			担当教員	武弘 和通	児童養護施設職員として 実務経験有		
全体目標	・保育実習 I (施設)とは、これまでに学んだ知識や技術を元に保育の応用力を養う機会である。そこで、本 科目では実習に備え、各施設の役割、目的、援助の方法や必要な視点などの基礎的事項について学び、 実習への自己学習課題を明確化していく。							
一般目標	・福祉施設及び子ども・利用者への正しい理解と知識を身に付ける。 ・子どもや利用者への内面への共感的理解のあり方を考える。							
到達目標	・多様な施設の現場の実情を学び、事例検討をする中で、施設で生活する子どもや利用者を理解し、様々 な視点による支援や援助のあり方を学ぶ。							
授 業 の な が れ	回数	[ 授 業 内 容 ]			課外学習			
	①	保育実習の意義～実習の目的～			事前学習	教科書P.10～P.12 予習	事後学習	実習の目的の復習
	②	保育実習の意義～実習の概要～			事前学習	教科書P.12～P.14 予習	事後学習	実習の概要の復習
	③	実習の内容			事前学習	教科書P.34～P.42 予習	事後学習	各指導、支援の意味や意図の復習
	④	実習課題の明確化			事前学習	教科書P.23～P.24 予習	事後学習	課題設定の整理
	⑤	実習に際しての留意事項 ～人権と最善の利益について～			事前学習	人権、最善の利益の意味調べ	事後学習	子ども・利用者の最善の利益の復習
	⑥	実習に際しての留意事項 ～プライバシーの保護と守秘義務～			事前学習	プライバシー、守秘義務の意味調べ	事後学習	施設での守秘義務の意味と重要性の復習
	⑦	実習に際しての留意事項 ～実習生としての心構え～			事前学習	教科書P.22～P.23、「朋」施設実習を考える 予習	事後学習	自らの課題と目標の整理
	⑧	施設実習とは			事前学習	教科書第5章、第6章該当部分 予習	事後学習	養護系、障害系の施設の復習
	⑨	施設での生活と子ども・利用者の理解			事前学習	教科書P.14～P.18 予習	事後学習	実習施設について調べる
	⑩	施設実習の事前準備(1) 事前訪問と報告書について			事前学習	教科書P.26～P.28、マニュアルP.30～P.33 予習	事後学習	各実習グループでの打ち合わせ
	⑪	施設実習の事前準備(2)「朋」から学ぶ			事前学習	「朋」施設実習を考える 予習	事後学習	「朋」を読んで感想をまとめる
	⑫	施設実習の事前準備(3)実習計画と心構え			事前学習	教科書P.28～P.32 予習	事後学習	施設実習計画書の作成
	⑬	施設実習の事前準備(4)記録の書き方			事前学習	教科書P.44～P.51 予習	事後学習	記録の書き方の整理及び復習
	⑭	施設実習の事後指導 ～実習における学び(反省と課題等)～			事前学習	教科書P.120～P.124 予習	事後学習	実習に向けての目標及び課題確認
⑮	定期試験・講評			事前学習	これまでの学びの復習及び確認	事後学習	講評の内容の整理と把握	
学習上の留意点	・授業を通して、実習生(保育者)としての在るべき姿勢や態度に自ら気づき、身に付くように努力すること。 ・教科書・朋を毎回持参し、授業で配付する資料は必ずファイルに綴じて保管すること。 ・日頃から社会福祉に関心を持ち、新聞や関連書籍を読み理解を深めること。 ・提出物は期限を厳守し、発表する時は責任を持って行うこと。							
成績評価の方法	・定期試験 50% ・提出物 50%			教科書	・「保育士をめざす人の福祉施設実習 第2版」 愛知県保育実習連絡協議会他(編)みらい ・「朋」愛知県児童福祉施設長会広報委員会(編)			
	上記に平常点(授業参加状況や受講態度等)を 勘案して評価する。				参考資料			



保 育 科

夜 間 部 3 年 生





シラバス(授業計画)

部・学年	夜間部3年	学期	半期	授業形態	演習	単位数	1単位
科目名	音楽Ⅱ(器楽)			担当教員	花井 英一	高等学校講師(音楽)・音楽教室ピ アノ講師として実務経験有	
全体目標	幼児の遊びや生活の中での表現活動を受容し、幼児の感性や創造性を豊かにする音楽表現の専門的 事項について、鍵盤楽器の演習を通して、知識・技能と表現力を身につける。						
一般目標	1年および2年の音楽(器楽)の演奏技能にさらに高い技能を習得し、幼児の発達過程や音楽表現を理解 し、より音楽的な演奏力・表現力の向上を目標とする。						
到達目標	1. 各曲の適切な伴奏法(幼児の感性や表現する力、創造性を育む伴奏)を常に考察し、習得する。 2. レパートリーを一曲でも多くし、表現豊かに曲を弾きとおす伴奏法を習得する。 3. いろいろな曲の演習を通して、教材の活用法や演奏技能を習得する。						
授 業 の な が れ	回数	[ 授 業 内 容 ]			課外学習		
	①	シラバスの説明・器楽記録表配布 個人指導(アカペラで表情豊かに歌うことの重要性)			事前学習	曲の譜読みと弾き歌い練習	
					事後学習	説明内容の把握と復習・弾き歌い練習	
	②	個人指導(5月のうた(実習) めだかのがっこうなど) 「楽典」早い読譜・ト音譜表(練習4)			事前学習	曲の譜読みと弾き歌い練習	
					事後学習	指摘箇所の確認と練習	
	③	個人指導(生活のうた さよならのうたなど) 「楽典」早い読譜・ト音譜表(練習5)			事前学習	曲の譜読みと弾き歌い練習	
					事後学習	指摘箇所の確認と練習	
	④	個人指導(うたあそび にぎってひらいてなど) 「楽典」早い読譜・ヘ音譜表(練習6)			事前学習	曲の譜読みと弾き歌い練習	
					事後学習	指摘箇所の確認と練習	
	⑤	個人指導(6月のうた はをみがましようなど) 「楽典」早い読譜・ヘ音譜表(練習7)			事前学習	曲の譜読みと弾き歌い練習	
					事後学習	指摘箇所の確認と練習	
	⑥	個人指導(わらべうた かごめかごめなど) リズム・2分音符・2分休符・4分音符・4分休符			事前学習	曲の譜読みと弾き歌い練習	
					事後学習	指摘箇所の確認と練習	
	⑦	個人指導(英語のうた キラキラ星など) リズム創作・2分音符・2分休符・4分音符・4分休符			事前学習	曲の譜読みと弾き歌い練習	
					事後学習	指摘箇所の確認と練習	
⑧	個人指導(9月のうた(実習) こおろぎなど) リズム・4分音符・4分休符・8分音符・8分休符			事前学習	曲の譜読みと弾き歌い練習		
				事後学習	指摘箇所の確認と練習		
⑨	個人指導(10月のうた きくのはななど) リズム創作・4分音符・4分休符・8分音符・8分休符			事前学習	曲の譜読みと弾き歌い練習		
				事後学習	指摘箇所の確認と練習		
⑩	個人指導(ダンパーペダル おはながわらったなど) リズム・16分音符・三連符・付点8分音符			事前学習	曲の譜読みと弾き歌い練習		
				事後学習	指摘箇所の確認と練習		
⑪	個人指導(季外のうた いぬのおまわりさんなど) リズム創作・16分音符・三連符・付点8分音符			事前学習	曲の譜読みと弾き歌い練習		
				事後学習	指摘箇所の確認と練習		
⑫	個人指導(いろいろな伴奏 とんでったバナナなど) リズム・付点音符・シンコペーション			事前学習	曲の譜読みと弾き歌い練習		
				事後学習	指摘箇所の確認と練習		
⑬	個人指導(行事のうた そつぎょうしきのうたなど) リズム創作・付点音符・シンコペーション			事前学習	曲の譜読みと弾き歌い練習		
				事後学習	指摘箇所の確認と練習		
⑭	試験曲の個人レッスン・器楽記録票の提出			事前学習	器楽記録票の点検/試験曲の練習		
				事後学習	試験曲の練習/指摘箇所の確認・練習		
⑮	実技試験・講評			事前学習	試験曲の練習		
				事後学習	講評の内容の把握		
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各自選択曲をしっかり練習して授業に臨むこと。教員の助言したポイントに気をつけて、家での毎日の練習の他、学校でもわずかな時間を大切に練習すること。</li> <li>・幼児のことを常に意識した導入(言葉がけや曲のイメージ)・表情豊かな弾き歌いで曲を弾きとおすことができるように練習する。</li> </ul>						
成績評価の方法	定期試験 80%・平常点 20% ※試験曲は、授業時合格曲のレベルと合計点による。(器楽記録票の提出必須) ※平常点(授業内課題(適宜)や授業時発表、授業参加状況、受講態度など)を勘案する。			教科書	「幼児のうたとあそび」 曲目一覧表 「楽典の基礎楽譜が読めるステップ12」甲斐彰 著 音楽之友社 器楽記録表 プリント教材		
				参考資料	「幼稚園教育要領」「幼稚園教育要領解説」 「保育所保育指針」「保育所保育指針解説」 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」		

シラバス(授業計画)

部・学年	夜間部3年	学期		半期		授業形態		演習		単位数	1単位	
科目名	体育Ⅱ				担当教員	浦田 一		幼稚園教諭として実務経験有				
全体目標	幼児期における発達の違い、遊びの重要性を理解する											
一般目標	集団遊びを通じ、人と関わる遊びの楽しさと運営方法を具体的に学ぶ											
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・遊びを通じた、個々の能力や体力の違いを理解する</li> <li>・子どもたちの遊びの中における保育者の役割を学ぶ</li> <li>・保育現場で実際に使える力を身につける</li> </ul>											
授業のながれ	回数	[ 授 業 内 容 ]					課外学習					
	①	オリエンテーション					事前学習	シラバスの考察				
							事後学習	事例の検討				
	②	遊びを通じたコミュニケーション(集団ゲーム)					事前学習	プリント学習				
							事後学習	実践内容のまとめ				
	③	遊びを通じたコミュニケーション(ダンス)					事前学習	プリント学習				
							事後学習	実践内容のまとめ				
	④	遊びとしての運動の重要性について【講義】					事前学習	教科書31～44pを下読み				
							事後学習	講義内容のまとめ				
	⑤	遊びを通して運動能力、体力を捉えて					事前学習	教科書3～11pを下読み				
							事後学習	実践内容のまとめ				
	⑥	遊びを通して運動発達の特徴を捉えて					事前学習	教科書12～30pを下読み				
							事後学習	実践内容のまとめ				
	⑦	「遊びのなかで」という考え方【講義】					事前学習	教科書85～105pを下読み				
							事後学習	講義内容のまとめ				
	⑧	ごっこ遊び					事前学習	教科書106～117pを下読み				
						事後学習	実践内容のまとめ					
⑨	ボール遊び					事前学習	教科書118～126pを下読み					
						事後学習	実践内容のまとめ					
⑩	集団ゲーム(仲間との交流)					事前学習	教科書146～150pを下読み					
						事後学習	実践内容のまとめ					
⑪	集団ゲーム(ルール工夫と発展)					事前学習	教科書151～155pを下読み					
						事後学習	実践内容のまとめ					
⑫	集団ゲーム(数量・時間・空間)					事前学習	教科書156～159pを下読み					
						事後学習	実践内容のまとめ					
⑬	集団ゲーム(脱中心化)					事前学習	教科書160～167pを下読み					
						事後学習	実践内容のまとめ					
⑭	遊び集作成					事前学習	プリントのまとめ					
						事後学習	講義内容の確認					
⑮	試験・講評					事前学習	試験内容の確認					
						事後学習	講評内容の確認					
学習上の留意点	<p>以下の点に留意して、授業に臨んでください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニケーション活動に積極的に参加してください。</li> <li>・現場に出たときの、自分の姿を想像しながら参加してください。</li> </ul> <p>* 授業は実技を中心に行う為、運動着・運動靴を着用ください。</p>											
成績評価の方法	定期試験	50%	教科書	「幼児期における 運動発達と運動遊びの指導」								
	授業参加状況	30%		参考資料	「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」 「保育所保育指針」「幼稚園教育要領」各解説書							
	授業態度	20%			配布プリント							

## シラバス(授業計画)

部・学年	夜間部3年	学期	半期	授業形態	演習	単位数	1単位
科目名	体育Ⅱ			担当教員	伊藤 昭治	レクリエーション指導者として 実務経験有	
全体目標	みんな(集団)で遊ぶことの楽しさを味わい、運営する、工夫する、見守る、支援(援助)する、 という幼児教育者としての視点を養う。						
一般目標	授業での特に実技種目(ゲーム)の運営方法等を習得すること。						
到達目標	1.教科書の指定されたページの熟読とプリント教材を良く理解し、自らを向上させる。 2.実技種目(ゲーム)の内容を理解すること。						
授 業 の な が れ	回数	[ 授 業 内 容 ]			課外学習		
	①	オリエンテーション・ゲームの楽しさを味わう(アイスブレイク)			事前学習 事後学習	シラバスを読む プリント教材の確認	
	②	集団ゲームとは			事前学習 事後学習	プリント教材の熟読 講義内容の確認	
	③	伝達技術(どうしたら伝わるのか)(いろいろなゲームから)			事前学習 事後学習	プリント教材の熟読 講義内容の確認	
	④	集団でのゲーム運営を考える(風船を使って)			事前学習 事後学習	プリント教材の熟読 講義内容の確認	
	⑤	集団ゲームのねらい			事前学習 事後学習	プリント教材の理解 講義内容の確認	
	⑥	集団ゲーム(カードゲーム)			事前学習 事後学習	プリント教材の理解 プリント教材の確認	
	⑦	ボールゲーム			事前学習 事後学習	ボールを使ったゲームの調査 体験内容と比べてみる	
	⑧	集団ゲームのねらい指導法			事前学習 事後学習	プリント教材の熟読 講義内容の確認	
	⑨	集団把握の技術			事前学習 事後学習	プリント教材の熟読 講義内容の確認	
	⑩	野外での指導法			事前学習 事後学習	野外ゲームの種類を調べる 体験内容の確認	
	⑪	協力・役割分担を理解する遊び(ゲーム)			事前学習 事後学習	プリントでの確認 プリントでのまとめ	
	⑫	身近なものを工夫する(ペットボトルを使って)			事前学習 事後学習	ペットボトルの工夫を考えてくる 体験内容のまとめ	
	⑬	発想の転換で新しいゲームを創作する			事前学習 事後学習	ゲームを一つ創作してくる 体験内容のまとめ	
	⑭	効果的指導をするために			事前学習 事後学習	どうしたらよいかを考えてくる 授業内容のまとめ	
⑮	試験・講評			事前学習 事後学習	各自の演目の確認・準備 講評内容の把握		
学習上の留意点	・幼児教育者としてふさわしい心構え・態度・行動を考えて受講すること。 ・楽しくするための工夫を考えながら、自ら動くことの必要性を習得すること。 ※授業は、実技を中心に行うので、パンツは(運動着)を着用又は準備のこと 運動靴(スニーカー)を履くこと						
成績評価の方法	定期試験	60%		教科書	プリント教材配布		
	授業参加状況	20%			参考資料	「幼稚園教育要領」「幼稚園教育要領解説」 「保育所保育指針」「保育所保育指針解説」 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」	
授業態度	20%						

シラバス(授業計画)

部・学年	夜間部3年	学期		半期		授業形態		演習		単位数	2単位
科目名	表現(音楽)指導法Ⅱ				担当教員	花井 英一					
全体目標	幼児の遊びや生活の中の表現活動を受容し、感性や創造性を豊かにする音楽表現の意欲を十分発揮させ、個性を伸ばして小学生へとつなげてゆくことが重要である。同時に、音楽に親しみ楽しむ環境を展開していくことが大切である。演習を通して知識・技能・表現力を身につける。										
一般目標	幼児のあそびや生活の中での表現活動と発達過程を理解し、感性や創造性を豊かにする音楽表現や環境などを展開できる知識・技能・表現力を習得する。										
到達目標	1. 保育・幼児教育の基本を踏まえ、領域「表現」のねらい及び内容を理解している。 2. 子どもの音域を考慮した移調奏や、簡易伴奏へのアレンジなどの知識と演奏技能を身につけている。 3. わらべうたなど様々な曲を通して子どもの表現活動を支え、教材の活用法や演奏技能を習得する。										
授業のながれ	回数	[ 授 業 内 容 ]				課外学習					
	①	領域「表現」のねらいと内容理解、遊びと生活の中の様々な音楽表現について				事前学習	曲の譜読みと弾き歌い練習				
						事後学習	説明内容の把握と復習・鍵盤での練習				
	②	長音階と主要三和音、そのカデンツとコードネーム(ハ長調、ヘ長調、ト長調、ニ長調)				事前学習	曲の譜読みと弾き歌い練習				
						事後学習	説明内容の把握と復習・鍵盤での練習				
	③	幼児の発達特性の理解、声域と移調むすんでひらいて(ハ長調、ヘ長調、ト長調、ニ長調)				事前学習	曲の譜読みと弾き歌い練習				
						事後学習	説明内容の把握と復習・鍵盤での練習				
	④	三和音とコードネームの解説(各三和音の響きと構成)(長三和音、短三和音、減三和音、増三和音)				事前学習	曲の譜読みと弾き歌い練習				
						事後学習	説明内容の把握と復習・鍵盤での練習				
	⑤	四和音とコードネームの解説(構成と響き、特徴)(属七和音、長七和音、短七和音、減七和音)				事前学習	曲の譜読みと弾き歌い練習				
						事後学習	説明内容の把握と復習・鍵盤での練習				
	⑥	コードネーム練習問題 幼児のうたの伴奏譜のコード調べ(ハ長調、ニ長調)				事前学習	曲の譜読みと弾き歌い練習				
						事後学習	説明内容の把握と復習・鍵盤での練習				
	⑦	幼児のうたのピアノ伴奏譜のコード調べと演奏(ハ長調、ニ長調、ヘ長調、ト長調)				事前学習	曲の譜読みと弾き歌い練習				
						事後学習	説明内容の把握と復習・鍵盤での練習				
⑧	主要三和音によるコード付けと演奏(ハ長調)(とんぼのめがね、森のくまさん他)				事前学習	曲の譜読みと弾き歌い練習					
					事後学習	説明内容の把握と復習・鍵盤での練習					
⑨	主要三和音によるコード付けと演奏(ニ長調、ヘ長調)(めだかのがっこう、ふるさと他)				事前学習	曲の譜読みと弾き歌い練習					
					事後学習	説明内容の把握と復習・鍵盤での練習					
⑩	主要三和音によるコード付けと演奏(ト長調とまとめ)				事前学習	曲の譜読みと弾き歌い練習					
					事後学習	説明内容の把握と復習・鍵盤での練習					
⑪	簡易な楽器の奏法と指揮、幼児の発達に即した演奏や合奏(2拍子・3拍子など・歌遊び・わらべうたなど)				事前学習	曲の譜読みと弾き歌い練習					
					事後学習	説明内容の把握と復習・鍵盤での練習					
⑫	幼児のうたの器楽合奏合唱奏のアレンジと楽譜作成(グループ活動)				事前学習	曲の譜読みと弾き歌い練習					
					事後学習	説明内容の把握と復習・鍵盤での練習					
⑬	アレンジ曲のグループ発表と指導法について(まとめレポート提出)				事前学習	曲の譜読みと弾き歌い練習					
					事後学習	説明内容の把握と復習・鍵盤での練習					
⑭	復習と問題、実技試験のレッスン 器楽記録表の提出				事前学習	器楽記録票の点検					
					事後学習	定期試験範囲の復習・鍵盤での練習					
⑮	定期試験・講評				事前学習	定期試験範囲の学習					
					事後学習	講評の内容の把握					
学習上の留意点	・毎回の授業内容は、前回の理解が必須です。必ず復習と鍵盤での確認と練習をしてください。 ・授業で取り上げた曲は「幼児のうたとあそび」(弾き歌い)で練習して授業に臨むこと。(自分でコードネームを記入した「幼児のうたとあそび」の楽譜であればコード伴奏弾き歌いでもよい)										
成績評価の方法	定期試験 80%:平常点 20% ※平常点(授業内課題・小テスト(適宜)や器楽記録票(提出必須)、授業時発表、授業参業参加状況、受講態度など)				教科書	「幼児のうたとあそび」 曲目一覧表 「楽典の基礎楽譜が読めるステップ12」甲斐彰著 音楽之友社 器楽記録表 プリント教材					
					参考資料	「幼稚園教育要領」「幼稚園教育要領解説」 「保育所保育指針」「保育所保育指針解説」 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」					

## シラバス(授業計画)

部・学年	夜間部3年	学期	半期	授業形態	講義	単位数	2単位
科目名	保育原理			担当教員	櫛田 英代		
全体目標	今日の子どもの置かれた状況を知り、保育の意義について、乳幼児期の特性などを学び、保育観や子ども観を養い、視野を広げていくことを目的とする。						
一般目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・さまざまな子どもに目を向け、「保育」を考える基本的な視点を学び理解する。</li> <li>・幼稚園、保育所の歴史を踏まえ、「保育」の役割、現状と課題を学び、考え、これからの保育のあり方を考えられるようになる。</li> </ul>						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育の概念、実態の概要をつかみ、「保育とは何か」を明確に述べる。</li> <li>・保育の全体構造を理解し、子どもの理解や保育の方法を学ぶ。</li> <li>・保育者の役割について考える。</li> </ul>						
授業のながれ	回数	[ 授 業 内 容 ]			課外学習		
	①	保育とは何か	事前学習	シラバス下読み	事後学習	リアクションペーパー記入	
	②	現代社会と子どもの育ち	事前学習	10年前と今の環境について考える	事後学習	リアクションペーパー記入	
	③	諸外国の保育事情	事前学習	諸外国の保育事情について調べる	事後学習	リアクションペーパー記入	
	④	日本の保育の歩み	事前学習	配布プリント下読み	事後学習	リアクションペーパー記入	
	⑤	保育を担う施設について	事前学習	配布プリント下読み	事後学習	リアクションペーパー記入	
	⑥	保育者に求められるもの	事前学習	保育者の役割について考える	事後学習	リアクションペーパー記入	
	⑦	保育に求められる子ども観・発達観	事前学習	子ども観・発達観について考える	事後学習	リアクションペーパー記入	
	⑧	保育の基本	事前学習	配布プリント下読み	事後学習	リアクションペーパー記入	
	⑨	保育の目標と内容	事前学習	配布プリント下読み	事後学習	リアクションペーパー記入	
	⑩	保育の方法と進め方	事前学習	配布プリント下読み	事後学習	リアクションペーパー記入	
	⑪	保育計画と保育の質の向上	事前学習	配布プリント下読み	事後学習	リアクションペーパー記入	
	⑫	大切な子育て支援と地域連携	事前学習	子育て支援について考える	事後学習	リアクションペーパー記入	
	⑬	保育をめぐるこれからの課題について	事前学習	配布プリント下読み	事後学習	リアクションペーパー記入	
	⑭	海外の保育に目を向けてみよう	事前学習	配布プリント下読み	事後学習	リアクションペーパー記入	
⑮	試験・まとめ	事前学習	試験勉強	事後学習	全体的な復習・まとめ		
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各学習内容について調べることを、考えること、意見を共有することなどを中心に積極性をもって学習に取り組みましょう。</li> <li>・日頃から子どもを取り巻く環境に興味関心を向けるようにしましょう。</li> </ul>						
成績評価の方法	・授業参加状況、受講態度	25%	教科書				
	・発表	25%		参考資料	・実践を創造する『保育原理』(桐みらい)		
	・試験	50%					

## シラバス(授業計画)

部・学年	夜間部3年	学期	半期	授業形態	講義	単位数	2単位
科目名	保育原理Ⅱ			担当教員	寺部 直子		
全体目標	・「保育とは何か」「保育者に求められる専門性とは何か」について自分なりの考えを持てるようになる。						
一般目標	・諸外国の保育制度の成立の過程について、その原点を中心に学び、日本の保育の現状と課題を理解する。 ・諸外国から導入された独特な保育方法について概要をしり、その長所と短所について考察する。						
到達目標	・コメニウスの提唱した「すべての人にすべてのことを『わずかの労力で愉快に着実に』学ばせる為の普遍的な教授の技術」が、なぜ必要なかを理解している。 ・「子どもの人権を尊重した」保育の方法、制度はどうあるべきかについて自分なりの考えを持っている。						
授業のながれ	回数	[ 授業内容 ]			課外学習		
	①	保育とは何かを再考する。			事前学習 保育原理Ⅰで学んだ事をまとめる。 事後学習 学習を振り返りレポートにまとめる。		
	②	西欧の保育思想1 コメニウス			事前学習 予告された内容について考えてくる 事後学習 小テストに備えて復習		
	③	西洋の保育思想2(1)ルソー ルソーの思想と主な著作			事前学習 『エミール』の指定箇所を読んでくる 事後学習 『エミール』の指定箇所を読んでくる		
	④	西洋の保育思想2(2)ルソー 『エミール』にみる教育の原理と方法			事前学習 『エミール』の指定箇所を読んでくる 事後学習 学んだことをレポートにまとめる。		
	⑤	諸外国の保育制度の成り立ちと現状1 フランス・オーベルランの編み物学校から現在まで			事前学習 予告された内容について考えてくる 事後学習 小テストに備えて復習		
	⑥	諸外国の保育制度の成り立ちと現状2(1) イギリス・ロバート・オーエンの幼児学校			事前学習 予告された内容について考えてくる 事後学習 小テストに備えて復習		
	⑦	諸外国の保育制度の成り立ちと現状3(1) ドイツ・幼稚園の成立			事前学習 予告された内容について考えてくる 事後学習 小テストに備えて復習		
	⑧	諸外国の保育制度の成り立ちと現状3(2) ドイツ・フレーベルの恩物			事前学習 予告された内容について考えてくる 事後学習 小テストに備えて復習		
	⑨	日本の保育内容の変遷 1 フレーベル主義			事前学習 予告された内容について考えてくる 事後学習 小テストに備えて復習		
	⑩	日本の保育内容の変遷 2 モンテッソーリメソッドの登場			事前学習 予告された内容について考えてくる 事後学習 小テストに備えて復習		
	⑪	日本の保育内容の変遷 3 系統的保育案			事前学習 予告された内容について考えてくる 事後学習 小テストに備えて復習		
	⑫	日本の保育内容の変遷 4 特色ある保育			事前学習 予告された内容について考えてくる 事後学習 小テストに備えて復習		
	⑬	日本の乳幼児教育の課題 1 新制度の現状と課題			事前学習 予告された内容について考えてくる 事後学習 小テストに備えて復習		
	⑭	日本の乳幼児教育の課題 2 今後の展望			事前学習 予告された内容について考えてくる 事後学習 小テストに備えて復習		
⑮	試験・まとめ			事前学習 試験に備えて総復習してくる。 事後学習 今後の課題を明らかにする			
学習上の留意点	*教科書を読んではくるときは、①「いつ」②「どこで」③「誰が(関係する人物の名前、職業、著作)」④「何を(その人物が創った施設の名前、特徴など)」⑤「なぜ、何のために(その施設を創った目的・理由)」⑥「どのように」(保育の特色など)を、メモしながら読むこと。小テストのための復習も上記と同様のポイントを勉強してくること。						
成績評価の方法	講義中に課したレポート・小テスト 20%			教科書	使用しない。講義の時に資料を配布する。		
	講義への取り組み(参加姿勢・態度) 20%				参考資料	ルソー『エミール(上)』(岩波文庫) 近藤八重子・野中芳子『フレーベルの恩物』(柳城女子短期大学研究紀要第4号)	
最終試験(小テストの問題の総まとめ・論述問題は講義中のレポートから出題する) 60%							

シラバス(授業計画)

部・学年	夜間部3年	学期		半期		授業形態		講義		単位数	2単位	
科目名	子ども家庭福祉				担当教員	横井 直子		児童養護施設職員として実務経験有				
全体目標	子どもと家庭の現状と課題・展望について考え、福祉の専門職としての保育者の役割や専門性について考える。											
一般目標	現代社会における子ども家庭福祉の意義、現状と課題について理解する 子どもの人権擁護について理解する											
到達目標	子ども家庭福祉の歴史的変遷を踏まえ、制度や法律を知り、体系的に子ども家庭福祉サービスの基礎理論を理解する。											
授業のながれ	回数	[ 授 業 内 容 ]					課外学習					
	①	子ども家庭福祉の理念と概念 現代社会と子ども家庭福祉					事前学習	教科書P.10～P.13、20～24 予習				
							事後学習	理念と概念、現代社会と子ども家庭福祉の復習				
	②	子ども家庭福祉の歴史的変遷、諸外国の動向					事前学習	教科書P.14～P.19 予習				
							事後学習	歴史的変遷、諸外国の動向の復習				
	③	子どもの人権擁護					事前学習	教科書P.26～P.35 予習				
							事後学習	子どもの人権擁護の復習				
	④	子どもの家庭福祉の制度と実施体制					事前学習	教科書P.36～P.45 予習				
							事後学習	制度と実施体制の復習				
	⑤	子ども家庭福祉の施設と専門職					事前学習	教科書P.46～P.57 予習				
							事後学習	施設と専門職の復習				
	⑥	母子保健と子育て支援サービス					事前学習	教科書P.58～P.65 予習				
							事後学習	母子保健と子どもの健全育成の復習				
	⑦	多様な保育へのニーズへの対応					事前学習	教科書P.66～P.71 予習				
							事後学習	多様な保育へのニーズへの対応の復習				
⑧	中間学習確認(レポートまたは簡易テスト)					事前学習	①～⑦の授業の復習					
						事後学習	未獲得箇所の復習					
⑨	貧困家庭、外国籍の子どもとその家庭等への対応					事前学習	教科書P.72～P.75、80～85 予習					
						事後学習	貧困家庭、外国籍の子どもとその家庭への対応の復習					
⑩	子ども虐待・ドメスティックバイオレンスとその防止					事前学習	教科書P.76～P.79 予習					
						事後学習	虐待・DVとその防止の復習					
⑪	社会的養護					事前学習	教科書P.86～P.89 予習					
						事後学習	社会的養護の復習					
⑫	障害のある子どもへの対応					事前学習	教科書P.90～P.93 予習					
						事後学習	障害のある子どもへの対応の復習					
⑬	少年非行等への対応、子どもを取り巻く現状と課題					事前学習	教科書P.94～P.97、104～121 予習					
						事後学習	子どもを取り巻く現状の復習					
⑭	次世代育成支援と子ども家庭福祉の推進 地域における連携・協働とネットワーク					事前学習	教科書P.122～P.135 予習					
						事後学習	次世代育成支援と地域との連携とネットワークの復習					
⑮	定期試験・講評					事前学習	これまでの学びの復習及び確認					
						事後学習	講評の内容の整理と把握					
学習上の留意点	・毎回教科書を持参し、配布されたプリントはファイルに綴じること。											
成績評価の方法	定期試験	60%	教科書	清田雅夫編著 『新・子ども家庭福祉-私たちは子どもに何ができるか-』 教育情報出版								
	中間学習確認	30%		参考資料								
	受講態度	10%										

シラバス(授業計画)

部・学年	夜間部3年	学期		半期		授業形態		講義	武弘 和通	単位数	2単位	
科目名	社会福祉				担当教員	武弘 和通		児童養護施設職員として実務経験有				
全体目標	社会福祉の側面から、「保育の専門家」として社会から求められる役割や専門性について学ぶ。											
一般目標	① 社会福祉の概念や、社会制度として社会福祉、その実施体系について学ぶ。 ② 社会福祉における子ども家庭支援の視点について理解する。 ③ 社会福祉の動向や課題について理解する。											
到達目標	社会福祉の基礎を幅広く学び、子どもや家庭に起こりうる問題やそれに対応する社会制度、実践について理解を深める。											
授業のながれ	回数	[ 授 業 内 容 ]					課外学習					
	①	現代社会における社会福祉の意義					事前学習	保育士が社会福祉を学ぶ理由を考察する				
							事後学習	授業の資料・教科書の復習				
	②	社会福祉の一分野としての児童家庭福祉					事前学習	教科書該当部分の下読み				
							事後学習	授業の資料・教科書の復習				
	③	児童の人権擁護と社会福祉					事前学習	教科書該当部分の下読み				
							事後学習	授業の資料・教科書の復習				
	④	家庭支援と社会福祉					事前学習	教科書該当部分の下読み				
							事後学習	授業の資料・教科書の復習				
	⑤	社会福祉の制度と法体系					事前学習	教科書該当部分の下読み				
							事後学習	授業の資料・教科書の復習				
	⑥	社会福祉行政と実施機関					事前学習	教科書該当部分の下読み				
							事後学習	授業の資料・教科書の復習				
	⑦	社会福祉施設等					事前学習	教科書該当部分の下読み				
							事後学習	授業の資料・教科書の復習				
⑧	社会福祉の専門職・実施者					事前学習	教科書該当部分の下読み					
						事後学習	授業の資料・教科書の復習					
⑨	社会保障および関係制度の概要					事前学習	教科書該当部分の下読み					
						事後学習	授業の資料・教科書の復習					
⑩	I 相談援助の意義と原則					事前学習	教科書該当部分の下読み					
	II 相談援助の方法と技術					事後学習	授業の資料・教科書の復習					
⑪	社会福祉における利用者の保護にかかわるしくみ					事前学習	教科書該当部分の下読み					
						事後学習	授業の資料・教科書の復習					
⑫	少子高齢化社会への対応					事前学習	教科書該当部分の下読み					
						事後学習	授業の資料・教科書の復習					
⑬	社会福祉の推進とネットワーク					事前学習	教科書該当部分の下読み					
						事後学習	授業の資料・教科書の復習					
⑭	社会福祉の諸外国の動向					事前学習	教科書該当部分の下読み					
						事後学習	授業の資料・教科書の復習					
⑮	試験・まとめ					事前学習	教科書該当部分の下読み					
						事後学習	授業の資料・教科書の復習					
学習上の留意点	・教科書を毎回持参すること。 ・適宜レポート課題や各種ワーク等を実施するので積極的に参加すること											
成績評価の方法	・授業への取り組み、積極性 20% ・課題の提出状況、内容 40% ・最終試験 40%					教科書	新基本保育シリーズ④ 「社会福祉」 中央法規出版					
						参考資料						



シラバス(授業計画)

部・学年	夜間部3年	学期	半期	授業形態	講義	単位数	2単位
科目名	子ども家庭支援論			担当教員	徳田 優太	児童養護施設職員として実務経験有	
全体目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て家庭に対する支援の意義・目的を理解する。</li> <li>・保育の専門性を活かした子ども家庭支援の意義と基本について理解する。</li> </ul>						
一般目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て家庭に対する支援の体制について理解する。</li> </ul>						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て家庭のニーズに応じた多様な支援の展開と子ども家庭支援の現状、課題について理解する。</li> </ul>						
授業のながれ	回数	[ 授 業 内 容 ]			課外学習		
	①	子ども家庭支援の意義と必要性			事前学習	教科書P.2～P.12 予習	
					事後学習	授業内容の復習	
	②	子ども家庭支援の目的と機能			事前学習	教科書P.14～P.24 予習	
					事後学習	授業内容の復習	
	③	子育て支援施策・次世代育成支援施策の推進			事前学習	教科書P.26～P.36 予習	
					事後学習	子育て支援施策・次世代育成支援施策の推進の復習	
	④	子育て家庭の福祉を図るための社会資源			事前学習	教科書P.38～P.48 予習	
					事後学習	福祉を図るための社会資源の復習	
	⑤	保育の専門性を活かした子ども家庭支援とその意義			事前学習	教科書P.50～P.60 予習	
					事後学習	保育の専門性を活かした子ども家庭支援とその意義の復習	
	⑥	子どもの育ちの喜びの共有			事前学習	教科書P.62～P.72 予習	
					事後学習	子どもの育ちの喜びの共有の復習	
	⑦	保護者および地域が有する子育てを自ら実践する力の向上に資する支援			事前学習	教科書P.74～P.84 予習	
					事後学習	保護者および地域が有する子育てを自ら実践する力の向上に資する支援の復習	
⑧	保育士に求められる基本的な態度			事前学習	教科書P.86～P.95 予習		
				事後学習	保育士に求められる基本的な態度の復習		
⑨	家庭の状況に応じた支援			事前学習	教科書P.98～P.107 予習		
				事後学習	家庭の状況に応じた支援の復習		
⑩	地域の資源の活用と自治体・関係機関等との連携・協力			事前学習	教科書P.110～P.120 予習		
				事後学習	地域の資源の活用と自治体・関係機関等との連携・協力の復習		
⑪	子ども家庭支援の内容と対象			事前学習	教科書P.122～P.132 予習		
				事後学習	子ども家庭支援の内容と対象の復習		
⑫	保育所等を利用する子どもの家庭への支援			事前学習	教科書P.134～P.144 予習		
				事後学習	保育所等を利用する子どもの家庭への支援の復習		
⑬	地域の子育て家庭への支援			事前学習	教科書P.146～P.156 予習		
				事後学習	地域の子育て家庭への支援の復習		
⑭	要保護児童およびその家庭に対する支援 子育て支援に関する課題と展望			事前学習	教科書P.158～P.175 予習		
				事後学習	要保護児童およびその家庭に対する支援、子育て支援に関する課題と展望の復習		
⑮	定期試験・講評			事前学習	これまでの学びの復習及び確認		
				事後学習	講評の内容の整理と把握		
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎回必ず教科書を持参し、配布されたプリントはファイルに綴じること。</li> <li>・口頭による説明が中心となるため、自分で記載したり線を引いたりすること。</li> <li>・保育者を志す者として、積極的な姿勢で授業に取り組むこと。</li> </ul>						
成績評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期試験 70%</li> <li>・提出物 30%</li> </ul>			教科書	新基本保育シリーズ5 子ども家庭支援論 中央法規		
	上記に平常点(授業参加状況や受講態度等)を勘案して評価する。				監修	公益財団法人 児童育成協会	
				編集	松原康男 村田 典子 南野 奈津子		
				参考資料			

シラバス(授業計画)

部・学年	夜間部3年	学期		半期		授業形態		演習		単位数	1単位	
科目名	子ども家庭支援の心理学Ⅱ				担当教員	菅田 達也						
全体目標	人生初期の発達についての理解を深めることを目的とする。主として生後6年間における子どもの心理的はたらきと行動の発達、そして関連する諸問題について考え、保育の実践に対する基礎を養うことをねらいとする。											
一般目標	子どもの発達を理解するための、視点を深める。脳科学的視点を理解し、より多面的に子どもをとらえる力を身につける。子ども(他者)への支援に関する知識を習得する。											
到達目標	1. 子どもの心身の発達と保育実践についての理解を深める。 2. 脳科学的な視点による子ども理解をする。 3. 発達のあらゆる側面が人との相互的かかわりを通して、具体化されることを理解する。 4. 保育における発達援助(支援)について学ぶ。											
授業のながれ	回数	[ 授 業 内 容 ]					課外学習					
	①	オリエンテーション					事前学習	シラバスを確認する				
							事後学習	授業内容を復習する				
	②	人として誕生すること					事前学習	教科書の該当箇所を予習する				
							事後学習	授業内容を復習する				
	③	赤ちゃんはいかに有能か(環境を受け止めること:見る)					事前学習	教科書の該当箇所を予習する				
							事後学習	授業内容を復習する				
	④	赤ちゃんはいかに有能か(環境に働きかけること:聴く)					事前学習	教科書の該当箇所を予習する				
							事後学習	授業内容を復習する				
	⑤	赤ちゃんはいかに有能か(環境に働きかけること:表情)					事前学習	教科書の該当箇所を予習する				
							事後学習	授業内容を復習する				
	⑥	赤ちゃんはいかに有能か(環境に働きかけること:感情)					事前学習	教科書の該当箇所を予習する				
							事後学習	授業内容を復習する				
	⑦	コミュニケーションの必要性					事前学習	教科書の該当箇所を予習する				
							事後学習	授業内容を復習する				
	⑧	母子相互作用の不思議—概説					事前学習	教科書の該当箇所を予習する				
						事後学習	授業内容を復習する					
⑨	母子相互作用の不思議—応答					事前学習	教科書の該当箇所を予習する					
						事後学習	授業内容を復習する					
⑩	母子相互作用の不思議—愛着					事前学習	教科書の該当箇所を予習する					
						事後学習	授業内容を復習する					
⑪	世界認識の始まり(記憶)					事前学習	教科書の該当箇所を予習する					
						事後学習	授業内容を復習する					
⑫	言葉を獲得し意味世界に生きる					事前学習	教科書の該当箇所を予習する					
						事後学習	授業内容を復習する					
⑬	記憶し想起する心の発達					事前学習	教科書の該当箇所を予習する					
						事後学習	授業内容を復習する					
⑭	子どもを支えるということ(家庭支援)					事前学習	教科書の該当箇所を予習する					
						事後学習	授業内容を復習する					
⑮	まとめと試験					事前学習	教科書や課題を振り返る					
						事後学習	授業全体を振り返る					
学習上の留意点	受講するに当たって、ノートを用意すること。口頭による説明が中心となるので、講義内容をノートにまとめる必要がある。また、板書以外のことがらについても記述することを心がけること。											
成績評価の方法	平常点(授業参加状況・受講態度など)				20%	教科書	「よくわかる乳幼児心理学」内田伸子編 ミネルヴァ書房					
	小レポート・提出物(適宜実施)				10%							
	定期試験				70%	資料考	「保育の心理学Ⅱ(演習で学ぶ、子どもの理解と具体的事例)」萌文書林 配布プリント					

## シラバス(授業計画)

部・学年	夜間部3年	学期	通年	授業形態	演習	単位数	2単位
科目名	子どもの食と栄養			担当教員	加藤 志都		
全体目標	子供の栄養と食生活は、心身の発達に重要である。日々の食事の目的と意義を考え、食の知識や実践力を身につけることを目標とする。また、子供を取り巻く食生活の現状を理解し、食物アレルギーなども含め、どう対応するべきかを考える。						
一般目標	食を学ぶにあたり、生涯においての食に関する特徴や問題点を意識し、各時期に応じた正しい食の知識を身につける。また、子供の食生活を学ぶことを通して、保育者としても食に関しての知識を身につけ、自分自身の食生活も見直す。						
到達目標	子供の個々の食生活の問題点を探り、個々に合わせた食事指導等を行えることを目指す。自分自身の食生活を管理した上で、子供や保護者に対しての食育を行える保育士を目指す。						
授業のながれ	回数	[ 授 業 内 容 ]			課外学習		
		① オリエンテーション、食を考える ② 子どもの食生活の特徴と現状 ③ 栄養素の役割、日本人の食事摂取基準 ④ 栄養に関する基本的知識(炭水化物) ⑤ 栄養に関する基本的知識(脂質) ⑥ 栄養に関する基本的知識(たんぱく質) ⑦ 栄養に関する基本的知識(ミネラル) ⑧ 栄養に関する基本的知識(ビタミン) ⑨ 水分の機能、栄養素の消化、吸収、代謝 ⑩ 献立の作成、食品群 ⑪ 食事バランスガイドの活用 ⑫ 献立作成(演習) ⑬ 調理の基本、衛生管理、食品の表示制度 ⑭ 子どもの発育・発達の基本 ⑮ 前期定期試験、講評 ⑯ 胎児期(妊娠期)の食生活 ⑰ 乳児期の食生活(母乳栄養) ⑱ 乳児期の食生活(人工乳栄養) ⑲ 調乳実習(演習) ⑳ 離乳の必要性と進め方 ㉑ 幼児期の特徴と食生活 ㉒ 幼児期の食生活と問題点 ㉓ 幼児期の間食(演習) ㉔ 学童期の食生活と特徴・学校給食 ㉕ 生涯発達と食生活 思春期・成人期・老年期 ㉖ 食育の基本と内容 保育所・学校における食育 ㉗ 家庭や児童福祉施設における食事と栄養 ㉘ 特別な配慮を要する子どもの食と栄養 ㉙ 食育の実践(演習) ㉚ 後期定期試験、講評			事前/事後 シラバスの確認/復習 事前/事後 教p2~10予習/復習 事前/事後 教p12~15予習/復習 事前/事後 教p16~21予習/復習 事前/事後 教p22~27予習/復習 事前/事後 教p27~33予習/復習 事前/事後 教p34~38予習/復習 事前/事後 教p38~43予習/復習 事前/事後 教p43~50予習/復習 事前/事後 教p51~59予習/復習 事前/事後 前回の見直し/復習 事前/事後 4群点数法の復習/復習 事前/事後 教p58~64予習/復習 事前/事後 教p66~76予習/復習 事前/事後 試験出題範囲の勉強/まとめ 事前/事後 教p77~87予習/復習 事前/事後 教p88~98予習/復習 事前/事後 教p99~109予習/復習 事前/事後 教p99~110予習/復習 事前/事後 教p99~111予習/復習 事前/事後 教p122~130予習/復習 事前/事後 教p130~137予習/復習 事前/事後 幼児期の間食復習/間食の意義を考える 事前/事後 教p138~153予習/復習 事前/事後 教p154~166予習/復習 事前/事後 教p168~180予習/復習 事前/事後 教p182~204予習/復習 事前/事後 教p206~230予習/復習 事前/事後 食育に関わる内容の復習/食育を考える 事前/事後 試験出題範囲の勉強/まとめ		
学習上の留意点	子供や保護者に対しての食育を考え、適切な食育を行えるようにすることを意識する。						
成績評価の方法	定期試験 70% 提出物、平常点(授業参加状況、受講態度など) 30%			教科書	最新 子どもの食と栄養	学建書院	
				参考資料			

## シラバス(授業計画)

部・学年	夜間部3年	学期	半期	授業形態	演習	単位数	1単位
科目名	乳児保育Ⅱ			担当教員	渡邊 今日子	保育士として実務経験有	
全体目標	社会の変化から、保育所や認定子ども園に求められる期待の大きさを理解し、乳児一人ひとりを大切にできる保育観を育む。						
一般目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3歳未満児の子どもの生活と遊びと保育の方法及び環境について、具体的に理解する。</li> <li>・乳児の育ちを保育者と保護者が連携して支えていくために「乳児保育」の学びを深める。</li> </ul>						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3歳未満児の発育・発達過程や特性を踏まえた援助や関わりの基本的な考え方を理解する。</li> <li>・3歳未満児保育における保護者や地域の関係機関との連携について理解する。</li> <li>・乳児保育における計画の作成について具体的に理解する。</li> </ul>						
授業のながれ	回数	[ 授業内容 ]			課外学習		
	①	乳児の発達と保育 (0歳児・1歳児の心身の発達)			事前学習	教科書P10～22までを読んでおく	
					事後学習	学びを振り返り復習をする	
	②	乳児の発達と保育 (2歳児の心身の発達)			事前学習	教科書P22～33までを読んでおく	
					事後学習	学びを振り返り復習をする	
	③	乳児保育の内容と方法 (だっこ・おんぶ・授乳)			事前学習	教科書P34～46までを読んでおく	
					事後学習	学びを振り返り復習をする	
	④	乳児保育の内容と方法 (排泄・着脱・離乳食の与え方)			事前学習	教科書P46～62までを読んでおく	
					事後学習	学びを振り返り復習をする	
	⑤	乳児保育の内容と方法 (あそびのあり方と保育実践)			事前学習	教科書P62～81までを読んでおく	
					事後学習	学びを振り返り復習をする	
	⑥	乳児保育の内容と方法 (あそび文化、おもちゃ作成)			事前学習	教科書P81～87までを読んでおく	
					事後学習	学びを振り返り復習をする	
	⑦	乳児保育の内容と方法 (おもちゃ作成と実践)			事前学習	おもちゃ作成と実践の準備をする	
					事後学習	学びを振り返り復習をする	
⑧	保育の記録と計画 (子どもの姿・活動の記録)			事前学習	教科書P88～95までを読んでおく		
				事後学習	学びを振り返り復習をする		
⑨	保育の記録と計画 (全体的な計画と指導計画)			事前学習	教科書P95～107までを読んでおく		
				事後学習	学びを振り返り復習をする		
⑩	保育の記録と計画 (指導計画の模擬実践)			事前学習	模擬実践の準備、練習をする		
				事後学習	学びを振り返り復習をする		
⑪	乳児保育と子どもの発達・親としての発達			事前学習	教科書P108～125までを読んでおく		
				事後学習	学びを振り返り復習をする		
⑫	保育士のあり方をめぐって			事前学習	教科書P126～137までを読んでおく		
				事後学習	学びを振り返り復習をする		
⑬	乳児保育のあゆみ			事前学習	教科書P138～161までを読んでおく		
				事後学習	学びを振り返り復習をする		
⑭	保育所における子育て支援			事前学習	教科書P162～174までを読んでおく		
				事後学習	学びを振り返り復習をする		
⑮	試験・まとめ			事前学習	今までの学習の振り返りを行っておく		
				事後学習	試験内容について振り返る		
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日頃から身近な子どもや親に関心を持ち、観る力をつける。</li> <li>・子どもに関わるニュースや保育制度に関心を持ち、情報収集する。</li> <li>・授業での学びを実習などの保育場面と結びつけ、総合的に学べるよう努める。</li> </ul>						
成績評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・レポート・課題作成(提出物) 30%</li> <li>・試験 60%</li> <li>・授業態度(意欲・発表) 10%</li> </ul>			教科書	『乳児の保育 新時代』 乳児保育研究会編 ひとなる書房		
				参考資料	『保育所保育指針』厚生労働省 随時必要に応じてプリントを配布する		

シラバス(授業計画)

部・学年	夜間部3年	学期	通年	授業形態	演習	単位数	2単位
科目名	障がい児保育			担当教員	後藤 加代子	保育士として実務経験有	
全体目標	障がい児保育を支える理念や歴史的変遷について学び、障がいのある子どもへの理解を深める 集団生活を通して、共に育ちあえる教育・保育を実践していく方法を学ぶ						
一般目標	子どもの発達過程を確認し、障がいのある子の特性や心身の発達を理解している。 様々な障がいについて学び、環境構成や個々の援助の方法について理解している。 家庭への支援や適切な対応を学び、関係機関との連携の大切さなどを理解している。						
到達目標	障がい児やその他の特別な配慮の必要な子どもの保育における計画の作成や具体的な援助の方法について理解する						
授業のながれ	回数	[ 授業内容 ]			課外学習		
	①	障がいのある子どもの保育の考え方(概念と歴史的展開)			事前/事後 シラバス・要領・指針を読んで確認する		
	②	障がいのある子どもの保育の基本(人権とインクルージョン)			事前/事後 教科書を読む/ポイント確認		
	③	障がいのある子どもの地域参加(インクルージョン)			事前/事後 教科書を読む/ポイント確認		
	④	障がいのある子どもの保育の基本(保育の展開)			事前/事後 教科書を読む/ポイント確認		
	⑤	子どもの発達を理解する			事前/事後 教科書を読む/ポイント確認		
	⑥	障がいのある子どもの発達と保育			事前/事後 教科書を読む/ポイント確認		
	⑦	特別な支援の必要性			事前/事後 配付プリントの下読み/ポイント確認		
	⑧	肢体不自由児の理解と支援			事前/事後 教科書を読む/ポイント確認		
	⑨	知的障がい児の理解と支援			事前/事後 教科書を読む/ポイント確認		
	⑩	視覚・聴覚障がい児の理解と支援			事前/事後 教科書を読む/ポイント確認		
	⑪	発達障がい児(ADHD・SLD)の理解と支援			事前/事後 教科書を読む/ポイント確認		
	⑫	発達障がい児(ASD)の理解と支援			事前/事後 教科書を読む/ポイント確認		
	⑬	重度心身障がい児と医療的ケアの必要な子どもの理解と支援			事前/事後 教科書を読む/ポイント確認		
	⑭	その他の特別な配慮を必要とする子どもの理解と支援			事前/事後 教科書を読む/ポイント確認		
	⑮	前期試験・まとめ			事前/事後 授業の復習/前期内容のまとめ		
	⑯	障がいのある子どもの保育の方法			事前/事後 配付プリントを読む/ポイント確認		
	⑰	気になる情緒を持つ子どもや言葉に障がいがある子どもの理解と援助			事前/事後 教科書を読む/ポイント確認		
	⑱	基本的な生活習慣の援助			事前/事後 配付プリントを読む/ポイント確認		
	⑲	障がいのある子どもの関わりと集団への参加			事前/事後 教科書を読む/ポイント確認		
	⑳	個々の発達を促す遊びや生活と子ども同士の育ちあい			事前/事後 配付プリントを読む/ポイント確認		
	㉑	全体的な計画・指導計画と個別の支援計画			事前/事後 教科書を読む/ポイント確認		
	㉒	個別の支援計画作成			事前/事後 配付プリントを読む/ポイント確認		
	㉓	職員間の連携・協働			事前/事後 教科書を読む/ポイント確認		
	㉔	家庭や保護者への理解と支援			事前/事後 配付プリントを読む/ポイント確認		
	㉕	小学校や自治体や関係機関との連携			事前/事後 教科書を読む/ポイント確認		
	㉖	障がいのある子どもの支援方法			事前/事後 配付プリントを読む/ポイント確認		
	㉗	保育現場での事例検討(自閉症スペクトラム児への対応)			事前/事後 配付プリントを読む/ポイント確認		
	㉘	保育現場での事例検討(ADHDの子どもへの対応)			事前/事後 配付プリントを読む/ポイント確認		
	㉙	障がい児やその他特別な配慮の必要な子どもの保育に対する支援			事前/事後 配付プリントを読む/ポイント確認		
㉚	後期試験・まとめ			事前/事後 授業の復習/前期・後期のまとめ			
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> <li>教科書や配付プリントを必ず読み復習し、必要な点をまとめる。</li> <li>子どもに積極的に関わり集団の中での配慮の必要な子どもの保育を学ぶ様に心掛ける。</li> <li>日常生活の中で障がい者に向けた対応が保育の中でどのように活かしているか考える。</li> </ul>						
成績評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>受業への参加(グループ討議、実技、提出など) 40%</li> <li>前期・後期の試験 60%</li> </ul>			教科書	特別支援 教育・保育概論 尾野明美、小湊真衣、奥田則子 編著 (萌文書林)		
				参考資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>配付資料</li> <li>障害児保育 ワークブック</li> <li>幼稚園教育要領、保育所保育指針</li> <li>幼保連携型認定こども園教育・保育要領</li> </ul>		

## シラバス(授業計画)

部・学年	夜間部3年	学期		半期		授業形態		演習		単位数	1単位			
科目名	児童文化				担当教員	渡邊 今日子		保育士として実務経験有						
全体目標	児童文化財の魅力と保育への展開を学び、実際に自ら自信をもって子どもたちに的確に伝えることが出来るよう実技を習得する。													
一般目標	伝承遊び・絵本・紙芝居・シアターなど具体的な遊びや演出法を習得する。													
到達目標	①子どもの発達段階や興味、関心を理解し、児童文化財を選ぶことができる。 ②保育内容を理解し、子どもの遊びを豊かに展開するための表現活動や技術を実践に活かすことができる。													
授業のながれ	回数	[ 授 業 内 容 ]				課外学習								
	①	ことばと表現力を育む児童文化				事前学習	P9～18までを読んでおく					事後学習	学びを振り返り、復習をする	
	②	保育のなかで児童文化を考える				事前学習	P19～32までを読んでおく					事後学習	学びを振り返り、復習をする	
	③	児童文化の歴史 (明治という時代)				事前学習	P33～P38まで読んでおく					事後学習	学びを振り返り、復習をする	
	④	児童文化の歴史 (大正から昭和そして現代へ)				事前学習	P39～P50まで読んでおく					事後学習	学びを振り返り、復習をする	
	⑤	日本の年中行事				事前学習	事前配布プリントを読んでおく					事後学習	学びを振り返り、復習をする	
	⑥	子どもの育ちと児童文化				事前学習	P51～P64 まで読んでおく					事後学習	学びを振り返り、復習をする	
	⑦	わらべうた・あそびうた				事前学習	P65～P90まで読んでおく					事後学習	演習を確認・復習をする	
	⑧	伝承遊びⅠ(講義)				事前学習	P91～P104まで読んでおく					事後学習	演習を確認・復習をする	
	⑨	伝承遊びⅡ(演習)				事前学習	事前配布資料を読んでおく					事後学習	演習確認・復習をする	
	⑩	絵本と童話				事前学習	P105～P142まで読んでおく					事後学習	演習を確認・復習をする	
	⑪	絵本の読み聞かせ・紙芝居				事前学習	P143～P156まで読んでおく					事後学習	演習を確認・復習をする	
	⑫	シアタースタイルの児童文化財 (演習・準備)				事前学習	P157～P182まで読んでおく					事後学習	シアター文化財の準備をする	
	⑬	シアタースタイルの児童文化財 (演習・作成)				事前学習	シアター演習の発表準備、練習をする					事後学習	シアター文化財を完成させる	
	⑭	シアタースタイルの児童文化財 (演習・発表)				事前学習	シアター演習発表の準備、練習をする					事後学習	今までの学習を振り返り、要点を確認する	
⑮	筆記試験・まとめ				事前学習	今までの学習の振り返りを行っておく					事後学習	試験内容について振り返る		
学習上の留意点	日頃から児童文化財に触れる機会を多く持つようにし、自分自身がその内容に関心を深め、子どもに伝承する担い手となる意識を持つよう心掛けると良い。また、できるだけ乳幼児の心に近づいて、児童文化の享受や実践を共に楽しむ気持ちを持つことが大切である。													
成績評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期試験 60%</li> <li>・平常点(授業態度・提出物) 40%</li> </ul>				教科書	『ことばと表現力を育む 児童文化』 川勝泰介他 萌文書林								
					参考資料	随時提示								

シラバス(授業計画)

部・学年	夜間部3年	学期		半期		授業形態		演習	木田 千晶	単位数	1単位
科目名	子育て支援				担当教員	木田 千晶					
全体目標	現代の家族を取り巻く社会状況の特質や子育て家庭の抱える現状を理解し、保育者として子育て家庭を支援する意識をもつ。地域や関係機関との連携を把握したうえで、保育者の専門性を活かした支援について学ぶ。										
一般目標	現代の家族を取り巻く環境や多様なニーズを踏まえ、保育者として求められる子育て支援について理解するとともに、実践に繋がる知識や技術を身につける。										
到達目標	保育者の専門性を背景とした保育相談支援について、特性と展開を具体的に理解する。 保育者の行う子育て支援について、様々な場や対象に即した支援の内容と方法及び技術を理解する。										
授業のながれ	回数	[ 授業内容 ]				課外学習					
	① オリエンテーション 子育て支援とは何か					事前学習	家族・家庭について考える				
						事後学習	子育て支援について振り返る				
	② 子育て支援の意義と必要性					事前学習	事例の下読み				
						事後学習	子育て支援の必要性について振り返る				
	③ 子育て支援の基本的価値・倫理					事前学習	事例の下読み				
						事後学習	子育て支援の基本的価値をまとめる				
	④ 子育て支援の基本的姿勢・技術					事前学習	事例の下読み				
						事後学習	支援時の基本的姿勢について振り返る				
	⑤ 保護者との相互理解と信頼関係の形成					事前学習	事例の下読み				
						事後学習	保護者との信頼関係の形成を考える				
	⑥ 子育て家庭への理解とニーズの気づき					事前学習	事例の下読み				
						事後学習	子育て家庭の現状についてまとめる				
	⑦ 保育の特性と専門性を活かした支援① 日常会話・文書・行事を通した子育て支援					事前学習	事例の下読み				
						事後学習	保育現場における支援を振り返る				
⑧ 保育の特性と専門性を活かした支援② 環境を活用した子育て支援					事前学習	事例の下読み					
					事後学習	保育の環境を通した支援を振り返る					
⑨ 子どもと保護者の状況・状態の把握					事前学習	事例の下読み					
					事後学習	子どもと保護者の状況についてまとめる					
⑩ 支援の記録・評価・研修					事前学習	事例の下読み					
					事後学習	記録・評価・研修についてまとめる					
⑪ 園内・園外との連携と支援					事前学習	事例の下読み					
					事後学習	専門機関との連携についてまとめる					
⑫ 多様なニーズに応じた子育て支援① 発達、貧困が気になる子や親の支援					事前学習	事例の下読み					
					事後学習	多様なニーズに応じた支援をまとめる					
⑬ 多様なニーズに応じた子育て支援② 虐待が気になる子や親の支援					事前学習	事例の下読み					
					事後学習	多様なニーズに応じた支援をまとめる					
⑭ 保育者ができる子育て支援					事前学習	事例の下読み					
					事後学習	保育者の専門性を活かした支援をまとめる					
⑮ 試験・まとめ					事前学習	教科書や学習内容を見直す					
					事後学習	子育て支援における自己課題を考える					
学習上の留意点	身近な生活に意識を向け、子育て家庭との繋がりや子育てや保育を取り巻く環境に関心をもつ。 事例検討の際は積極的に参加し、保育者としてのあり方を自ら考えるようにする。										
成績評価の方法	平常点(受講態度)	20%		教科書	『子育て支援—15のストーリーで学ぶワークブック』 二宮祐子 萌文書林						
	提出物	20%			参考資料	『保育所保育指針』厚生労働省 『よくわかる子育て支援・家庭支援論』 大豆生田啓友、太田光洋、森上史朗 ミネルヴァ書房					
	定期試験	60%		以上を総合的に評価する							

シラバス(授業計画)

部・学年	夜間部3年	学期		集中		授業形態		実習		単位数	2単位
科目名	保育実習 I (保育所)				担当教員	林幸・櫛田英代		幼稚園教諭・保育士として実務経験有			
全体目標	保育所で、実践的指導力のある指導保育士のもとで体験をし、保育所保育を理解する。また、基礎的な能力と態度を養い、自らの課題を明確にする。										
一般目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観察・参加実習を通して、子どもの実態と保育所保育の理解をする。</li> <li>・学校で学んだ専門的な知識・理論・技術を保育場面で実践する基礎を養う。</li> </ul>										
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観察・参加を通して、子どもの実態と保育所保育の理解できる。</li> <li>・学校で学んだ専門的な知識・理論・技術を保育場面で実践する基礎を身に付ける。</li> <li>・実習における観察・記録及び評価を記入できる。また、自らの課題を明確にする。</li> </ul>										
授業のながれ	[ 授 業 内 容 ]										
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実習の期間 前期5月に2週間実施。</li> <li>・実習の内容 観察実習・参加実習を行う。 状況に応じて半日実習・部分実習を行うこともある。</li> <li>・現地オリエンテーション 実習開始の約3週間前に実施。 実習園の概要および実習方針を知る。</li> <li>・実習園訪問指導 実習担当教員を中心に本校教員が実習期間中に実習園を訪問する。 教員と園長・実習担当教諭等との面談終了後、実習生は現地で本校教員の指導を受ける。</li> <li>・事後訪問 実習終了後すみやかに実施。(実習園の指示に従う) 最終日の実習記録や振り返り等を記載し、実習園に原則持参する。</li> </ul>										
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・規則正しい生活を送り、心身ともに健康に留意する。</li> <li>・社会人としてのマナーを守り、保育者としての心構えを持つ。</li> <li>・能動的に実習に取り組む。・実習園で知り得た個人情報の守秘義務を遵守する。</li> </ul> 注:本校が定める「実習履修基準」により履修の可否を判断する。										
成績評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実習園の評価を基に実習記録、実習園訪問指導時の状況、オリエンテーションを含む実習の取り組み状況を勘案して評価する</li> </ul>				教科書	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「教育・保育実習マニュアル」</li> <li>・「保育所保育指針」</li> <li>・「保育所保育指針解説」</li> </ul>					
					参考資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実習関係書類</li> </ul>					



## シラバス(授業計画)

部・学年	夜間部3年	学期	半期	授業形態	演習	単位数	1単位
科目名	保育実習指導 I (保育所)			担当教員	林幸・櫛田英代	幼稚園教諭・保育士として実務経験有	
全体目標	保育所保育を理解し、実習に必要なことを学ぶ。						
一般目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育実習の意義・目的を理解する。</li> <li>・実習の内容を理解し、自らの課題を明確にする。</li> <li>・実習保育所における子どもの人権と、最善の利益、個人情報保護と守秘義務について理解する。</li> <li>・実習における観察・記録及び評価を理解する。</li> </ul>						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育実習の意義・目的を理解し、自らの課題を明確にする。また、事後においては自己評価をし、自らの課題を明確にできる。</li> <li>・実習保育所における子どもの人権と、最善の利益、個人情報保護と守秘義務について理解して、実習にのぞむ。</li> <li>・実習における観察・記録及び評価を記入できる。</li> </ul>						
授業のながれ	回数	[ 授 業 内 容 ]			課外学習		
	①	赤ちゃんふれあい実習 I			事前学習	発達段階の復習	
					事後学習	メモを取る	
	②	赤ちゃんふれあい実習 I			事前学習	メモを取る	
					事後学習	メモを取る	
	③	赤ちゃんふれあい実習 I			事前学習	メモを取る	
					事後学習	メモを取る	
	④	赤ちゃんふれあい実習 I			事前学習	メモを取る	
					事後学習	実習記録記入	
	⑤	オリエンテーション 実習の概要 実習の意義			事前学習	実習記録記入・見直し	
					事後学習	授業内容の復習	
	⑥	保育所保育の理解			事前学習	教科書の該当箇所を予習する	
					事後学習	DVD視聴感想記入する	
	⑦	保育所保育 養護と教育の一体化の理解			事前学習	教科書の該当箇所を予習する	
					事後学習	授業内容の復習	
⑧	実習記録の記入(1)毎日の実習(保育の流れ)書き方			事前学習	教科書の該当箇所を予習する		
				事後学習	授業内容の復習		
⑨	実習記録の記入(2)毎日の実習(保育の流れ)			事前学習	教科書の該当箇所を予習する		
				事後学習	記録の記入		
⑩	実習記録の記入(3)場面記録			事前学習	教科書の該当箇所を予習する		
				事後学習	記録の記入		
⑪	保育教材研究・実習準備			事前学習	個人票の書き方の復習		
				事後学習	個人票・実習生の目標の検討		
⑫	実習記録の記入(4)指導計画の書き方			事前学習	教科書の該当箇所を予習する		
				事後学習	指導計画の立案		
⑬	実習記録の記入(5)指導計画立案			事前学習	指導計画の立案		
				事後学習	指導計画の記入		
⑭	実習の注意(人権保育・守秘義務・最善の利益・心構え)			事前学習	教科書の該当箇所を予習する		
				事後学習	授業内容の復習		
⑮	試験とまとめ			事前学習	授業の復習		
				事後学習	試験の内容を振り返る		
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎回必ず教科書を持参し、配布されたプリントはファイルに綴ること。</li> <li>・重要な箇所に自分で線を引いたり、追記したりすること。</li> </ul>						
成績評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期試験60%</li> <li>・平常点(授業態度・提出物)40%</li> </ul>			教科書	「教育・保育実習マニュアル」 「保育所保育指針」 「保育所保育指針解説」		
				参考資料	「0・1・2歳児の子どもの姿ベースの指導計画」 フレーベル館 「フォトランゲージで学ぶ子どもの育ちと実習日誌・指導計画」 萌文書林 「幼稚園・保育園・施設 実習ワーク」 萌文書林		

## シラバス(授業計画)

部・学年	夜間部3年	学期		集中		授業形態		実習		単位数	2単位	
科目名	保育実習Ⅱ				担当教員	林幸・櫛田英代		幼稚園教諭・保育士として実務経験有				
全体目標	将来の保育士としての保育士として、愛情と使命感を深め、保育の基礎的な能力を身につける。保育所で、実践的指導力のある指導保育士のもとで体験をし、保育所保育と保育所の役割りを理解する。											
一般目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観察・参加・指導実習を通して、保育所保育・役割りを理解をする。</li> <li>・学校で学んだ専門的な知識・理論・技術を保育場面で実践する基礎を身につける。</li> </ul>											
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観察・参加・指導実習を通して、保育所保育と保育所の役割りの理解できる。</li> <li>・保育に必要な基礎的な技術を身につける。</li> <li>・実習における指導案作成と観察・記録及び評価を記入できる。また、自らの課題を明確にする。</li> </ul>											
	[ 授 業 内 容 ]											
授 業 の な が れ	<p>8月～9月に2週間実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実習の内容 参加実習に加え、指導実習(一日)を行う 状況に応じて半日実習・部分実習を複数回行うこともある。</li> <li>・事前訪問 夏休み前に実施。 実習園の概要および実習方針を知る。</li> <li>・実習園訪問指導 実習担当教員を中心に本校教員が実習期間中に実習園を訪問する。 教員と園長・実習担当教諭等との面談終了後、実習生は現地で本校教員の指導を受ける。</li> <li>・事後訪問 実習終了後すみやかに実施。(実習園の指示に従う) 最終日の実習記録や振り返り等を記載し、実習園に原則持参する。</li> </ul>											
学 習 上 の 留 意 点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・規則正しい生活を送り、心身ともに健康に留意する。</li> <li>・社会人としてのマナーを守り、保育者としての心構えを持つ。</li> <li>・能動的に実習に取り組む。・実習園で知り得た個人情報の守秘義務を遵守する。</li> <li>・実習園と学校に必要に応じて「報告・連絡・相談」をする。</li> </ul> <p>注:本校が定める「実習履修基準」により履修の可否を判断する。</p>											
成 績 評 価 の 方 法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実習園の評価を基に実習記録、実習園訪問指導時の状況、オリエンテーションを含む実習の取り組み状況を勘案して評価する</li> </ul>				教科書	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「教育・保育実習マニュアル」</li> <li>・「保育所保育指針」</li> <li>・「保育所保育指針解説」</li> </ul>		参考資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実習関係書類</li> </ul>			

## シラバス(授業計画)

部・学年	夜間部3年	学期	半期	授業形態	演習	単位数	1単位
科目名	保育実習指導Ⅱ			担当教員	林幸・櫛田英代	幼稚園教諭・保育士として実務経験有	
全体目標	保育所保育を理解し、保育実習に必要なことを学ぶ。また将来の保育士としての保育士として、愛情と使命感を深め、保育の基礎的な能力を身につける						
一般目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育実習の意義・目的を理解し、保育を総合的に学ぶ。</li> <li>・実習事後指導を通して、自己評価をおこない自らの課題を明確にする。</li> <li>・実習保育所における子どもの人権と、最善の利益、個人情報保護と守秘義務について理解を深める。</li> <li>・保育者の専門性と職業倫理について理解する。</li> </ul>						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育実習の意義・目的を理解し、自らの課題を明確にする。また、事後においては自己評価をし、自らの課題を明確にできる。</li> <li>・実習における観察・記録・計画及び評価を記入できる。</li> <li>・保育所における保育士の専門性と職業倫理を理解できる。</li> </ul>						
授業のながれ	回数	[ 授 業 内 容 ]			課外学習		
	①	赤ちゃんふれあい実習Ⅱ			事前学習	発達段階の復習	
					事後学習	メモを取る	
	②	赤ちゃんふれあい実習Ⅱ			事前学習	メモを取る	
					事後学習	メモを取る	
	③	赤ちゃんふれあい実習Ⅱ			事前学習	メモを取る	
					事後学習	メモを取る	
	④	赤ちゃんふれあい実習Ⅱ			事前学習	メモを取る	
					事後学習	実習記録記入	
	⑤	乳児保育の理解① - 赤ちゃん実習での考察 -			事前学習	実習記録記入・見直し	
					事後学習	授業内容の復習	
	⑥	乳児保育の理解② - DVD視聴をして実践から学ぶ -			事前学習	乳児発達の理解を深める	
					事後学習	授業内容の復習	
	⑦	実習記録の記入 (1) 指導計画			事前学習	指導準備・計画作成	
					事後学習	指導計画検討	
⑧	実習記録の記入 (2) 指導計画 実習の諸注意			事前学習	指導準備・計画作成		
				事後学習	指導計画検討		
⑨	事後指導 (1) 振り返りと経験交流			事前学習	実習について振り返りと考察		
				事後学習	意見交流		
⑩	事後指導 (2) 課題の明確化			事前学習	課題の明確化と考察・改善		
				事後学習	意見交流		
⑪	事後指導 (3) 事例検討			事前学習	エピソード記録の考察		
				事後学習	意見交流		
⑫	事後指導 (4) DVD視聴をして実践から学ぶ			事前学習	乳児保育・保育園の理解を深める		
				事後学習	意見交流		
⑬	子どもの最善の利益を考慮した保育の具体的理解			事前学習	子どもの最善の利益について考える		
				事後学習	子どもの最善の利益について理解を深める		
⑭	保育士の専門性と職業倫理・危機管理			事前学習	保育士の倫理・危機管理について考える		
				事後学習	授業内容の復習		
⑮	試験とまとめ			事前学習	授業の復習		
				事後学習	試験の内容を振り返る		
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎回必ず教科書を持参し、配布されたプリントはファイルに綴ること。</li> <li>・重要な箇所に自分で線を引いたり、追記したりすること。</li> </ul>						
成績評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期試験60%</li> <li>・平常点(授業態度・提出物)40%</li> </ul>			教科書	「教育・保育実習マニュアル」 「保育所保育指針」 「保育所保育指針解説」		
				参考資料	「0・1・2歳児の子どもの姿ベースの指導計画」 フレーベル館 「フォトランゲージで学ぶ子どもの育ちと実習日誌・指導計画」 萌文書林 「幼稚園・保育園・施設 実習ワーク」 萌文書林		

## シラバス(授業計画)

部・学年	夜間部3年	学期		半期		授業形態		演習	須田 昂宏	単位数	2単位
科目名	保育実践演習				担当教員	須田 昂宏					
全体目標	養成段階である学びの場から、間もなく保育者となる学生が、自分を見つめ現状と課題を明確にする。										
一般目標	①課題の解決方法を把握し、課題に対して適切な方法を用いて、解決できる力を身につける。 ②保育や子どもに関する現状の分析や考察を行う。 ③保育者として学びを振り返り、習得した知識や技能を確認する。										
到達目標	乳幼児期の子どもたちを支える保育者として、今後の見通しや何をすべきかを明確にする。										
授業のながれ	回数	[ 授業内容 ]				課外学習					
	①	保育実践演習の目的とは				事前学習	これまでの学修を振り返る				
						事後学習	この授業の目的を再確認する				
	②	研究テーマの探索				事前学習	これまでの演習での出来事を振り返る				
						事後学習	身近なものからテーマを探してみる				
	③	研究テーマの絞り込み				事前学習	テーマの候補をいくつか挙げておく				
						事後学習	テーマを仮定する				
	④	調査方法の検討				事前学習	調査方法について教科書で確認しておく				
						事後学習	自分自身のテーマにあった調査方法を考える				
	⑤	研究の中間報告				事前学習	研究テーマを決定する				
						事後学習	研究の構想を練る				
	⑥	発表準備について				事前学習	発表準備について教科書で確認する				
						事後学習	発表の準備に必要なものを確認する				
	⑦	発表資料の作成について －先行研究の分析・検討－				事前学習	先行研究を探す				
						事後学習	見つけた先行研究を分析する				
⑧	発表資料の作成について －発表資料の構成－				事前学習	全体の構成を確認する					
					事後学習	発表の方法を考える					
⑨	発表資料の作成について －発表資料の流れ－				事前学習	発表資料を作成する					
					事後学習	小見出しや全体のまとまりを確認する					
⑩	発表資料の作成 －発表の方法・注意点－				事前学習	発表資料を見直す					
					事後学習	わかりやすい発表の仕方を考える					
⑪	発表資料の作成 －発表資料の配布・発表当日の流れ－				事前学習	発表について不明な点がないか確認する					
					事後学習	発表資料の印刷・発表の練習					
⑫	口頭発表(1) 保育士の意義や倫理観等に関するテーマ				事前学習	発表の練習					
					事後学習	自分以外の人の発表を理解し、発表資料を読み返す。					
⑬	口頭発表(2) 子どもを取り巻く環境や社会性等に関するテーマ				事前学習	発表の練習					
					事後学習	自分以外の人の発表を理解し、発表資料を読み返す。					
⑭	口頭発表(3) 子どもや家庭の理解、子育て支援等に関するテーマ				事前学習	発表の練習					
					事後学習	自分以外の人の発表を理解し、発表資料を読み返す。					
⑮	試験とまとめ				事前学習	発表を振り返る・教科書を読み復習する					
					事後学習	この授業での学びを振り返る					
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研究を進める中で本来の保育実践演習の目標を見失わない。</li> <li>・発表資料はパソコンで作成すること。(手書きは禁止)</li> <li>・提出物の期限は必ず厳守すること。</li> </ul>										
成績評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・試験 30%</li> <li>・口頭発表 40%</li> <li>・受講態度 30%</li> </ul>				教科書						
					参考資料	「保育所保育指針」(平成29年3月告示 厚生労働省) 「保育所保育指針解説」					

部 年 組 番

---

氏名

---